

平成29年度

名古屋市美術館年報

2 0 1 7

目次

序	1
沿革	2
展覧会事業	3
1 常設展	3
(1)名品コレクション展	4
(2)常設企画展	13
2 特別展	16
教育普及事業	37
1 教育プログラム	37
1 一般成人対象の事業	38
(1)講演会・解説会	38
(2)コレクション解析学	38
(3)上映会	39
(4)コンサート	40
(5)パフォーマンス・ワークショップ	40
2 子ども対象の事業	40
(1)学校休業日の体験活動の推進	40
(2)夏休みこどもの美術館	42
(3)その他	42
(4)芸術と科学の杜	42
3 学校対象事業	44
(1)ボランティアによる学校団体向け ガイドトークの実績	44
(2)アートカード貸出実績	44
(3)出前アート体験	45
(4)就業・職業・職場体験及び 職場訪問受け入れ	47
(5)その他	47
2 ボランティア	50
(1)ボランティア登録者	50
(2)定例会	50
(3)ガイド活動	50
(4)サポート活動 系の活動	51
(5)第10期ボランティア養成講座内容	51
(6)その他	52
3 学生向け優待事業	54
4 協力会	55
5 図書室	55
6 出版	56
資料	57
1 収集	57
(1)寄贈	58
(2)廃棄	74
(3)資料収集状況一覧	75
2 保存・修復	76
3 調査・研究	77
4 貸出	78
5 寄附金	80
入館者一覧	81
組織・予算	82
1 組織図	82
2 美術館協議会	82
(1)名古屋市美術館協議会委員	82
(2)名古屋市美術館協議会開催状況	82
3 職員	82
4 運営予算	82

序

PREFACE

名古屋市美術館の平成29年度の活動をまとめた年報を発行いたします。

今年度は6月末から10月初めにかけて3か月あまりにわたり、改修工事のため臨時休館をいたしました。これまでも空調機器の取り換え修理等による工事はありましたが、今回は間もなく開館30周年を迎えることもあり、玄関アプローチや裏庭、展示室内など、来館者が直接利用する空間を中心に改修工事を行いました。いずれも開館以来初めての大規模な改修で、30年間の使用により老朽化していた部分がいずれも面目を一新し、これからの30年を迎える新たな体制が整いました。

美術館活動の根幹となるコレクションについて、今年度は寄贈、寄託、あわせて200点の作品が新たに加わりました。美術館の作品収集は開館の5年前から始まっており、通算で35年になろうとしています。当初全くのゼロの状態から始まったコレクションですが、すでに6千点を超えるまでの規模に達しており、一年一年の積み重ねがいかに大切かという事を改めて強く認識しております。相変わらず収集予算は大変厳しい状況にありますが、これからも一歩ずつ着実に前進することにより、さらなる充実を図りたいと思います。今年度の寄贈作品は、年度当初に開催した「異郷のモダニズム－満州写真全史」展に出品された複写プリントが大半を占めています。複写ではありませんが、今後満州の歴史と文化活動を知る上で欠くことのできない貴重な資料になると思われます。

特別展については、工事期間による休館があったため、通常より1本少ない4本の展覧会を開催いたしました。日本の近代写真、海外の美術館のコレクション展、エコール・ド・パリの重要作家の個展、そして地元の現代作家の個展と、例年通り大変多彩な内容の展覧会をご覧いただきました。内容的にはいずれも自信をもってご紹介できる展覧会ばかりでしたが、それが必ずしも入場者数や収支と結びついていかない現実もあります。優れた内容をいかにして多くの市民の方々に知っていただくのか。展示内容だけでなく、広報など、情報の発信方法についても様々な工夫が求められる状況となっています。

地下の常設展示室3の部屋で行っている常設企画展については3本の展覧会を開催しました。内2本については、特別展のシャガール展、真島直子展の内容と関連させ、コレクションの中から共通するテーマの作品をご覧いただくことにより、テーマの理解をより深めることを狙いました。残る1本は郷土の重要な日本画家、中村正義の没後40年を記念して開催し、この画家の幅広い影響力を検証しました。

常設展は例年通り、収集方針ごとに小テーマを設け、それぞれの作品の特徴を浮かび上がらせるように工夫してご覧いただきました。6千点以上のコレクションを収蔵していても、常設展で紹介できるのはその内のごく一部です。美術館の顔として、いつ来ていただいてもご覧いただける作品と、いつもとは違う新鮮な印象を与える作品。二種類の作品を織り交ぜながら、より魅力的な常設展になるよう、今後も努力していきたいと思います。

教育普及活動については、例年通り講演会や講座、常設展、特別展でのギャラリートーク、「キッズの日」などの子どもたち向けの事業、出前授業、教師のための美術館利用研修など、精力的に展開しました。ボランティアは第10期の募集を行い、書類選考や半年近くにわたる研修を経て、新たに18名の方に登録をしていただき、翌年度から本格的に活動していただきます。またボランティアと並ぶ美術館の支援団体、協力会も少しずつ会員数を増やしており、美術館活動を積極的に支えていただいています。

美術館に限らず、日本に於ては様々な文化施設が大きな曲がり角を迎えつつある時期にさしかかっていると思われます。美術館活動の原点をしっかりと踏まえつつ、変わるべきところは変えていく勇気も必要とされる時代ではないでしょうか。変化を恐れることなく、これからも多くの方々に愛され親しまれる美術館を目指して努力を重ねていきたいと考えております。どうぞ、今後とも名古屋市美術館の活動にご理解を賜り、これまで以上のご支援、ご協力をお願いいたします。

2018年12月

名古屋市美術館

沿革 HISTORY

- 昭和52年12月 「名古屋市基本構想」策定、同構想において美術館建設をめざす
- 昭和56年1月 市長、年頭記者会見において、美術館の具体化検討を発表
12月 市会、美術館建設のための調査費を議決
- 昭和57年2月 美術館調査委員会（委員長 豊岡益人愛知県立芸術大学学長）設置、美術館のあり方について諮問
4月 「名古屋市市民文化振興のための基金に関する条例」制定
- 昭和58年1月 美術館調査委員会「名古屋市美術館（仮称）基本構想について」答申
7月 美術館建設委員会（委員長 伊藤延男東京国立文化財研究所所長）設置
8月 美術館基本設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
10月 美術館資料収集審査委員会設置、資料の収集を開始
- 昭和59年3月 建築基本設計完了
9月 美術館実施設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
- 昭和60年1月 建築実施設計完了
2月 名古屋市文化顧問（安達健二 東京国立近代美術館長）委嘱
7月 美術館建設工事着手
- 昭和61年11月 「名古屋市美術館（仮称）収集作品展」を市博物館で開催
- 昭和62年4月 美術館開設準備顧問（谷隆夫 元名古屋市助役）委嘱
7月 美術館本体工事完成
10月 外構工事完成
- 昭和63年3月 「名古屋市美術館条例」制定
4月 美術館顧問（河北倫明氏）委嘱
4月 開館（館長 谷隆夫）
- 平成元年9月 博物館登録
- 平成5年9月 南側エレベーターの設置
- 平成7年6月 美術館長（剣持一郎 元名古屋市教育長）委嘱
美術館顧問（谷隆夫 元館長）委嘱
- 平成10年10月 美術館参与（馬場駿吉 元名古屋市立大学教授）委嘱
- 平成11年6月 美術館長（小林龍郎 元名古屋市総務局長）委嘱
- 平成14年6月 美術館長（宮澤明倫 元名古屋市教育長）委嘱
- 平成18年6月 美術館長（渡辺豊彦 元名古屋市選挙管理委員会事務局長）委嘱
美術館参与（石黒鏘二 名古屋造形芸術大学名誉教授）委嘱
- 平成21年5月 美術館長（松永恒裕 元名古屋市総務局長）委嘱
6月 開館以来1,000万人目の入館者を迎える
- 平成26年5月 美術館長（横井政和 元名古屋市選挙管理委員会事務局長）委嘱
- 平成29年4月 美術館参与（早瀬弘親 元名古屋市鶴舞中央図書館長）委嘱
- 平成29年7月 美術館長（早瀬弘親 元名古屋市美術館参与）委嘱

常設展（名品コレクション展）では、「エコール・ド・パリ」「メキシコ・ルネサンス」「現代の美術」「郷土の美術」のコーナーに分けて、館の代表作品を展示するとともにテーマを設けてコレクションを多角的に紹介しています。平成29年度は、改修工事による休館期間をはさみ、特別展の開催会期にあわせ第Ⅰ期、第Ⅱ期、第Ⅲ期前・後期に分けて開催しました。常設企画展では没後40周年を記念して中村正義を取り上げ、特集では、「二次元・三次元」「名古屋のシュルレアリスム」を開催しました。今年度の常設展の開催日数は192日、来場者総計は77,850名でした。

「エコール・ド・パリ」では、まず特別展「異郷のモダニズム」に呼応し、故郷を離れパリで活動した芸術家を取り上げました。モディリアーニ、ヴァン・ドンゲン、スーチンをはじめ、藤田嗣治、岡鹿之助、田中保らの作品を展示しました。続いて第Ⅱ期では、ユトリロを中心に、荻須高德、藤田嗣治らの風景画を取り上げました。パリの風景を描いたユトリロと荻須。その視点や描き方の違いを紹介しました。第Ⅲ前期・後期では、特別展の「シャガール展」開催にあわせ、「シャガールとモンパルナス」をテーマに、所蔵品のなかでも人気の高いシャガールの版画とその周辺の作家の作品を紹介しました。

「メキシコ・ルネサンス」においては、第Ⅰ期ではメキシコ近代美術に大きな影響を受けた北川民次と二科会に着目し、北川の作品とともに北川の薫陶を受け、二科会で活躍した安藤幹衛を紹介しました。第Ⅱ期では、メキシコに魅せられてメキシコに渡った欧州、米国の芸術家から、ポール・ストランド、フーゴ・ブレイメ、ティナ・モドッティの写真を展示し、当館の充実した写真コレクションの一端をご紹介します。第Ⅲ期前期・後期には、斎藤讓氏からご寄贈いただいた北川民次の版画から、北川がメキシコ滞在中に制作した作品や、メキシコをモチーフに制作した作品を展示しました。素朴であたたかみのある北川の版画の魅力を紹介しました。

「現代の美術」の第Ⅰ期では、「惑う」をテーマに、荒川修作、河原温、中西夏之、藤本由紀夫、村上友晴、フランタらの作品を展示しました。“惑いながら”時代を生きる作家それぞれの表現をご覧ください。第Ⅱ期のテーマは「人間を描く」。河原温、森村泰昌、アバカノヴィッチ、ベン・シャーンらの作品か

ら、戦争、迫害、社会的マイノリティといった社会の諸相を浮き彫りにする人間の姿を探りました。第Ⅲ期前期は、「作品が伝える今を生きる私たちへのメッセージ」を読み解いてきました。ナチスの迫害から逃れ神戸に滞在していたユダヤ人の姿を川崎亀太郎らが写した「流氓ユダヤ」をはじめ、岡本太郎、イサム・ノグチ、エドワード・ルッシュェらの作品を取り上げました。第Ⅲ期後期では、戦後の美術界の復興期にあたる1950年～60年代に着目し、河原温、荒川修作、赤瀬川原平、池田龍雄らの作品を展示しました。

「郷土の美術」の第Ⅰ期では、この地域を代表する作家として活躍している森眞吾の1960年代から80年代の作品7点を収蔵後初めて展示しました。第Ⅱ期では、斎藤讓氏からご寄贈いただいた北川民次の版画から『版画集 瀬戸十景』をはじめ、1930年代から70年代までの作品45点を展示し、北川の版画制作の全貌をたどりました。第Ⅲ期前期では、女性像に注目し、その時々社会における女性に対する見方やあり方を探りました。第Ⅲ期後期は「戦後日本画の前衛」と題し、既存の枠を脱し日本画の革新を目指し活動した作家星野真吾、堀尾実、中村正義、水野勇夫らを取り上げました。

常設企画展では、「中村正義をめぐる画家たち」を開催しました。日本画壇の風雲児とも称され、自由で強烈な印象を与える作品を残した中村正義。展覧会では、没後40年にあたり、中村と同郷ではほぼ同時代を生きた星野真吾、平川敏夫、中村を師と仰いだ岸本清子と水野朝の4人の作品も展示し、中村と彼らとの関連性を紹介しました。

特集「二次元・三次元」では、ピカソの版画、ホックニーのフォト・コラージュ、キスリング、リベラ、ミルロイ、李禹煥、坂本夏子の油彩、フラナガン、野本信の彫刻といった時代も技法も異なる作品を「空間表現」を切り口に紹介しました。続く特集「名古屋のシュルレアリスム」では、当館で近年収蔵した猪飼重明（平成24年度収蔵）眞島健三（平成28年度収蔵）をはじめ、下郷羊雄、吉川三伸らシュルレアリスムの影響を受けた作家の作品を紹介しました。（本特集は、眞島健三の娘である眞島直子の特別展と同時期に開催。）

(1)名品コレクション展

Selected Works from the Collection of
Nagoya City Art Museum

名品コレクション展 I

会期：2017年4月29日(土・祝)～6月25日(日)

常設展示室 1・2

出品作品

*：寄託品 ☆：初出品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
コレクション解析学					
☆ 1	森 眞吾	M氏のもう一つの日記	1977	油彩・キャンヴァス	212.0×981.0
*本作品はp.5「郷土の美術:森眞吾」の出品番号3と同一作品を指す。					

エコール・ド・パリ:異郷の地にて

1	岡鹿之助	魚	1927	油彩・キャンヴァス	60.0×73.0
* 2	荻須高德	エドガー・キネ通りの市場	1929	油彩・キャンヴァス	60.0×73.0
3	田中保	ソリタ・ソラノの肖像	1923	油彩・キャンヴァス	103.0×73.5
4	藤田嗣治	風景	1918	油彩・キャンヴァス	46.2×38.0
5	コンスタンティン・ブランクーシ	うぶごえ	1917(1984)	ブロンズ	17.0×26.0×18.0
6	マルク・シャガール	二重肖像	1924	油彩・キャンヴァス	130.0×100.0
7	キース・ヴァン・ドンゲン	コルセットの女	1908	油彩・キャンヴァス	65.0×50.0
8	キスリング	新聞のある静物	1913	油彩・キャンヴァス	81.0×100.0
9	アメデオ・モディリアーニ	おさげ髪の少女	c.1918	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4
10	ジュール・パスキン	クララとジュヌヴィエーヴ	1925	油彩・キャンヴァス	92.0×73.0
11	ディエゴ・リベラ	スペイン風景(トレド)	1913	油彩・キャンヴァス	89.0×110.0
12	ハイム・スーチン	セレの風景	c.1922	油彩・キャンヴァス	79.8×87.2
13	オシップ・ザツキン	扇を持つ女	1923	ブロンズ	84.0×35.0×31.0

現代の美術:惑う

1	荒川修作	忘れるということ(掘り起こされて出し尽くしていること)	1973-74	アクリル、コラージュ・キャンヴァス	195.5×609.9
2	河原温	12 AÜG. 1984	1984	アクリル・キャンヴァス	25.5×33.0
3	中西夏之	G/Z 足元はオレンジ色 HOHO-1	1994	油彩・キャンヴァス	227.3×181.5
4	福岡道雄	琵琶湖の風	1982	FRP	183.8×120.7×47.1
5	藤本由紀夫	REAL (3D)	2002	レンチキュラーシート、紙、木製額縁	76.0×58.0×3.0
6	眞島建三	遍歴	1945	油彩・キャンヴァス	75.0×63.0
7	村上友晴	十字架	1998	油彩、アクリル・紙	43.5×32.0
8	村上友晴	マリア礼拝堂	2009	油彩、鉄筆・キャンヴァス	91.0×72.5
9	吉川三伸	死からの幻想	1949	油彩・キャンヴァス	40.7×53.0
10	吉川三伸	祈る	1953	油彩・キャンヴァス	118.0×91.5
11	アンゼルム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5
12	アントニー・ゴームリー	接近	1999	鉄	201.0×174.0×27.0
13	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7
14	フランタ	記憶のために一証人	1995	油彩・キャンヴァス	200.0×670.0
15	フリーデンスライヒ・ファンデルワッサー	[837] 郷愁の紫色の屋根	1981	ミクストメディア	72.4×50.8
16	フリーデンスライヒ・ファンデルワッサー	[HWG91 824] 彼方との対話	1985	銅版画・紙	40.0×53.5(イメージサイズ)

メキシコ・ルネサンス:日本に与えた影響—北川民次と二科会の画家

1	安藤幹衛	解放	1957	テンペラ・キャンヴァス	162.1×130.3
2	安藤幹衛	守る	1975	ピロキシリン・合板	227.3×182.2
3	北川民次	トラルパム壺園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.8
4	北川民次	赤津陶工の家	1941	テンペラ・キャンヴァス	128.1×163.6
5	北川民次	雑草の如くII	1948	油彩・キャンヴァス	162.0×130.9
6	マリア・イスキエルド	生きている静物	1947	油彩・キャンヴァス	80.3×99.7
7	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0
8	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	76.1×93.9
9	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	プレスコ・石膏(3層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3
10	ダビッド・アルファロ・シケイロス	母と子	1962	デュコ・メゾナイト	80.2×61.2
11	ルフィーノ・タマヨ	乗り遅れた乗客	1946	油彩・キャンヴァス	97.2×84.0
12	ルフィーノ・タマヨ	夜の踊り子たち	1948	油彩・キャンヴァス	96.7×76.4

郷土の美術:森眞吾

☆ 1	森眞吾	傭兵エレジー	1967	油彩・キャンヴァス	146.0×112.0
☆ 2	森眞吾	エレジー	1967	油彩・キャンヴァス	146.0×112.1
☆ 3	森眞吾	M氏のもう一つの日記	1977	油彩・キャンヴァス	212.0×981.0
☆ 4	森眞吾	Untitled 85,7,22	1985	木炭、油彩・綿布	117.0×81.0
☆ 5	森眞吾	Untitled 85,8,6	1985	木炭、油彩・綿布	128.8×89.7
☆ 6	森眞吾	Untitled 85,8,10	1985	木炭、油彩・綿布	145.5×89.5
☆ 7	森眞吾	Untitled 85,9,3	1985	木炭、油彩・綿布	145.5×89.5

名品コレクション展Ⅱ

会期：2017年10月7日(土)～12月3日(日)

常設展示室1・2

*：寄託品 ☆：初出品
 △：10月7日(土)～11月5日(日)
 ▼：11月7日(火)～12月3日(日)

出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
コレクション解析学					
1	アレクサンダー・コールドー	ファブニール・ドラゴンII	1969	着色スチール	325.1×411.5×238.0

エコール・ド・パリ：風景—ユトリロを中心に—

1	キース・ヴァン・ドンゲン	コルセットの女	1908	油彩・キャンヴァス	65.0×50.0
2	キスリング	マルセル・シャンタルの肖像	1935	油彩・キャンヴァス	116.0×81.0
3	アメデオ・モディリアーニ	おさげ髪の少女	c.1918	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4
4	アメデオ・モディリアーニ	立てる裸婦(カリアティードのための習作)	c.1911-12	油彩、水彩・紙、板	83.0×47.8
5	ハイム・スーテン	セレの風景	c.1922	油彩・キャンヴァス	79.8×87.2
6	モーリス・ユトリロ	マルカデ通り	1909	油彩・キャンヴァス	60.3×81.3
7	モーリス・ユトリロ	ノルヴァン通り	1910	油彩・厚紙	73.1×92.0
8	モーリス・ユトリロ	ラバン・アジュール	c.1913	油彩・キャンヴァス	50.0×65.0
9	モーリス・ヴラマンク	雪の村	[1940's]	油彩・キャンヴァス	54.2×65.0
10	荻須高德	アムステルダム運河	1956	油彩・キャンヴァス	92.3×65.6
11	荻須高德	洗濯場(オーベルヴァリエ)	1958-59	油彩・キャンヴァス	116.3×89.2
12	藤田嗣治	風景	1918	油彩・キャンヴァス	46.2×38.0

現代の美術：人間を描く

1	マダレーナ・アバカヴィッチ	顔(「白い顔」より)	2004	墨、グアッシュ・紙	各42.0×30.0
2	アンゼラム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5
3	デイヴィッド・ホックニー	「C.P. カヴァフィによる14編の詩のための挿絵」より2点	1966	エッチング、アクアチント・紙	各44.0×33.0
4	デイヴィッド・ホックニー	事務椅子に座るシーリア	1974	エッチング・紙	90.5×70.5
5	イサム・ノグチ	死すべきもの	1959-62	ブロンズ	190.0×51.0×48.0
6	ベン・シャーン	リディツェ	1942	テンペラ・板	129.5×99.1
7	ベン・シャーン	友だちの写真屋	1945	テンペラ・板	50.8×76.2
8	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7
9	河原温	カム・オン・マイ・ハウス	1955	油彩・キャンヴァス	125.0×181.0
* 10	坂本夏子	Octopus Restaurant (蛸のレストラン)	2010	油彩・キャンヴァス	227.0×182.0
11	中村宏	ブーツと汽車	1966	油彩・キャンヴァス	130.5×162.0
12	丹羽和子	人と人との対話	1963	油彩、和紙コラージュ・キャンヴァス	162.0×131.0
13	三尾公三	ガラスの部屋	1996	アクリル・板	180.0×180.0
14	村井正誠	歩く人	1992	油彩・キャンヴァス	228.0×182.0
15	森村泰昌	兄弟(虐殺I)	1991	カラー写真、メディウム・パネル	240.0×309.0
16	森村泰昌	兄弟(虐殺II)	1991	カラー写真、メディウム・パネル	240.0×309.0

メキシコ・ルネサンス:それぞれのメキシコブレイム、ストランド、ティナ・モドッティ

1	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	76.1×93.9	
2	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(3層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3	
3	ディエゴ・リベラ	ホコの葬列	n. d.	油彩・キャンバス	161.9×201.3	
4	ダビッド・アルファロ・シケイロス	母と子	1962	油彩・メゾナイト	59.7×69.0	
5	ダビッド・アルファロ・シケイロス	カウテモクの肖像	1947	ピロキシリン・メゾナイト	75.5×62.0	
6	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0	
7	フリーダ・カーロ	オブジェによる自画像	1946	21点のオブジェによるアッサンブラージュ、鉛筆による素描2点	90.0×90.0×10.7、42.4×34.9×20.5、42.4×34.9×5.6(3額装)	
8	ルフィーノ・タマヨ	夜の踊り子たち	1948	油彩・キャンヴァス	96.7×76.4	
9	ルフィーノ・タマヨ	横笛を吹く人	1983	油彩・キャンヴァス	129.0×95.5	
10	北川民次	トラルパム霊園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.8	
11	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より サルティエリヨ近郊	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.5×15.8	△
12	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 教会、コアピアクストラ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.1×12.5	△
13	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 聖母、サンフェリペ、オアハカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	26.2×20.2	△
14	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より サンタ・アナの女たち、ミチョアカン	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.7×15.8	△
15	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より サンタ・アナの男たち、ミチョアカン	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.0×12.4	△
16	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 女、バツクァロ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.2×12.6	△
17	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 少年、ウルアベン	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.5×20.2	△
18	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より キリスト、オアハカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	26.0×20.0	△
19	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 女と少年、テナンチンゴ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	15.7×12.5	△
20	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 広場、プエブラ州	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.8×15.7	△
21	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 鎌を持った男、ロス・レメディオス	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.0×12.3	▼
22	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より カルバリオ、バツクァロ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.2×19.8	▼
23	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より キリスト、トラコオチョアヤ、オアハカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.5×20.0	▼
24	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 少年、イダルゴ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.0×12.3	▼
25	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 女と赤ん坊、イダルゴ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.5×16.3	▼
26	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 少女と子ども、トルカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.3×12.5	▼
27	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より いぼらのキリスト、ウエクソウラ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.7×20.1	▼
28	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 男、テナンチンゴ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.4×12.7	▼
29	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 若い女と少年、トルカ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.7×15.6	▼
30	ポール・ストランド	『メキシカン・ボートフォリオ』より 門、イダルゴ	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.1×12.5	▼
31	ティナ・モドッティ	ブルケリアー犬、マリオネット、ステージセット	1929	ヴァインテージ・ゼラチンシルバープリント	18.7×20.2	△
32	ティナ・モドッティ	操り人形のルネ・ダルノンクール	1929	ヴァインテージ・ゼラチンシルバープリント	23.7×18.7	△
33	ティナ・モドッティ	キリストの鞭打ち	1925-27	ヴァインテージ・ゼラチンシルバープリント	24.7×19.5	▼
☆ 33	ティナ・モドッティ	カラー	1924-26	モダン・プラチナ・プリント	27.5×22.1	▼
34	フーゴ・ブレイム	ポポカテペトル山	n. d. (1920-30年代)	ヴァインテージ・ゼラチンシルバープリント	35.6×28.0	
35	フーゴ・ブレイム	イスタシワトル山	c. 1915	ヴァインテージ・ゼラチンシルバープリント	28.0×35.6	
36	フーゴ・ブレイム	ピコ・デ・オリザバ山	n. d. (1920-30年代)	ヴァインテージ・ゼラチンシルバープリント	35.6×28.0	

郷土の美術：斎藤譲コレクションによる北川民次の版画

1	北川民次	自画像	1937頃	木版・紙	7.0×4.2
2	北川民次	家族	1937頃	木版・紙	7.5×7.5
3	北川民次	『版画集 瀬戸十景』より (表紙) 工場の一角	1937	リノカット・紙	11.3×11.3
4	北川民次	『版画集 瀬戸十景』より (1) 窯小屋	1937	リノカット・紙	13.5×19.5
5	北川民次	『版画集 瀬戸十景』より (2) 土堀り場	1937	リノカット・紙	12.7×9.0
6	北川民次	『版画集 瀬戸十景』より (3) 煙突のある風景	1937	リノカット・紙	19.7×13.2
7	北川民次	『版画集 瀬戸十景』より (4) 夜の工場	1937	リノカット・紙	12.5×19.4
8	北川民次	『版画集 瀬戸十景』より (5) 工場の中	1937	リノカット・紙	19.7×13.0
9	北川民次	『版画集 瀬戸十景』より (6) ろくろを廻す男	1937	リノカット・紙	19.6×12.3
10	北川民次	『版画集 瀬戸十景』より (7) 山の中の窯場	1937	リノカット・紙	11.9×16.0
11	北川民次	『版画集 瀬戸十景』より (8) 窯焼き	1937	リノカット・紙	13.3×19.5
12	北川民次	『版画集 瀬戸十景』より (9) 窯入れ	1937	リノカット・紙	19.4×12.2
13	北川民次	『版画集 瀬戸十景』より (10) 瀬戸市街	1937	リノカット・紙	19.4×12.3
14	北川民次	Exlibris T. Kitagawa	1942頃	木版・紙	7.0×4.8
15	北川民次	Exlibris S. Kubo	1943頃	木版・紙	7.7×6.5
16	北川民次	Exlibris サトウ	1943頃	木版・紙	4.2×3.4
17	北川民次	花	1944	ステンシル・紙	23.0×16.5
18	北川民次	バツタ	1958.6	リトグラフ・紙	24.0×34.0
19	北川民次	サボテン(ノパール)	1958.7	リトグラフ・紙	39.0×30.0
20	北川民次	子供をだいた二人の女	1958.12	リトグラフ・紙	57.5×43.0
21	北川民次	音楽家たち	1958.12	リトグラフ・紙	54.0×38.0
22	北川民次	魚を売る女	1962.5	リトグラフ・紙	47.0×66.0
23	北川民次	哺育	1965.9	リトグラフ・紙	45.0×30.0
24	北川民次	シュブリヘディウム	1965.9	リトグラフ・紙	45.0×30.0
25	北川民次	蘭の花	1967.5	リトグラフ・紙	38×30.5
26	北川民次	母と子	1967.5	リトグラフ・紙	38.0×30.5
27	北川民次	かいう	1967.6	リトグラフ・紙	38×31.5
28	北川民次	瀬戸の母子像	1967.6	リトグラフ・紙	40.0×31.5
29	北川民次	シクラメン	1967.7	リトグラフ・紙	38.5×30.5
30	北川民次	抱擁	1967.7	リトグラフ・紙	39.0×30.5
31	北川民次	グロキシニア	1967.9	リトグラフ・紙	40×29.5
32	北川民次	聖母子	1967.9	リトグラフ・紙	37.5×29.5
33	北川民次	アンスリウムとカトレア	1967.12	リトグラフ・紙	36.0×31.5
34	北川民次	水浴の母子	1967.12	リトグラフ・紙	40×33
35	北川民次	かいうの前で抱きあう二人	1967.9	エッチング・紙	13.5×9
36	北川民次	若者たち	1967.9	エッチング・紙	13.5×9
37	北川民次	ひげのある男	1967.9	エッチング・紙	8.5×13.5
38	北川民次	抱かれる女	1967.9	エッチング・紙	8.5×13.5
39	北川民次	倒れたバツタと群集	1971.2	エッチング・紙	29.5×20.5
40	北川民次	両手に囲まれるバツタ	1971.6	エッチング・紙	14.5×20.5
41	北川民次	卓上の静物	1972	リトグラフ・紙	40.0×34.0
42	北川民次	Batta御礼	1974	リトグラフ・紙	12.0×16.5
43	北川民次	バツタ	1977	リトグラフ・紙	19.5×22.8
44	北川民次	女とトマト	c.1973~77	リトグラフ・紙	34.0×30.0
45	北川民次	自画像	1977	エッチング・紙	25.6×18.6

名品コレクション展Ⅲ

会期：2017年12月14日(木)～2018年4月15日(日)

常設展示室1・2

*：寄託作品

i：[前期] 2017年12月14日(木)～2018年2月18日(日)

ii：[後期] 2018年3月3日(土)～4月15日(日)

出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	
1	椎原治	流氓ユダヤー仮睡	1941	セラチンシルバープリント、フェロタイプ仕上げ	35.7×43.2	i
2	マリア・イスキエルド	生きている静物	1947	油彩・キャンヴァス	80.3×99.7	ii

コレクション解析学

エコール・ド・パリ：シャガールとモンパルナス

* 1	荻須高德	エドガー・キネ通りの市場	1929	油彩・キャンヴァス	60.0×73.0	i・ii
* 2	荻須高德	引越屋	1930	油彩・キャンヴァス	60.0×73.0	i・ii
* 3	藤田嗣治	裸婦	1928	油彩・キャンヴァス	73.0×101.0	i・ii
4	マルク・シャガール	七つの大罪 扉絵	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	i
5	マルク・シャガール	七つの大罪 高慢I	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	i
6	マルク・シャガール	七つの大罪 高慢II	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	ii
7	マルク・シャガール	七つの大罪 強欲I	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	i
8	マルク・シャガール	七つの大罪 強欲II	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	ii
9	マルク・シャガール	七つの大罪 肉欲I	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	i
10	マルク・シャガール	七つの大罪 肉欲II	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	ii
11	マルク・シャガール	七つの大罪 嫉妬I	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	i
12	マルク・シャガール	七つの大罪 嫉妬II	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	ii
13	マルク・シャガール	七つの大罪 大食I	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	i
14	マルク・シャガール	七つの大罪 大食II	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	ii
15	マルク・シャガール	七つの大罪 憤怒I	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	i
16	マルク・シャガール	七つの大罪 憤怒II	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	ii
17	マルク・シャガール	七つの大罪 怠惰I	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	i
18	マルク・シャガール	七つの大罪 怠惰II	1926	エッチング・紙	16.8×10.8	ii
* 19	アルベール・グレーズ	キュビズム 静物	n.d.	油彩・キャンヴァス	61.0×47.5	i・ii
20	キスリング	ルネ・キスリング夫人の肖像	1920	油彩・キャンヴァス	73.7×54.6	i・ii
21	キスリング	マルセル・シャンタルの肖像	1935	油彩・キャンヴァス	116.0×81.0	i・ii
* 22	フェルナン・レジェ	青い背景のコンポジション	1930	油彩・キャンヴァス	92.0×60.0	i・ii
* 23	ジャン・メッツァンジェ	静物	n.d.	油彩・キャンヴァス	49.0×60.0	i・ii
24	アメデオ・モディリアアーニ	おさげ髪の少女	1918頃	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4	i・ii
25	ジュール・パスキン	横たわるエリアーヌ	1929	油彩・キャンヴァス	73.2×92.6	i・ii
26	ハイム・スーテン	鳥のいる静物	1918-19頃	油彩・キャンヴァス	60.0×81.5	i・ii
27	ハイム・スーテン	農家の娘	1919頃	油彩・キャンヴァス	80.0×45.0	i・ii
28	オシップ・ザツキン	扇を持つ女	1923	ブロンズ	84.0×35.0×31.0	i・ii

現代の美術：[前期]作品が伝える今を生きる私たちへのメッセージ

1	荒川修作	眠っている断片No.1	1959	セメント、綿	228.0×97.7×20.4	i	
2	岡本太郎	明日の神話	1968	油彩・キャンヴァス(3パネル)	132.7×728.9	i	
3	川崎亀太郎	流氓ユダヤー題不詳(仲間)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.1	i	
4	川崎亀太郎	流氓ユダヤー題不詳(姉妹、窓辺)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.1×30.1	i	
5	川崎亀太郎	流氓ユダヤー題不詳(姉妹)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.1	i	
6	川崎亀太郎	流氓ユダヤー題不詳(少女)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.1×29.9	i	
7	川崎亀太郎	流氓ユダヤー題不詳(三人の子供)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.1	i	
8	川崎亀太郎	流氓ユダヤー題不詳(門前)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.1	i	
9	河原温	JUNE 5, 1967	1967	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i	
10	河原温	DEC. 4, 1975	1975	リキテックス・キャンヴァス	45.5×61.5	i	
11	椎原治	流氓ユダヤー仮睡	1941	ゼラチンシルバークラッシュプリント、フェロタイプ仕上げ	35.7×43.2	i	
12	椎原治	流氓ユダヤー仲間	1941	ゼラチンシルバークラッシュプリント、フェロタイプ仕上げ	30.9×43.7	i	
13	椎原治	流氓ユダヤーヘブライの書	1941	ゼラチンシルバークラッシュプリント、フェロタイプ仕上げ	31.8×41.4	i	
14	椎原治	流氓ユダヤー窓	1941	ゼラチンシルバークラッシュプリント、フェロタイプ仕上げ	30.3×25.0	i	
*	15	塩田千春	Augapfel(眼球)	2005	医学用眼球モデル、糸、鉄棒	50×50×51.5	i
*	16	塩田千春	行くべき場所、あるべきもの—ガラス	2010	トランク、セメント、ガラス、糸、ドロイング(水性クレヨン、アクリル絵の具)	43×65×67	i
17	田淵銀芳	流氓ユダヤー題不詳(ヘブライの書)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.3	i	
18	田淵銀芳	流氓ユダヤー題不詳(三人の子供)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.3	i	
19	田淵銀芳	流氓ユダヤー題不詳(仲間、告示板)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.2	i	
20	田淵銀芳	流氓ユダヤー題不詳(仲間、中庭)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.3	i	
21	田淵銀芳	流氓ユダヤー題不詳(中庭)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.3	i	
22	田淵銀芳	流氓ユダヤー題不詳(ベッド)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.3	i	
23	田淵銀芳	流氓ユダヤー父子	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.3	i	
24	田淵銀芳	流氓ユダヤーチェス	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.3	i	
25	田淵銀芳	流氓ユダヤー題不詳(窓)	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.3	i	
26	田淵銀芳	流氓ユダヤー男	1941/2005	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.3	i	
27	安井仲治	相克	1932/2004	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	20.2×30.3	i	
28	安井仲治	犬	1935/2004	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	37.9×24.6	i	
29	安井仲治	蝶	1938/2004	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	35.0×45.5	i	
30	安井仲治	砂上	1938/2004	ゼラチンシルバークラッシュプリント(オリジナル・ネガからのニュープリント)	35.1×45.6	i	
31	安井仲治	参考資料:流氓ユダヤー三人	1941/2005	印刷([安井仲治写真作品集]昭和17年発行 平成17年国書刊行会より複製)	41.0×31.0	i	
32	安井仲治	参考資料:流氓ユダヤー告示	1941/2005	印刷([安井仲治写真作品集]昭和17年発行 平成17年国書刊行会より複製)	41.0×31.0	i	
33	安井仲治	参考資料:流氓ユダヤー手	1941/2005	印刷([安井仲治写真作品集]昭和17年発行 平成17年国書刊行会より複製)	41.0×31.0	i	
34	安井仲治	参考資料:流氓ユダヤー窓	1941/2005	印刷([安井仲治写真作品集]昭和17年発行 平成17年国書刊行会より複製)	41.0×31.0	i	
35	山本悍右	ある人間の思想と発展…霧と寝室と	1932	ゼラチンシルバークラッシュプリント、コラージュ	28.1×20.7	i	
36	山本悍右	[影]	1932-33	ゼラチンシルバークラッシュプリント	18.1×27.2	i	
37	山本悍右	「伽藍の鳥籠」のヴァリエーション	1940	ゼラチンシルバークラッシュプリント	30.4×25.6	i	
38	アンゼラム・キーファー	シベリアの王女	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	i	
39	モニカ・マイヤー	私は戦争を祝うことも無ければ記念することもない	2010	セリグラフ・紙	70.0×100.0	i	
40	イサム・ノグチ	死すべきもの	1959-62	ブロンズ	190.0×51.0×48.0	i	
41	ベン・シャーン	リディツェ	1942	テンペラ・板	129.5×99.1	i	
42	エドワード・ルツェ	20世紀	1988	油彩・キャンヴァス	150.0×368.0	i	
43	フランク・ステラ	説教	1990	ミクストメディア・アルミニウム	345.5×365.8×139.7	i	

現代の美術：[後期]戦後の展開(1950-60年代)

1	赤瀬川原平	あいまいな海 9	1961	コラージュ、インク・紙	25.0×35.5	ii
2	赤瀬川原平	あいまいな海 10	1961	コラージュ、インク・紙	35.5×24.5	ii
3	赤瀬川原平	あいまいな海 11(座骨内の眼球)	1961	コラージュ、インク・紙	35.5×25.0	ii
4	赤瀬川原平	あいまいな海 1	1963	コラージュ、インク、水彩・紙	37.9×29.1	ii
5	赤瀬川原平	あいまいな海 4	1963	コラージュ、水彩・紙	27.0×38.2	ii
6	赤瀬川原平	あいまいな海 8	1963	コラージュ、インク、水彩・紙	39.8×27.3	ii
7	芥川(間所)紗織	神話より	1957	染色・木綿	162.3×130.3	ii
8	芥川(間所)紗織	民話(1)	1958	染色・木綿	162.0×112.3	ii
9	荒川修作	無題	1964	油彩・キャンヴァス、コラージュ	162.1×130.3	ii
* 10	荒川修作	最後のつぎ	1966-67	アクリル・キャンヴァス	244.0×327.0	ii
11	荒川修作	自画像	1967	油彩、鉛筆・キャンヴァス	173.0×60.2	ii
12	池田龍雄	秩序	1955	インク、鉛筆・紙	37.7×28.4	ii
13	池田龍雄	監視者(化物の系譜シリーズ)	1956	インク、コンテ、水彩・紙	40.1×31.2	ii
14	池田龍雄	神童(化物の系譜シリーズ)	1956	インク、コンテ、水彩・紙	37.7×29.3	ii
15	池田龍雄	貌(化物の系譜シリーズ)	1956	インク、コンテ・紙	29.2×37.4	ii
16	池田龍雄	禽獣記シリーズ その1	1957	インク、水彩・紙	36.3×26.4	ii
17	池田龍雄	巨食(禽獣記シリーズ)	1958	インク、コンテ、水彩・紙	40.8×30.5	ii
18	石井茂雄	暴力シリーズー戒厳状態Ⅲ	1956	油彩・キャンヴァス	112.2×145.7	ii
19	石井茂雄	暴力シリーズー審判	1957	油彩・キャンヴァス	130.0×161.6	ii
20	河原温	カム・オン・マイ・ハウス	1955	油彩・キャンヴァス	125.0×181.0	ii
21	河原温	私生児の誕生	1955	油彩・キャンヴァス	132.0×194.0	ii
22	河原温	FEB. 23, 1966	1966	リキテックス・キャンヴァス	20.5×25.5	ii
23	河原温	JUNE 5, 1967	1967	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	ii
24	河原温	20 ABR. 68	1968	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	ii
25	河原温	17 ENE. 69	1969	リキテックス・キャンヴァス	20.5×25.5	ii
26	河原温	百年カレンダー(18,864日)	1984	フェルトペン、シルクスクリーン・紙	70.4×131.5	ii
27	桑山忠明	無題	1965	アクリル・キャンヴァス	247.7×215.9	ii
28	中村宏	都市計画	1958	油彩、グラフィア写真、新聞・合板	92.0×183.0	ii
29	吉仲太造	生きものK	1955	油彩・キャンヴァス	181.0×226.5	ii
30	アンゼルム・キーファー	シベリアの王女	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	ii
31	フランク・ステラ	説教	1990	ミクストメディア・アルミニウム	345.5×365.8×139.7	ii

メキシコ・ルネサンス：北川民次の版画にみるメキシコ

1	北川民次	トラルパム霊園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.8	i・ii
2	北川民次	タスコの山B	1934	油彩・板	45.5×60.6	i・ii
3	北川民次	老人	1932	油彩・キャンヴァス	76.0×61.0	i・ii
4	北川民次	Exlibris Susan Smith	1929頃	木版・紙	9.2×6.4	i・ii
5	北川民次	Exlibris Provosty	1929頃	木版・紙	8.5×6.7	i・ii
6	北川民次	メキシコ人の家族	1929頃	エッチング・紙	12.0×9.7	i・ii
7	北川民次	結婚通知状	1929	手彩色、木版・紙	11.0×8.0	i・ii
8	北川民次	ブルケを探る	1929	木版・紙	12.3×8.3	i・ii
9	北川民次	水浴する二人の女	1934	リトグラフ・紙	17.0×11.5	i・ii
10	北川民次	字を書くメキシコの女	1935	リノカット・紙	13.0×8.5	i・ii
11	北川民次	楽士	1936	木版・紙	9.5×12.3	i・ii
12	北川民次	メキシコの女	1937頃	セルロイド凸版・紙	22.3×15.0	i・ii
13	北川民次	牛	1937頃	木版・紙	8.0×11.0	i・ii
14	北川民次	メキシコの浴み	1941頃	木版・紙	26.0×29.0	i・ii
15	北川民次	タスコの裸婦	1941頃	木版・紙	24.0×43.0	i・ii
16	北川民次	メキシコ群像	1941頃	木版・紙	27.0×20.5	i・ii
17	北川民次	メキシコの男	1948	木版・紙	8.5×6.5	i・ii
18	北川民次	メスチーサ	1961	リトグラフ・紙	11.5×18.5	i・ii
19	北川民次	眠るインディアン	1961	リトグラフ・紙	29.5×39.0	i・ii
20	マリア・イスキエルド	生きている静物	1947	油彩・キャンヴァス	80.3×99.7	i
21	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0	i・ii
22	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	76.1×93.9	i・ii
23	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(3層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3	i・ii
24	ディエゴ・リベラ	ホコの葬列	n.d.	油彩・キャンヴァス	59.7×69.0	i・ii
25	ダビッド・アルファロ・シケイロス	カウテモックの肖像	1947	ビロキシリン・メゾナイト	75.5×62.0	i・ii
26	ダビッド・アルファロ・シケイロス	母と子	1962	デュコ・メゾナイト	80.2×61.2	i・ii
27	ルフィーノ・タマヨ	夜の踊り子たち	1948	油彩・キャンヴァス	96.7×76.4	i・ii
28	ルフィーノ・タマヨ	横笛を吹く人	1983	油彩・キャンヴァス	129.0×95.5	ii

郷土の美術：[前期]描かれた女性イメージ

1	芥川(間所)紗織	女	1954	染色・木綿	90.8×65.2	i
2	芥川(間所)紗織	入水するおとたちばな姫	1956	染色・絹	128.9×88.6	i
* 3	甲斐庄楠音	女	1919頃	絹本着彩	46.0×52.0	i
* 4	甲斐庄楠音	桜子	n.d.	絹本着彩	36.0×39.0	i
* 5	甲斐庄楠音	手鏡を持つ女	n.d.	絹本着彩	44.0×51.0	i
6	岸本清子	エロチカル・ガールズ—三色すみれ	1983	アクリル・合板	136.3×91.2	i
7	岸本清子	エロチカル・ガールズ—クリスマス・ローズ	1983	アクリル・合板	136.4×91.0	i
8	北川民次	焼け跡	1945	油彩・キャンヴァス	65.5×80.6	i
9	喜多村麦子	題不詳(中国人物)	1920年代	絹本着彩	172.0×71.0	i
10	喜多村麦子	題不詳(美人画)	1930年代	絹本着彩	125.0×86.0	i
11	鬼頭鍋三郎	手をかざす女	1934	油彩・キャンヴァス	191.0×129.0	i
12	鬼頭鍋三郎	裁縫	1939	油彩・キャンヴァス	116.5×90.8	i
13	鬼頭鍋三郎	[勤労働員の女]	1943頃	油彩・キャンヴァス	91.0×73.0	i
14	瀬川遠久	遊郭内	n.d.	紙本着彩 屏風(二曲一隻)	143.0×200.0	i
15	渡辺幾春	若き女	1922	絹本着彩 屏風(二曲一隻)	162.0×150.0	i
16	渡辺幾春	女	1923	絹本着彩 屏風(二曲一隻)	162.0×150.0	i

郷土の美術：[後期]戦後日本画の前衛

1	大島哲以	惑溺	1966	紙本着彩、銀箔	90.9×116.7	ii
2	大野俣嵩	緋	1963	絹本着彩、ジュート	117.0×93.0	ii
3	下村良之助	陌	1961	紙本着彩	91.0×182.0	ii
4	中村正義	男	1963	紙本着彩、ダンボール	161.9×129.7	ii
5	中村正義	女	1963	紙本着彩、ダンボール	161.5×127.5	ii
6	星野真吾	三猿	1958	紙本着彩	92.2×367.5	ii
7	星野真吾	蒼色の作品	1969	紙本着彩	123.0×183.5	ii
8	堀尾実	有心無心	1952	日本顔料、銀泥・キャンヴァス	73.3×90.8	ii
9	三上誠	[無題]	1967-68頃	紙本着彩、コラージュ	92.5×62.5	ii
10	水谷勇夫	さらしもの	1961	紙本着彩	162.0×130.0	ii

(2)常設企画展 Thematic Exhibition

特集 中村正義をめぐる画家たち

Artists around Masayoshi Nakamura

会期：2017年10月7日(土)～12月3日(日)

会場

常設展示室3

内容

戦後の日本画壇を疾風のごとく駆け抜けた画家、中村正義の没後40年を記念して開催した。27歳で日展に無鑑査出品、そして36歳の若さで審査員となるなど、将来の日本画壇を担う俊英として早くからその才能を注目されながら、因習的な徒弟制度や表現に対する様々な制約を嫌った彼は、37歳で日展を脱退し、以後あらゆる枠組を超えた自由な創作活動を展開した。主題、画材、技法など、すべての面で既成概念を打ち破る、その破天荒なまでの表現の自由に対する情熱は、まさに日本画壇の風雲児と呼ぶにふさわしい活躍であった。

一方で、人を喜ばせることが好き、と自ら語るように、繊細さと大胆さ、そして独創性を併せ持つその人柄は、周囲の人々を楽しませ、

驚かせ、そして強くひきつけた。創造の自由と新しい絵画への情熱は、晩年の「从会」の結成や、東京展の開催へと結実し、志を同じくする仲間が彼の周囲に多く集まっている。また、伝統的な徒弟制度を嫌った正義は、生涯弟子を取ることはなかったが、そのきらびやかな才能と自由な精神に魅かれた若い芸術家たちが、常にその周囲を取り巻いていた。

今回の展示では、中村正義と同郷で、ほぼ同世代の画家として早くから互いに切磋琢磨した星野真吾と平川敏夫。また中村正義を師と仰ぎ、独自の作風を築き上げた岸本清子と水野朝。この4人の作家と中村正義の作品を同時に展示し、稀代の風雲児が残した精神の軌跡を紹介した。

出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
1	中村正義	太郎と花子	1960年	紙本着彩、焼銀箔	104.0×183.0
2	中村正義	自画像	1962年	絹本着彩	161.6×129.4
3	中村正義	女	1963年	紙本着彩、ダンボール	161.9×129.7
4	中村正義	男	1963年	紙本着彩、ダンボール	161.9×129.8
5	星野真吾	黒い犠牲	1966年	紙本着彩	122.0×183.0
6	星野真吾	甦る残像	1979年	紙本着彩	130.3×162.0
7	平川敏夫	陶土のある町	1958年	紙本着彩	134.0×182.0
8	平川敏夫	樹凌	1967年	紙本着彩	169.6×239.5
9	岸本清子	[Look Left!!のための習作]	1967年頃	鉛筆、水彩・紙	37.6×53.6
10	岸本清子	昨日のキリスト	1970年頃	アクリル・キャンヴァス	116.5×73.0
11	岸本清子	Erotical Girls(エロチカル・ガールズ)―菊	1983年	アクリル・合板	136.9×91.3
12	岸本清子	[ナルシスの自画像]	1988年	パステル・紙	53.0×37.8
13	岸本清子	イエス・キリスト	1988年	パステル・紙	53.0×37.8
14	水野朝	小学五年生のときかいた母	1956年	水彩・紙	37.8×26.9
15	水野朝	中学二年生の私	1959年	油彩・キャンヴァス	41.3×32.2
16	水野朝	自画像	1960年頃	岩絵の具、パステル・紙	92.0×61.0
17	水野朝	子どもたち	1976年頃	岩絵の具・紙	162×130.5
18	水野朝	中村正義先生の肖像	1977年	油彩・キャンヴァス	53.0×45.5
19	水野朝	ヌード	1979年	顔彩・紙	61.0×45.5
20	水野朝	父	1980年	油彩・キャンヴァス	53.0×45.5
21	水野朝	父母の死んだ年	1980年	油彩・キャンヴァス	53.0×45.5
22	水野朝	中村正義先生と私	2004年	油彩・キャンヴァス	130.0×160.0
23	水野朝	自画像	2013年	アクリル、パステル、鉛筆・紙	65.0×45.0

特集 二次元・三次元

The Second Dimension/The Third Dimension

会期：2017年12月14日(木)～2018年2月18日(日)

会場

常設展示室3

内容

この特集展示では「二次元・三次元」と題し、絵画作品、あるいは彫刻作品の空間表現について考えてみた。

古来画家たちは、絵画の中に三次元の空間を描き込もうとしてきた。ルネサンスの時代には遠近法を駆使して奥行きある空間を表現したが、19世紀の印象派を経て20世紀初頭のピカソに至るまで、絵画空間は緩やかに変化していく。1907年にピカソが《アビニョンの娘たち》を描いて絵画空間に革命を起こしたことにより、奥行きある三次元の空間をうつすものとは異なった絵画が生まれ、色や形そのものを表現する二次元性の強い抽象絵画の誕生へとつながっていった。

現代の作品の中には、二次元・三次元というものが様々な形で表現されている。ピカソの空間探求を引き継ぎ、二次元・三次元を超えた空間を表そうとしているかに見える作家も出てきた。ここでは、20世紀初め頃の作品に見られる、ピカソのキュビズムの影響を確認できるような作品を始めとして、現代の作家たちの二次元・三次元をめぐる様々な試みを紹介した。また、彫刻家の試みにも焦点を当て、二次元と三次元の混在する作品を紹介した。

*：寄託作品

No.	作家名	作品名	制作年	素材、技法	サイズ (cm)
1	パブロ・ピカソ	女	1922-23	エッチング・紙	11.8×7.9(紙サイズ)
* 2	デイヴィッド・ホックニー	Mother Los Angels, 1982年12月	1982	カラー写真(フォトコラージュ)	135.0×99.0
3	マリー・ローランサン	横たわる裸婦	1908	油彩・キャンヴァス	38.0×46.4
4	キスリング	新聞のある静物	1913	油彩・キャンヴァス	81.0×100.0
5	ディエゴ・リベラ	スペイン風景(トレド)	1913	油彩・キャンヴァス	89.0×110.0
6	リサ・ミルロイ	皿	1992	油彩・キャンヴァス	188.0×243.8
7	ジョナサン・ポロフスキー	ベルリンの夢	1986	リトグラフ・鉄、アクリル	91.0×65.0
8	李禹煥	風とともに	1990	油彩・キャンヴァス	227.0×182.0
9	辰野登恵子	WORK86-P-12	1986	油彩・キャンヴァス	291.0×218.0
10	福田美蘭	陶器(スルバランによる)	1992	カラー写真、レンチキュラーレンズ	47.9×86.0×3.5
* 11	坂本夏子	Octopus Restaurant(蛸のレストラン)	2010	油彩・キャンヴァス	227.0×182.0
12	渡辺英司	2011年度カレンダー《彼方此方》	2010	印刷、コラージュ・紙	29.6×41.9
13	バリー・フラナガン	三日月と釣鐘の上を跳ぶ野ウサギ	1983	ブロンズ	121.9×94.0×61.0
14	野水信	コの記号	1965	鉄	147.0×42.0×25.0

特集 名古屋のシュルレアリスム

Surrealism in Nagoya

会期：2018年3月3日(土)～4月15日(日)

会場

常設展示室3

内容

名古屋画壇は、明治以降しばらく東京や京都に遅れをとっていたが、1930年代には前衛美術、とくにシュルレアリスムの分野で優れた作家を多く輩出するに至った。

「超現実主義」と訳されるシュルレアリスムは、1920年代にパリを拠点として興隆した芸術運動である。日常や慣習、理性にとらわれている人間の精神を解放して、夢や無意識の世界に新たな表現の可能性を見出そうとするもので、詩人のアンドレ・ブルトンが1924年10月に「シュルレアリスム宣言」を発表してこの運動を牽引した。日本では早くも1925年から、主に詩の分野でシュルレアリスムの紹介が始まっている。独立美術協会に所属していた三岸好太郎は、1930年代前半という比較的早い時期に、フォト・コラージュなどのシュルレアリスムの手法に反応して、見る者の想像力を刺激する詩的な作品を制作した。また、名古屋生まれの北脇昇は京都画壇で活躍し、虚構と現実を^ま交ぜにした《空港》(1937年)、《独活》(1937年)、《クォ・ヴァディス》(1949年、3点とも東京国立近代美術館蔵)など日本の洋画史上に残る傑作を世に送り出した。

戦前の名古屋でシュルレアリスムを牽引したのは、詩人で美術評論家の山中散生と、画家の下郷羊雄である。下郷は日本で最初のシュルレアリスム絵画グループである新造型美術協会の会員であり、1936年に新造型名古屋展を開催して名古屋で初めてシュルレアリスム絵画を紹介している。また、岡田徹や吉川三伸ら若い画家

たちは、下郷のアトリエに集い、下郷が収集していた海外の画集や文献を読んで最新の美術の動向を知るようになった。下郷、吉川、岡田、それに猪飼重明らシュルレアリスムに高い関心を持つ画家と、坂田稔ら写真家によって、1937年に「ナゴヤアバンギャルドクラブ」が結成され、翌年には白木正一らがここに加入している。

日本におけるシュルレアリスムの最盛期は1937年前後であったが、残念ながら1940年代の特別高等警察による思想弾圧によって、日本のシュルレアリスムは急速に消沈し、また戦災によって戦前の作品が多く失われた。名古屋生まれの眞島建三もまた、空襲によって昭島の自宅にあった絵をすべて焼失している。戦中、眞島は呉海軍航空隊に所属しており、原爆投下の翌日広島に派遣された。1945年制作の《遍歴》(名古屋市美術館蔵)には、大きな岩のある開けた大地の上空に、きのこ雲を仄めかすような奇妙な形の雲が浮かんでいる。

このようにシュルレアリスムの影響を受けた郷土ゆかりの画家たちの作品を、名古屋市美術館のコレクションの中から選び展示した。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
1	猪飼重明	シャベルについて	1945	油彩・キャンヴァス	63.5×88.3
2	猪飼重明	偶像の手術	1950	油彩・キャンヴァス	72.4×60.4
3	猪飼重明	いやな季節	1951	油彩・キャンヴァス	90.7×72.6
4	岡田 徹	カラスの祭典(A)	1976	油彩・キャンヴァス	130.3×162.1
5	北脇昇	鳥獣曼荼羅	1938	油彩・キャンヴァス	45.5×33.4
6	北脇昇	春に合掌す	1942	油彩・キャンヴァス	72.5×91.0
7	下郷羊雄	パンチュール	1935	油彩・板	40.9×31.9
8	下郷羊雄	伊豆の海	1937	油彩・キャンヴァス	72.7×53.3
9	下郷羊雄	作品	1938	油彩・キャンヴァス	53.2×65.5
10	白木正一	地獄の季節	1956	油彩・キャンヴァス	227.8×338.0
11	吉川三伸	葉に因る絵画	1940	油彩・キャンヴァス	45.5×52.8
12	吉川三伸	死からの幻想	1949	油彩・キャンヴァス	40.7×53.0
13	吉川三伸	1940年追憶(Ⅲ)	1976	油彩・キャンヴァス	91.0×73.0
14	眞島建三	遍歴	1945	油彩・キャンヴァス	75.0×63.0
15	眞島建三	題不詳(樹)	1948	油彩・キャンヴァス	117.0×91.5
16	眞島建三	ミノタウロス	1948	油彩・キャンヴァス	117.0×91.5
17	眞島建三	パンの詩	1951	油彩・キャンヴァス	48.0×55.0
18	三岸好太郎	海と射光	1934	油彩・キャンヴァス	72.8×60.5
19	米倉寿仁	山を想ふ	1952	油彩・キャンヴァス	80.5×100.0

平成29年度は、7月から9月にかけて改修工事による3か月の臨時休館があったため、通常より1本少ない4本の特別展を開催しましたが、テーマ展、コレクション展、個展、技法、時代、地域など、実にバラエティーに富んだ内容になりました。

先ず4月から6月にかけては「異郷のモダニズム－満州写真全史」を開催しました。この展覧会は平成6年度に開催した「異郷のモダニズム－淵上白陽と満洲写真作家協会」の続編、あるいは総集編とも呼ぶべき内容で、満州という異郷の地で四半世紀にわたって展開した、写真表現における日本のモダニズムの歴史を、貴重なヴィンテージ・プリントや資料を駆使して紹介しました。また会期中には当時の満州の姿を伝える記録映画や劇場映画の連続上映会も行い、多くの来館者の方をお迎えしました。

改修後の10月から12月にかけては「ランス美術館展」を開催しました。名古屋市美術館とランス美術館は、平成25年10月に友好提携の覚書を交わし、平成28年度の「藤田嗣治展 東と西を結ぶ絵画」の際には50点近い作品をランス美術館からお借りしています。今回はランス美術館が所蔵する3000点近い絵画作品から、17世紀から20世紀にかけての300年間のヨーロッパ美術の歴史を概観する約70点の作品を紹介しました。また会期中の10月20日には、名古屋市とランス市の姉妹都市提携の調印式が行われ、両市は正式に姉妹都市となりましたが、これを記念して名古屋会場には3点の作品が特別出品されました。

続く12月の中旬から翌年2月中旬にかけては「シャガール 三次元の世界展」を開催しました。絵画や版画で広く知られるシャガールですが、実は第二次大戦後は陶器や彫刻など立体作品も多数手がけています。今回の展覧会では、これら立体作品と絵画や版画などの平面作品がどのように関係しながら、あの独特のシャガールの世界を作り上げているのかをご覧ください。会場には60点ほどの陶器や彫刻作品が展示されましたが、これほどまとまって立体作品が紹介されるのは日本では初めての試みで、来館者の方々も初めて触れるシャガールの世界に驚き、感動されていました。

平成29年度最後の展覧会は、地元出身の作家、真島直子の大規模な回顧展を開催しました。活動の初期から平面作品と立体作品を平行して制作していた真島直子は、1990年から始められた<地ごく楽>シリーズによって、今日の日本を代表する作家のひとりとなり、その後2000年頃からは鉛筆による細密描写を手がけて海外でも高い評価を得ています。初期から最近作まで、平面と立体、モノクロームと極彩色の作品が交錯するように展示された空間は、まさに真島ワールド。充溢するエネルギーと不気味な死の影、緻密さと奔放さ、グロテスクとユーモア、などなど、相対立する要素が混然一体となった展示空間に多くの来館者が魅了されました。

異郷のモダニズム

—満洲写真全史—

Development of the Japanese Modern Photography
in MANCHOUKUO.

会期：2017年4月29日(土・祝)～6月25日(日)

会場

企画展示室1・2 及び 常設展示室3

主催

名古屋市美術館、毎日新聞社、日本経済新聞社、テレビ愛知

後援

愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会、
名古屋市交通局

助成

公益財団法人ポーラ美術振興財団研究助成(平成25年度、平成27
年度)

観覧料

一般1,200円(前売1,100円)、高大生 800円(前売700円)、
中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金

内容

1905(明治38)年の〈ポーツマス条約〉により、東清鉄道の南部支線と炭礦の採掘権を獲得した日本は、翌1906(明治39)年、〈南満洲鉄道株式会社(満鉄)〉を設立し、本格的な植民地経営に乗り出して行く。「十萬同胞の熱血が注がれた」“満洲”については、日露戦争終結の時点から、「内地」の国民にその存在と意義を知らしめるべく、満鉄による啓蒙活動が展開された。「内地」に向けての「弘報」活動に於いては、やがて視覚的な「資料」=写真が宣伝材料として重視されるようになった。言わば「満洲」で展開した写真とは、その発生から「宣伝」という機能を課されたものであった。

当初は、記録的な表現であった満洲の写真は、1932(昭和7)年の「満洲国」建国の前後からは絵画的な表現により、「赤い夕陽の満洲」など、日本人が大陸に抱いたロマンティズムが図像を伴って可視化され、配信された。1930年代後半に入り、やがてグラフィズムの時代を迎えると、大陸の表象は、より洗練された「記号」へと変貌していった。

しかし、日本の敗戦とともに「満洲国」は13年と5か月で崩壊し、それとともに「大陸」に寄せられた視線とその写真表現の展開も途絶え、消滅する。「記録」と「表象」、「紹介」と「啓蒙」、さらには「宣伝」へと展開した「満洲」の写真とは、正しく、写真というメディアの発展をたどるものでもあった。

本展覧会は、1994(平成6)年に開催した展覧会『異郷のモダニズム-淵上白陽と満洲写真作家協会』を継ぐものとして、およそ四半世紀の間に展開した「満洲」の写真表現を、貴重なヴィンテージ・プリントや多数の資料で辿り、改めて日本のモダニズムが到達し得た豊饒なその表現を紹介した。

尚、本展覧会企画に対して「平成30年日本写真協会学芸賞」(個人表彰)及び「第30回写真の会特別賞」(個人表彰)が授与された。

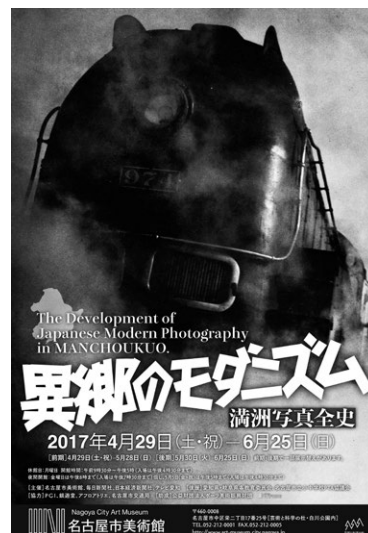
展示構成

- I. 大陸の風貌-櫻井一郎と〈亞東印画協会〉
- II. 移植された絵画主義-淵上白陽と〈満洲写真作家協会〉
- III. 「宣伝」と「統制」-満洲国國務院弘報處と『登録写真制度』
- IV. “偉大なる建設”-プロパガンダとグラフィズムの諸相
- V. 廢墟への「査察」-ポーレイ・ミッション・レポート

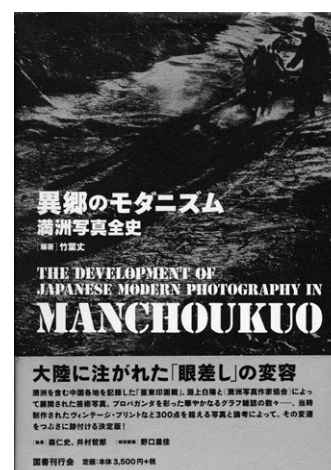
図録

26.4×19.0cm 254頁

編集・発行:株式会社国書刊行会



ポスター・チラシ



図録



会場風景

関連事業

解説会 展覧会の展示構成に沿って、担当学芸員が作品とその時代背景を解説。

- ① 5月6日(土)午後2時～
「大陸の風貌-櫻井一郎と〈亞東印画協会〉」
- ② 5月27日(土)午後2時～
「移植された絵画主義-淵上白陽と〈満洲写真作家協会〉」
- ③ 6月3日(土)午後2時～
「宣伝と統制-満洲国の写真政策」
- ④ 6月17日(土)午後2時～
「建国と崩壊のグラフィズム」

講師:竹葉 丈

会場:講堂

特別上映会

特集:李香蘭と満鉄記録映画集

第1回 6月9日(金)午後6時～

「迎春花」満洲映画協会作品 1942(昭和17)年 74分

第2回 6月11日(日)午前10時～

満鉄記録映画集【3】57分

「建国の春」[1932(昭和7)年、17分]

「満洲国曠古大典篇」[1934(昭和9)年、18分]

「躍進国都」[1937(昭和12)年、22分]

満鉄記録映画集【7】49分

「草原バルガ」[1937(昭和12)年、21分]

「氷の表情」[1941(昭和16)年、28分]

第3回 6月16日(金)午後6時～

「迎春花」満洲映画協会作品 1942(昭和17)年 74分

第4回 6月17日(土)午前10時～

満鉄記録映画集【8】42分

「満洲大豆」[1938(昭和13)年、22分]

「娘々廟會」[1940(昭和15)年、20分]

満鉄記録映画集【9】48分

「秘境熱河」[1936(昭和11)年、15分]

「留守宅便り」[1939(昭和14)年、10分]

「日満綴方使節」[1940(昭和15)年、23分]

第5回 6月18日(日)午前10時～

「白蘭の歌」東宝映画・満洲映画協会合作

1939(昭和14)年 103分

第6回 6月18日(日)午後2時～

「熱砂の誓ひ」東宝映画・華北電影公司合作

1940(昭和15)年 123分

第7回 6月23日(金)午後6時～

「迎春花」満洲映画協会作品 1942(昭和17)年 74分

第8回 6月24日(土)午前10時～

「白蘭の歌」東宝映画・満洲映画協会合作

1939(昭和14)年 103分

第9回 6月24日(土)午後2時～

「熱砂の誓ひ」東宝映画・華北電影公司合作

1940(昭和15)年 123分

いずれも、会場:講堂

ボランティアによるギャラリー・トーク

5月:2日(火)、7日(日)、12日(金)、17日(水)、21日(日)、27日(土)、

6月:1日(木)、6日(火)、11日(日)、16日(金)、21日(水)

午前10時30分～/午後1時30分～(約60分)



チラシ



会場風景

出品作品

出品番号	作家名	作品名	制作年	材料	サイズ (cm)	出典	備考
I. 櫻井一郎と〈亞東印画協会〉							
I-1	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	定期船々客上陸(大連)	1924(大正13)年8月	複写プリント	30.5×25.4	『満蒙印画輯』第一回「満蒙と朝鮮」1]②	
I-2	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	蒙古の沙丘(蒙古)	1924(大正13)年8月	複写プリント	30.5×25.4	『満蒙印画輯』第一回「満蒙と朝鮮」1]③	
I-61	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	道士(風俗)	1924(大正13)年8月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第一回「満蒙と朝鮮」1]⑤	後期のみ
I-3	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	農事試験場の放牧(産業)	1924(大正13)年9月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第二回「満蒙風景」1]①	
I-4	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	井戸(蒙古)	1924(大正13)年9月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第二回「満蒙風景」1]⑩	
I-5	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	駱駝(風俗)	1924(大正13)年10月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第三回「満蒙と朝鮮」2]①	
I-6	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	娘々廟の祭典(大石橋)	1924(大正13)年10月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第三回「満蒙と朝鮮」2]⑦	
I-7	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	沙漠の日の出(蒙古)	1924(大正13)年11月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第四回「満蒙風景」2]③	
I-8	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	満洲の娘(風俗)	1924(大正13)年11月	複写プリント	30.5×25.4	『満蒙印画輯』第四回「満蒙風景」2]⑦	
I-9	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	塩田潮汲用風車(産業)	1924(大正13)年12月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第五回「満蒙風景」3]④	
I-10	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	蒙古牛車(蒙古)	1924(大正13)年12月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第五回「満蒙風景」3]⑤	前期のみ
I-11	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	興安嶺の落葉松(北満)	1925(大正14)年1月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第六回「嚴冬の満洲」1]①	
I-62	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	興安嶺の樵夫(北満)	1925(大正14)年1月	複写プリント	30.5×25.4	『満蒙印画輯』第六回「嚴冬の満洲」1]①	後期のみ
I-63	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	水上の荷役(大連)	1925(大正14)年2月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第七回「嚴冬の満洲」1]⑨	後期のみ
I-12	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	砂丘の髑髏(蒙古)	1925(大正14)年3月	複写プリント	30.5×25.4	『満蒙印画輯』第八回「満蒙風景」4]①	
I-13	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	駱駝隊	1925(大正14)年3月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第八回「満蒙風景」4]②	
I-14	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	鳥瞰の萬里の長城(山海關)	1925(大正14)年4月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第九回「長城と蒙古」①	
I-15	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	蒙古の王さん(風俗)	1925(大正14)年4月	複写プリント	30.5×25.4	『満蒙印画輯』第九回「長城と蒙古」③	前期のみ
I-16	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	娘々廟の祭典 其一(大石橋)	1925(大正14)年5月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第十回「娘々祭と泰山」⑨	
I-17	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	満洲婦人の髪飾(湯崗子)	1925(大正14)年5月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第十回「娘々祭と泰山」⑩	
I-18	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	支那戲筏＝漁家樂＝	1925(大正14)年6月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第11回「朝鮮と支那」④	
I-19	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	山神廟(海拉爾)	1925(大正14)年6月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第11回「朝鮮と支那」⑤	前期のみ
I-20	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	興安嶺の白樺(北満)	1925(大正14)年8月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第13回「雪・水十趣」①	
I-64	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	橋(蘇州附近)	1925(大正14)年8月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第13回「雪・水十趣」①	後期のみ
I-21	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	石門(山東曲阜)	1925(大正14)年9月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第14回「満洲と山東」⑥	前期のみ
I-22	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	天池湖(白頭山頂)	1925(大正14)年10月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第15回「白頭山の雄姿」②③	
I-65	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	正陽門の樵樓(北京)	1925(大正14)年10月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第16回「北京へ行く」⑤	後期のみ
I-23	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	鳩賣り(北京所見)	1925(大正14)年12月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第17回「北京へ行く」2]①	前期のみ
I-66	〈満蒙印画協会〉櫻井一郎	天壇祈年殿(北京)	1925(大正14)年12月	複写プリント	25.4×30.5	『満蒙印画輯』第17回「北京へ行く」2]⑧	後期のみ
I-67	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	河水清(灤河)	1926(大正15)年1月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第18回「勅題号 河水清—灤河」⑩	後期のみ
I-24	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	長城附近の潮河(古北口)	1926(大正15)年1月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第18回「勅題号 河水清—灤河」③	前期のみ
I-25	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	丸彫の立像(山西省雲岡)	1926(大正15)年2月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第19回「雲崗」②	
I-26	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	六朝佛の典型(山西省雲岡)	1926(大正15)年2月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第19回「雲崗」③	
I-27	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	相抱く双塔山(熱河附近)	1926(大正15)年3月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第20回「熱河途上」③	
I-28	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	枕賣る小娘(石匣)	1926(大正15)年3月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第20回「熱河途上」⑩	
I-68	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	轎子(杭州)	1926(大正15)年5月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第22回「西湖(杭州)」⑨	後期のみ
I-29	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	支那藝者(風俗)	1926(大正15)年6月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第23回「異なる風俗」⑦	前期のみ
I-69	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	蒙母	1926(大正15)年6月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第23回「異なる風俗」⑧	後期のみ
I-30	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	風箏峡(二)	1926(大正15)年8月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第25回「三峡の奇勝」③	
I-31	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	もの凄き崆峒峡(三峡)	1926(大正15)年9月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第26回「三峡の奇勝」⑥	
I-32	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	牌樓(成都街道所見)	1926(大正15)年10月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第27回「重慶」⑩	前期のみ
I-33	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	明の牌樓(南口明の十三陵)	1926(大正15)年12月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第29回「明の十三陵」②	前期のみ
I-34	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	明陵の石人(文臣)(南口明の十三陵)	1926(大正15)年12月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第29回「明の十三陵」④	
I-35	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	摩利清(持國天)(居庸關)	1927(昭和2)年2月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第31回「彫刻の居用関」⑧	
I-36	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	摩利海の脚を支ふる青鬼(居庸關)	1927(昭和2)年2月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第31回「彫刻の居用関」⑩	
I-37	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	元宵節の燈籠(北京)	1927(昭和2)年3月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第32回「北京」②	前期のみ
I-38	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	胡同の静けさ(北京)	1927(昭和2)年3月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第32回「北京」③	
I-70	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	水都蘇州(南支)	1927(昭和2)年5月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第34回「蘇州」⑤	後期のみ
I-39	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	支那の乞丐(北京所見)	1927(昭和2)年3月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第32回「北京」⑩	前期のみ
I-40	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	圓明園の廢墟(北京郊外)	1927(昭和2)年4月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第33回「北京・雲居寺」⑩	前期のみ
I-41	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	麥秆細工をする少女(蘇州所見)	1927(昭和2)年5月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第34回「蘇州」⑧	
I-42	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	帰り道(山東にて)	1927(昭和2)年8月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第37回「山東とところどころ」⑧	
I-43	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	北響堂山第二窟(2)(河南省)	1927(昭和2)年9月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第38回「南北響堂山石窟」④	
I-44	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	北響堂山第一窟(河南省)	1927(昭和2)年9月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第38回「南北響堂山石窟」⑦	
I-45	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	北響堂山第三窟(河南省)	1927(昭和2)年9月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第38回「南北響堂山石窟」⑩	
I-46	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	北台の秋晴れ(山西省五台山)	1928(昭和3)年1月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第42回「山色新」⑨	前期のみ
I-47	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	山色新	1928(昭和3)年1月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第42回「山色新」附録	前期のみ

I-48	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	お嘶の世界へ(山西省)	1928(昭和3)年2月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第43回「土窟生活」⑤	
I-49	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	秋の共同作業場(山西省)	1928(昭和3)年2月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第43回「土窟生活」⑩	
I-50	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	童子寺の遺跡(山西省)	1928(昭和3)年4月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第45回「脱出路の沿景」⑦	
I-51	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	横町の怪異(香港)	1928(昭和3)年5月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第46回「香港十趣」①	
I-52	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	鳥瞰した香港(二)	1928(昭和3)年5月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第46回「香港十趣」⑦	前期のみ
I-53	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	露天市場(雲南省城)	1928(昭和3)年6月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第47回「雲南の都」⑤	
I-71	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	雲南商埠地(雲南省城)	1928(昭和3)年6月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第47回「雲南の都」⑧	後期のみ
I-72	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	苗子の音楽(雲南省)	1928(昭和3)年7月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第48回「雲南の都」⑤	後期のみ
I-54	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	纏子を冠れる労働者(雲南省)	1928(昭和3)年8月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第49回「箇舊の錫山と猓々」②	
I-55	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	既婚女の髪かたち(雲南省にて)	1928(昭和3)年9月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第50回「西藏人部落と馬隊の生活」①	
I-56	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	西藏人(雲南省にて)	1928(昭和3)年9月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第50回「西藏人部落と馬隊の生活」⑧	
I-57	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	猓々の田植(雲南省)	1928(昭和3)年10月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第51回「大理街道の風俗及土俗」⑨	
I-73	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	五華楼(雲南省大理)	1928(昭和3)年11月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第52回「大理」②	後期のみ
I-58	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	『明家』の娘(雲南省)	1928(昭和3)年12月	複写プリント	25.4×30.5	『亞東印画輯』第53回「國境近き西部雲南」②	
I-59	〈亞東印画協会〉櫻井一郎	雲南女の刺繍(雲南省)	1928(昭和3)年12月	複写プリント	30.5×25.4	『亞東印画輯』第53回「國境近き西部雲南」⑧	

※複写プリントはいずれも2017年制作。

資料	『滿蒙印画輯』 第1,4,6,8,10,17回 『亞東印画輯』 第18,19,20,24,25,26,38, 41-44,47-53回 計24回 総点数120点	1924年～1928年	g.s.p. リーフ型台紙 265枚	21.0×29.7	
	〈亞東印画協会〉機関誌 『亞東』	1926年～1928年	小冊子	18.9×13.1	36冊
	『足跡－櫻井一郎遺作集』	n.d.(1929～1930s)	冊子 (写真貼付)	29.8×22.0	

出品番号	作家名	作品名	制作年	材料	サイズ (cm)	出典	備考
------	-----	-----	-----	----	----------	----	----

II. 淵上白陽と〈滿洲写真作家協会〉

II-1	淵上白陽	耕作	1928(昭和3)年	g.s.p.	27.8×26.3		
II-2	淵上白陽	題不詳(男)	n.d.	b.p.(プロムオイル印画)	26.5×22.3		
II-3	米城善右衛門	朝陽風景	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	41.8×56.0		
II-4	米城善右衛門	題不詳(曠野を行く苦力)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	42.5×52.9		
II-5	米城善右衛門	題不詳(収穫風景)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	35.8×50.9		
II-6	米城善右衛門	題不詳(コーリャン畑の収穫)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	43.2×54.5		
II-232	米城善右衛門	城壁	1935(昭和10)年	b.p.(プロムオイル印画)	39.4×34.0		
II-7	米城善右衛門	題不詳(荷を運ぶ馬)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	29.4×35.4		
II-8	米城善右衛門	題不詳(苦力、炊き出し)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	33.4×44.0		
II-9	米城善右衛門	題不詳(荷を運ぶ馬)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	41.9×54.9		
II-10	米城善右衛門	題不詳(コーリャン収穫作業)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	26.0×35.9		
II-11	米城善右衛門	題不詳(枯草を背負う苦力)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	34.0×39.2		
II-14	米城善右衛門	題不詳(船荷を下ろす苦力)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	42.4×56.6		
II-15	米城善右衛門	題不詳(荷を運ぶ馬)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	26.2×31.7		
II-16	米城善右衛門	題不詳(網をつくろう子供)	1931-34(昭和6-9)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	21.3×26.4		
II-18	米城善右衛門	街道	1935(昭和10)年	b.p.(プロムオイル印画)	38.7×51.4		
II-201	淵上白陽	夕陽	1928(昭和3)年	複写プリント	35.6×43.2	『日本光画年鑑・1929年版』(昭和4年7月発行)掲載	
II-22	宇野木敏	春・娘	1937(昭和12)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』創刊号掲載	
II-184	榊原正一	露人部落	1934(昭和9)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第4号掲載	
II-24	三吉有一	娘	1939(昭和14)年頃	コロタイプ印刷	30.9×22.9	季刊『光る丘』第1輯掲載	
II-25	淵上白陽	列車驀進	1930(昭和5)年	複写プリント	56.0×45.7	『アサヒカメラ』第10巻4号掲載	
II-26	榊原正一	羊飼の少年	1935(昭和10)年	複写プリント	56.0×45.7	『写真月報』第40巻5号掲載	
II-27	榊原正一	乳を売る漂浪の母子	1935(昭和10)年	複写プリント	56.0×45.7	『写真月報』第40巻5号掲載	
II-28	馬場八潮	曠野を行く	1935(昭和10)年	複写プリント	56.0×45.7	『アサヒカメラ』第19巻4号掲載	
II-29	中田司陽	題不詳(苦力)	1937(昭和12)年	g.s.p.	43.8×53.0		
II-31	地崎実	児童四態ノ内	1935(昭和10)年	g.s.p.	28.7×23.2		
II-32	地崎実	題不詳(苦力)	n.d.	g.s.p.	52.4×45.6		

II-34	米城善右衛門	題不詳(街頭の老人)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	42.2×50.9	
II-37	米城善右衛門	題不詳(子供たち)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	53.4×41.0	
II-38	米城善右衛門	題不詳(市場)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	45.6×55.7	
II-40	米城善右衛門	題不詳(草を刈る苦力)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	24.3×32.8	
II-42	米城善右衛門	題不詳(苦力の家族)	1931(昭和6)年	b.p.(プロムオイル印画)	28.2×19.6	
II-43	米城善右衛門	題不詳(鳥飼い)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	25.8×33.4	
II-44	米城善右衛門	老翁	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	29.6×23.9	
II-45	米城善右衛門	題不詳(縫い物)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	104.8×63.5	
II-46	米城善右衛門	題不詳(編み物)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	93.8×63.3	
II-48	米城善右衛門	靴屋	1935(昭和10)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	43.5×37.0	
II-49	米城善右衛門	壁にすわる男	1935(昭和10)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	48.3×38.8	
II-51	米城善右衛門	ハルビンにて	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	28.0×23.8	
II-52	米城善右衛門	寺見溝	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	30.8×23.4	
II-53	米城善右衛門	寺見溝(一)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	20.3×16.0	
II-54	米城善右衛門	寺見溝(四)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	28.9×25.3	
II-55	米城善右衛門	寺見溝(六)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	55.9×45.7	
II-56	米城善右衛門	寺見溝(八)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	18.0×16.5	
II-57	米城善右衛門	寺見溝(十)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	17.1×14.0	
II-58	米城善右衛門	題不詳(寺見溝)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	29.7×23.6	
II-59	米城善右衛門	題不詳(寺見溝)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	30.4×25.4	
II-60	岡田中治	男	1937(昭和12)年	g.s.p.	55.0×43.8	
II-144	岡田中治	題不詳(老婆)	n.d.	g.s.p.	55.0×43.8	
II-61	岡田中治	老婆	1939(昭和14)年	g.s.p.	50.7×41.6	
II-62	岡田中治	題不詳(二人の男)	n.d.	g.s.p.	23.9×28.7	
II-63	岡田中治	冬の陽	1939(昭和14)年	g.s.p.	27.5×24.3	
II-64	馬場八潮	子供	1938(昭和13)年	g.s.p.	24.6×22.8	
II-65	青山三郎	題不詳(哈爾濱)	1939(昭和14)年頃	g.s.p.	29.0×24.2	
II-66	淵上白陽	児を負へる	1938(昭和13)年	g.s.p.	50.9×42.4	
II-68	宇野木敏	路上	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第8号掲載
II-69	一色辰夫	時の人	1937(昭和12)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』創刊号掲載
II-70	渋谷昇陽	粥を啜る	1937(昭和12)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第3号掲載
II-177	地崎實	露路の夕べ	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第2号掲載
II-72	平山秀雄	鳥籠と男	1937(昭和12)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第3号掲載
II-73	江見光男	部落	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第6-7号掲載
II-184	榊原正一	露人部落	1934(昭和9)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第4号掲載
II-76	淵上白陽	種蒔	1935(昭和10)年	複写プリント	56.0×45.7	『写真月報』第40巻5号掲載
II-77	岡田中治	洗濯	1939(昭和14)年	複写プリント	56.0×45.7	『満洲グラフ』第7巻第1号掲載
II-78	淵上白陽	撫順炭礦西露天掘ノ一部	1939(昭和14)年頃	g.s.p.	23.2×29.7	
II-79	淵上白陽	熱	1939(昭和14)年頃	g.s.p.	43.2×53.9	
II-80	淵上白陽	熱B	1939(昭和14)年頃	g.s.p.	43.1×54.7	
II-81	淵上白陽	工場	1939(昭和14)年	g.s.p.	57.3×47.5	
II-82	米城善右衛門	露天掘:作業	1932(昭和7)年	b.p.(プロムオイル印画)	39.3×46.2	
II-84	米城善右衛門	題不詳(工場スケッチ・1)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	56.6×46.0	
II-86	米城善右衛門	題不詳(昭和製鋼所銑鉄工場第三高炉)	1935(昭和10)年	g.s.p.	53.7×39.7	
II-87	淵上白陽	クレーンと苦力	1940(昭和15)年	複写プリント	56.0×45.7	『淵上白陽遺作集』掲載
II-90	中田司陽	石炭	1937(昭和12)年	複写プリント	56.0×45.7	『満洲グラフ』第5巻第6号掲載
II-91	一色辰夫	大連	1937(昭和12)年	複写プリント	56.0×45.7	『満洲グラフ』第5巻第6号掲載
II-92	田中靖望	機関車	1937(昭和12)年	複写プリント	56.0×45.7	『満洲グラフ』第5巻第6号掲載
II-93	山根龍造	ショベル	1937(昭和12)年	複写プリント	56.0×45.7	『満洲グラフ』第5巻第6号掲載
II-95	早乙女享	門扉	1938(昭和13)年	g.s.p.	28.7×22.6	
II-96	土肥雄二	題不詳(撫順)	1936(昭和11)年	g.s.p.	42.2×50.3	
II-97	土肥雄二	コールター	1936(昭和11)年	g.s.p.	40.4×51.6	
II-98	土肥雄二	壁	n.d.	g.s.p.	53.5×43.2	
II-99	土肥雄二	灯籠祭	n.d.	g.s.p.	55.8×45.5	
II-100	一色辰夫	題不詳(招牌・飲食店)	1939(昭和14)年	g.s.p.	42.2×43.9	
II-102	地崎実	湯沸しの表情B	n.d.	g.s.p.	26.4×22.4	
II-104	岡田中治	題不詳(薬罐)	n.d.	g.s.p.	28.9×19.8	
II-105	村瀬義男	白塔(錦州)	1935(昭和10)年	g.s.p.	50.4×42.7	
II-106	青山春路	静物	1937(昭和12)年	g.s.p.	53.9×44.7	
II-107	馬場八潮	落日	n.d.	g.s.p.	21.3×23.4	
II-195	青山三郎	聖堂	1939(昭和14)年	g.s.p.	23.5×28.8	
II-109	青山三郎	聖鐘—哈爾濱—	1939(昭和14)年	g.s.p.	24.2×29.1	
II-192	中澤祥浩	犬の居る風景	1938(昭和13)年	g.s.p.	28.9×23.8	

II-111	三吉有一	晩秋	1939(昭和14)年	g. s. p.	23.4×27.7	
II-112	小野田潔	題不詳(水汲み)	n. d.	g. s. p.	11.0×11.2	
II-115	淵上白陽	静物A	1937(昭和12)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第1号掲載
II-116	淵上白陽	静物B	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第1号掲載
II-117	淵上白陽	静物C	1937(昭和12)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第1号掲載
II-118	淵上白陽	静物D	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第1号掲載
II-119	淵上白陽	静物E	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第1号掲載
II-202	淵上白陽	落日	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第5号掲載
II-122	宇野木敏	塞外風景(一)	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第8号掲載
II-123	宇野木敏	塞外風景(二)	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第8号掲載
II-125	中田司陽	道	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	季刊『光る丘』第1輯掲載
II-127	本田久男	壺	1939	コロタイプ印刷	30.9×22.9	季刊『光る丘』第1輯掲載
II-128	一色辰夫	炊事場の静物	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第6・7号掲載
II-129	桑原健次郎	飯店スケッチ	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第2号掲載
II-130	桑原健次郎	朝	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第8号掲載
II-131	東友芳	晩秋	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	季刊『光る丘』第1輯掲載
II-132	渋谷昇陽	豚	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	季刊『光る丘』第1輯掲載
II-134	伊達良雄	路	1937(昭和12)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』創刊号掲載
II-135	馬場八潮	バケツの静物	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第6・7号掲載
II-136	馬場八潮	ランプの静物	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第6・7号掲載
II-137	馬場八潮	夕陽	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第9号掲載
II-201	馬場八潮	朝	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	季刊『光る丘』第1輯掲載
II-139	福井勘誠	湯	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	季刊『光る丘』第1輯掲載
II-141	淵上白陽	夕陽	1939(昭和14)年	g. s. p.	48.2×56.0	
II-145	水間鉄雄	クリスチエニエ2	n. d.	g. s. p.	45.7×35.7	
II-146	水間鉄雄	クリスチエニエ8	n. d.	g. s. p.	33.5×33.0	
II-147	馬場八潮	スタディ・シート(11シート, 71点)	1939(昭和14)年頃	g. s. p.	各19.8×25.0	
II-148	松岡謙一郎	白樺の窓	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第10・11号掲載
II-149	松岡謙一郎	麦	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第10・11号掲載
II-150	松岡謙一郎	尼僧	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第10・11号掲載
II-151	松岡謙一郎	姥	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第10・11号掲載
II-152	松岡謙一郎	静日	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第10・11号掲載
II-153	松岡謙一郎	井戸	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第10・11号掲載
II-154	一色辰夫	夕陽	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	写真集『北満のエミгранト』(20-1)「スラブの鐘・正教徒の都 哈爾濱」
II-155	一色辰夫	モストワヤ	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	写真集『北満のエミ格蘭ト』(20-2)「スラブの鐘・正教徒の都 哈爾濱」
II-156	一色辰夫	二人の老婆	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	写真集『北満のエミ格蘭ト』(20-3)「スラブの鐘・正教徒の都 哈爾濱」
II-157	一色辰夫	聖堂	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	写真集『北満のエミ格蘭ト』(20-4)「スラブの鐘・正教徒の都 哈爾濱」
II-158	一色辰夫	春芽	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	写真集『北満のエミ格蘭ト』(20-5)「スラブの鐘・正教徒の都 哈爾濱」
II-159	一色辰夫	農婦像	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	写真集『北満のエミ格蘭ト』(20-6)「スラブの鐘・正教徒の都 哈爾濱」
II-160	一色辰夫	秋空	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	写真集『北満のエミ格蘭ト』(20-7)「スラブの鐘・正教徒の都 哈爾濱」
II-161	一色辰夫	祈り	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	写真集『北満のエミ格蘭ト』(20-8)「牧歌・カザックの村」
II-162	一色辰夫	墓標	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	写真集『北満のエミ格蘭ト』(20-9)「牧歌・カザックの村」
II-163	一色辰夫	乳	1939(昭和14)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	写真集『北満のエミ格蘭ト』(20-10)「牧歌・カザックの村」
II-178	遠藤一二	秋逝く頃	1937(昭和12)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第2号掲載
II-182	水間鉄雄	クリスチエニエ	1935(昭和10)年	g. s. p.	30.9×22.9	
II-183	江崎有為	製鉄作業	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第4号掲載
II-185	佐藤哲夫	ゾオナーニ	1937(昭和12)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第5号掲載
II-187	一色辰夫	土	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	『光る丘』第2巻第6・7号掲載
II-188	篠原実	寒	1937(昭和12)年	g. s. p.	39.2×51.8	
II-194	伊達良雄	沼	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷	30.9×22.9	季刊『光る丘』第1輯掲載
II-201	小野田潔	題不詳(路)	n. d.	g. s. p.	9.9×10.1	
II-202	淵上白陽	落日	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷		『光る丘』第2巻第5号掲載
II-203	淵上白陽	太陽	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷		『光る丘』第2巻第1号掲載
II-204	淵上白陽	題不詳(リンゴ籠)	n. d.	g. s. p.	30.9×22.9	
II-205	岡田中治	題不詳(路上静物、壺)	n. d.	g. s. p.	30.1×24.4	
II-206	宇野木敏	城壁のもと	1933(昭和8)年頃	複写プリント		『満洲グラフ』創刊号掲載
II-207	宇野木敏	城壁	1937(昭和12)年	複写プリント		『満洲グラフ』第5巻第6号掲載
II-208	伊藤治彦	帰路	1939(昭和14)年	g. s. p.	24.4×30.1	
II-209	影山伸三郎	花売り女	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷		『光る丘』第2巻第5号掲載
II-210	馬場八潮	ロマノフカ 21-2	1939(昭和14)年頃	g. s. p.	22.0×27.0	
II-211	馬場八潮	ロマノフカ 21-3	1939(昭和14)年頃	g. s. p.	22.0×27.0	
II-212	馬場八潮	ロマノフカ 21-4	1939(昭和14)年頃	g. s. p.	22.0×27.0	
II-213	馬場八潮	ロマノフカ 21-5	1939(昭和14)年頃	g. s. p.	22.0×27.0	

II-214	馬場八潮	ロマノフカ 21-6	1939(昭和14)年頃	g.s.p.	22.0×27.0	
II-215	馬場八潮	ロマノフカ 21-7	1939(昭和14)年頃	g.s.p.	22.0×27.0	
II-216	馬場八潮	ロマノフカ 21-8	1939(昭和14)年頃	g.s.p.	22.0×27.0	
II-217	馬場八潮	ロマノフカ 21-9	1939(昭和14)年頃	g.s.p.	22.0×27.0	
II-218	馬場八潮	ロマノフカ 21-10	1939(昭和14)年頃	g.s.p.	22.0×27.0	
II-219	馬場八潮	ロマノフカ 21-11	1939(昭和14)年頃	g.s.p.	22.0×27.0	
II-130	米城善右衛門	題不詳(豚のいる戸口)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	25.1×20.6	
II-231	米城善右衛門	冬の姿	1937(昭和12)年	b.p.(プロムオイル印画)	51.6×41.8	
II-232	米城善右衛門	城壁	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	44.0×33.4	
II-233	米城善右衛門	題不詳(積藁と少年)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	33.8×34.8	
II-234	米城善右衛門	題不詳(部落風景・少年)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	24.1×29.6	
II-235	米城善右衛門	題不詳(炊き出し)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	33.4×44.0	
II-236	米城善右衛門	題不詳(炊き出し)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	28.3×36.3	
II-237	米城善右衛門	題不詳(倉庫の前の苦力)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	38.3×45.5	
II-238	米城善右衛門	題不詳(塀の前の二人の男)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	55.0×44.2	
II-239	米城善右衛門	題不詳(トラックの前で休息する苦力)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	28.9×29.5	
II-240	米城善右衛門	題不詳(二人の男)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	23.0×18.9	
II-241	淵上白陽	題不詳(少女のポートレート)	1934(昭和9)年	g.s.p.	54.6×44.7	
II-242	米城善右衛門	題不詳(オイルシェール工場)	1931-37(昭和6-12)年頃	b.p.(プロムオイル印画)	53.4×41.0	
II-243	東友芳	煙	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷		『光る丘』第2巻第3号掲載
II-244	米城善右衛門	題不詳(マスト)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	42.9×27.6	
II-245	米城善右衛門	題不詳(製鉄所内部)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	50.7×42.5	
II-246	米城善右衛門	題不詳(製鉄所内部)	1931-37(昭和6-12)年頃	g.s.p.	45.7×55.6	
II-247	政徳信義	黒煙本溪湖	1937(昭和12)年	複写プリント		『満洲グラフ』第5巻第6号掲載
II-248	政徳信義	昭和製鋼所	1940(昭和15)年	複写プリント		『フォトタイムス』第17巻第2号掲載
II-249	淵上白陽	工場	1939(昭和14)年	複写プリント		『満洲グラフ』第7巻第1号掲載
II-250	菊池一(淵上白陽)	鋸鉦炉(昭和製鋼所・鞍山)	1937(昭和12)年	複写プリント		『満洲グラフ』第5巻第6号掲載
II-251	馬場八潮	題不詳(石臼と老人)	n.d.	g.s.p.	27.9×23.3	
II-252	横山弘	猫	1938(昭和13)年	コロタイプ印刷		『光る丘』第2巻第8号掲載
II-253	岡田中治	葬送(式)	1939(昭和14)年頃	g.s.p.	27.9×23.3	
II-20	淵上白陽	人々	1928(昭和3)年	複写プリント		『日本写真年鑑・昭和4-5年版』(昭和5年12月発行)掲載
II-21	淵上白陽	松岡洋右の肖像	1929(昭和4)年	g.s.p.	56.0×43.0	
II-88	淵上白陽	落日	1930(昭和5)年	複写プリント		『満洲写真年鑑』掲載
II-89	淵上白陽	落日	1930(昭和5)年	複写プリント		『アサヒカメラ』第10巻第2号掲載

※複写プリントはいずれも2017年制作。

出品番号	作家名	作品名	制作年	材料	サイズ(cm)	出典	備考
Ⅲ. 満洲國國務院と『登録写真制度』							
Ⅲ-1	小川傳	大地	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の自然」	
Ⅲ-2	三枝朝四郎	華燈初上(新京大同大街)	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の自然」	
Ⅲ-3	川瀬尊弘	大地を拓く(綏佳線王揚)	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の産業」	
Ⅲ-4	内田稲夫	昭和製鋼所(鞍山)	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の産業」	
Ⅲ-5	畝川藻	熔鉦爐	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の産業」	
Ⅲ-6	望月太八郎	採水(松花江)	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の産業」	
Ⅲ-7	有村隆志	國務院(新京)	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の建築」	
Ⅲ-8	土浦龜城	普陀宗乘廟の紅臺(承德)	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の建築」	
Ⅲ-9	内田稲夫	薨(熱河喇嘛廟)	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の建築」	
Ⅲ-10	柏崎武雄	洋車	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の交通」	
Ⅲ-11	川瀬尊弘	駱駝隊	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の交通」	
Ⅲ-12	田中靖望	牛車	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の交通」	前期のみ
Ⅲ-13	藤原祐治	鐵の訓練	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の生活」	
Ⅲ-14	村田實一	鑛工技術工養成所	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の生活」	
Ⅲ-15	大石重好	新建設の一翼	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の生活」	
Ⅲ-16	中野逸馬	大頭會	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の生活」	
Ⅲ-17	三好留次郎	姑娘と果實	1941(昭和16)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第一回登録満洲國写真集〉「満洲の生活」	
Ⅲ-18	池田保美	國都の冬	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の冬と春」	
Ⅲ-19	加持正範	冬の國務院	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の冬と春」	

Ⅲ-20	永井たかし	春風の頃	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の冬と春」
Ⅲ-21	内田稲夫	春の忠霊塔	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の冬と春」
Ⅲ-22	篠原實	野良のひとつき(八紘村開拓団)	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の農業」
Ⅲ-23	田中靖望	除草	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の農業」
Ⅲ-24	篠原實	開拓地風景(千振村)	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の農業」
Ⅲ-25	内田稲夫	交易所情景(北安)	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の農業」
Ⅲ-26	相澤敬一	羊の放牧(王府)	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の農業」
Ⅲ-27	内田稲夫	落日帰羊(朝陽)	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の農業」
Ⅲ-28	市川保之	老婆の笑顔	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「民族の表情」
Ⅲ-29	村田實一	小孩	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「民族の表情」
Ⅲ-30	内田稲夫	農家の小供等	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「民族の表情」
Ⅲ-31	中村敏夫	早春	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「民族の表情」
Ⅲ-32	内田稲夫	同窓の宅にて	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第二回登録満洲國写真集〉「民族の表情」
Ⅲ-33	内田稲夫	エミグラントの娘	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「民族の表情」
Ⅲ-34	竹村彰介	建大の学生	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「民族の表情」
Ⅲ-35	篠原實	満洲旗人の盛装(吉林)	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「民族の表情」
Ⅲ-36	深瀬豊彦	楽土の老翁	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	25.4×30.5	〈第二回登録満洲國写真集〉「民族の表情」
Ⅲ-37	古瀬佐太郎	高脚踊り	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の芸術」
Ⅲ-38	加持正範	バラライカ(三河)	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の芸術」
Ⅲ-39	木村安衛	プラスバンド	1942(昭和17)年	複写インクジェット・プリント	30.5×25.4	〈第二回登録満洲國写真集〉「満洲の芸術」
Ⅲ-40	内田稲夫	奮進あじあ号(連京線)	1943	複写インクジェット・プリント		写真集『躍進満洲』
Ⅲ-41	内田稲夫	熱と汗と焰(鞍山)	1943	複写インクジェット・プリント		写真集『躍進満洲』
Ⅲ-42	内田稲夫	火焰と闘ふ(鞍山)	1943	複写インクジェット・プリント		写真集『躍進満洲』
Ⅲ-43	内田稲夫	熱風爐(鞍山)	1943	複写インクジェット・プリント		写真集『躍進満洲』
Ⅲ-44	内田稲夫	農家の秋(満農の家にて)	1943	複写インクジェット・プリント		写真集『躍進満洲』
Ⅲ-45	内田稲夫	承德の印象(承德)	1943	複写インクジェット・プリント		写真集『躍進満洲』
Ⅲ-46	内田稲夫	廟会の賑ひ(鳳凰城)	1943	複写インクジェット・プリント		写真集『躍進満洲』
Ⅲ-47	内田稲夫	村の子供	1943	複写インクジェット・プリント		写真集『躍進満洲』
Ⅲ-48	内田稲夫	突撃(奉天)	1943	複写インクジェット・プリント		写真集『躍進満洲』
Ⅲ-49	内田稲夫	春の忠霊塔(奉天)	1943	複写インクジェット・プリント		写真集『躍進満洲』

前期のみ

※複写インクジェット・プリントはいずれも2017年制作。

資料	『第一回登録満洲国写真集』	1941(昭和16)年	冊子	26.3×18.8
	『第二回登録満洲国写真集』	1942(昭和17)年	冊子	26.3×18.8
	『躍進満洲画帖』	1942(昭和17)年	冊子、折本	25.4×19.2
	『躍進満洲』	1943(昭和18)年	冊子	28.7×22.3

出品番号	作家名	作品名	材料	サイズ (cm)	制作年	備考
------	-----	-----	----	----------	-----	----

Ⅳ.プロパガンダとグラフィズムの諸相

満洲国国務院弘報処	対外宣伝ポスター「MANCHOUKUO: THE SUN OF A NEW NATION」(写真撮影:瀨上白陽)	コロタイプ印刷	75.6×98.8	1932(昭和7)年	
資料	『満洲グラフ』	コロタイプ印刷、114冊	29.6×21.0	1933(昭和8)年9月号～1944(昭和19)年1月号	
	『若き満洲—写真に観る』	コロタイプ印刷		1938(昭和13)年7月	
	『満洲』(『満洲グラフ』後継誌)	コロタイプ印刷、5冊	29.6×21.0	1944(昭和19)年5月号～9月号	
	『NIPPON』No.19「満洲国特別号」	書籍	37.2×26.7	1939(昭和14)年10月	
	『MANCHOUKUO』	書籍	37.2×26.7	1940(昭和15)年4月	
	『EASTERN ASIA』No.1-3	書籍	34.5×26.1	1940(昭和15)年4月	
	『輝く満洲』	書籍	24.5×18.1	1941(昭和16)年12月	
	『満洲国』	書籍		1942(昭和17)年4月	
	『FRONT 偉大なる建設 満洲国』(日本語版)	書籍	43.4×30.0	1943(昭和18)年8月	

出品番号	作品名	材料	サイズ (cm)	撮影時期	備考
V. 『ポーレー・ミッション・レポート』					
V-1	破壊された関東軍軍事部庁舎、長春	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	
V-2	ソ連軍によって焼き払われ、破壊された庁舎内部、長春	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	
V-3	撫順発電所設備 25,000kwの発電機の一基とスチーム・タービンが設置されていた(下層階にはボイラが設置されていた)。前景の瓦礫は、分解・撤去の過程で抜け落ちた蒸気筒の残骸。	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	前期のみ
V-4	昭和製鋼所、鞍山 爆撃により破壊された熔鋳炉	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	
V-5	昭和製鋼所、鞍山 中国共産党軍に対する国民党軍の攻撃によって破壊された熔鋳炉。ソ連軍撤退時には三基のうち、二基が残っていたが、その後中国共産党軍によって爆破された。	複写データからのインクジェット・プリント	B0 (1,030×1,456)	1946年6月1日～7月3日	
V-6	満洲住友金属工業、鞍山 鋼管製造工場内部。鋼管を製造するためのすべての設備は撤収された。	複写データからのインクジェット・プリント	B0 (1,030×1,456)	1946年6月1日～7月3日	
V-7	長春機関区 バッテリーと配管の製造工場。ソ連軍によって全ての道具と装置が撤去・収奪された。	複写データからのインクジェット・プリント	B0 (1,030×1,456)	1946年6月1日～7月3日	後期のみ
V-8	牡丹江機関区ーハルビンの南東200マイルー おそらく戦闘による火災と思われる。機械道具や電動機がわずかだが残っていた。	複写データからのインクジェット・プリント	B0 (1,030×1,456)	1946年6月1日～7月3日	
V-9	牡丹江の重機工場 すべての機械道具や電気装置が撤去されていた。中国共産党軍は、ポーレー・ミッション調査団が訪問した中国共産党軍の支配地域の他の地区と同じく、すべての撤去と破壊は、日本軍と国民党軍によって行われたと主張。調査団はその主張に対しては斟酌している。	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	
V-10	満洲曹達製造株式会社、開原 破壊された電解槽と建物。	複写データからのインクジェット・プリント	B0 (1,030×1,456)	1946年6月1日～7月3日	前期のみ
V-11	満洲ゴム工業、遼陽 靴や雨合羽を製造していた工場の残骸。ソ連軍が支配していた時期に設備は撤去され、建築物は焼き払われた。背景の二階建ての建築物も同様の被害にあったが、煉瓦とコンクリートの構造物は焼け残った。	複写データからのインクジェット・プリント	B0 (1,030×1,456)	1946年6月1日～7月3日	
V-12	開原セメント製造工場 研磨装置撤去のためにソ連軍によって建物は破壊され、運搬のために工場内には仮の軌道が敷設された。セメント原料貯蔵庫は画面右奥にある。	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	
V-13	長春セメント工場 ソ連軍によってコンベヤーの装置は撤去され、碎石機が置かれていた土台だけが残された。	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	
V-14	昭和製鋼所、鞍山 第二製鋼工場。主要な圧延装置は、ソ連軍が支配していた時期に撤去された。	複写データからのインクジェット・プリント	B0 (1,030×1,456)	1946年6月1日～7月3日	
V-15	撫順発電所 100,000kwの発電力を有したタービン型発電機3号、4号機は撤去されていた。	複写データからのインクジェット・プリント	B0 (1,030×1,456)	1946年6月1日～7月3日	
V-16	大陸科学院 中国共産党軍の砲撃によって焼き払われたとされる実験室。	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	
V-17	兵器庫#383、遼陽 ピクリン酸製造工場4台の遠心分離機が撤収されていた。	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	
V-18	満洲 満洲の工場から製造装置を撤去するソビエト兵。在満中国当局から供与された写真の複写。	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	前期のみ
V-19	満洲 満洲の工場から製造装置を撤去するソビエト兵。在満中国当局から供与された写真の複写。	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	前期のみ
V-20	満洲 満洲の工場から製造装置を撤去するソビエト兵。在満中国当局から供与された写真の複写。	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	後期のみ
V-21	満洲 満洲の工場から製造装置を撤去するソビエト兵。在満中国当局から供与された写真の複写。	複写データからのインクジェット・プリント	B1 (728×1030)	1946年6月1日～7月3日	後期のみ
V-22	満洲製鉄(旧昭和製鋼所)、鞍山 中国共産党軍に対する国民党軍の攻撃によって破壊された熔鋳炉。ソ連軍撤退時には三基のうち、二基が残っていたが、その後中国共産党軍によって爆破された。	複写データからのインクジェット・プリント	B0 (1,030×1,456)	1946年6月1日～7月3日	後期のみ
V-23	亜細亜護謄、遼陽 タイヤ製造工場の1階。ゴムを製造加工するための重機は、ソ連軍によって統治されていた時期に撤去された。	複写データからのインクジェット・プリント	B0 (1,030×1,456)	1946年6月1日～7月3日	前期のみ
V-24	満洲製鉄(旧昭和製鋼所)、鞍山 中国共産党軍に対する国民党軍の攻撃によって破壊された熔鋳炉。ソ連軍撤退時には三基のうち、二基が残っていたが、その後中国共産党軍によって爆破された。	複写データからのインクジェット・プリント	B0 (1,030×1,456)	1946年6月1日～7月3日	後期のみ

※複写データからのインクジェット・プリントはいずれも2017年制作。

ランス美術館展

Masterpieces from the Museum of Fine Arts, Reims

会期：2017年10月7日(土)～12月3日(日)

主催

名古屋市美術館、中日新聞社

後援

在日フランス大使館、アンステイチュ・フランセ日本、愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

協力

エールフランス航空、ヤマトロジスティクス、G.H.マム、名古屋市交通局、近畿日本鉄道

企画・監修

ランス美術館

企画・協力

プレントラスト

観覧料

一般1,400円、高大生1,000円、中学生以下無料

内容

パリから北東へ約140キロの距離にある町、ランスは歴代フランス国王が戴冠式を行った古都として知られる。この町にあるランス美術館は200年以上の歴史と5万点を超えるコレクションを誇るが、今回の展覧会ではその中から選りすぐられた約70点の作品によって西洋絵画300年の歴史をたどった。また、ランス市には近年藤田嗣治の作品約800点が寄贈されたが、その内の約30点が今回の出品作を占めている。さらに、本展は全国7会場を巡回しているが、ランス美術館と名古屋市美術館は2013年に友好提携の覚書を交わしており、また名古屋市とランス市が姉妹都市提携を結ぶこともあり、名古屋会場には特別に3点の作品が追加出品された。

図録

29.0×22.5cm 152ページ

編集：村上哲、プレントラスト

発行：ランス美術館展カタログ実行委員会



会場風景

関連催事

①作品解説会

日時：10月14日(土)、11月19日(日)午後2時～

場所：名古屋市美術館2階講堂

講師：深谷克典(名古屋市美術館副館長)

②会場内演劇

演題：「マラー巡礼：美術館と視覚をめぐる物語」

日時：10月20日(金)午後5時～。10月21日(土)午前10時30分～

場所：名古屋市美術館1階企画展示室

演出：エヴァ・クラスカ

出演：佐川健之輔、横山八枝子、塚本精藏

③特別鑑賞会(有料催事)

日時：A. 10月28日(土)、B. 11月11日(土)、C. 11月18日(土)

いずれも午後5時～

A=解説会+コンサート 4,000円

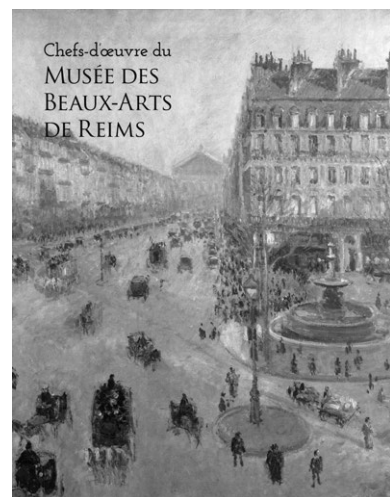
B=解説会のみ 3,000円

C=解説会+シャンパン+軽食 5,000円

場所：名古屋市美術館2階講堂、およびランス美術館展会場



ポスター



図録

出品作品

番号	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
1 国王たちの時代					
1	マールテン・ブーレマ・デ・ストーン	レモンのある静物	17世紀	油彩、板	44.8×38.9
2	テオドール・ロンブー(と思われる)	コンサート	17世紀前半	油彩、カンヴァス	94.2×161.1
3	作者不明(フランス)	ルイ13世	17世紀	油彩、カンヴァス	65.0×52.9
4	ピエロ・マルティネリ(ソフォニスバ・アンギソラに基づく)	マクシミリアン・スタンバ、サンシノ侯爵3世、9歳	1630年から1640年頃	油彩、カンヴァス	136.8×73.5
5	フィリップ・ド・シャンパーニュ(に基づく)	ジャン＝バティスト・コルベール	17世紀	油彩、カンヴァス	62.3×52.5
6	クロード・ヴィニョン(に基づく)	ダヴィデ	17世紀	油彩、カンヴァス	116.1×88.2
7	ヤーコブ・ヨルダーン(と思われる)	サテュロス	17世紀	油彩、カンヴァス	95.2×100.5
8	ジュリオ・カルピオーニ	バッカス祭	1638年以降	油彩、カンヴァス	83.0×122.2
9	ジャック・マルモッテ	レダ	おそらく18世紀後半	油彩、カンヴァス	69.0×100.2
10	作者不明(フランス)	ルイ15世の娘、アデライード夫人の肖像(と思われる)	18世紀	油彩、カンヴァス	33.5×30.5
11	作者不明(フランス)	ディアナに扮した女の肖像	18世紀	油彩、カンヴァス	78.5×61.3
12	ドナシアン・ノット	女の肖像	1750年頃	油彩、カンヴァス	92.0×69.1
13	リエ＝ルイ・ペラン＝サルブルー	ソフィー夫人(またの名を小さな王妃)の肖像	1776年	油彩、カンヴァス	65.0×54.4
14	ニコラ・トーネイ	村人たちのダンス	1790年頃	油彩、カンヴァス	66.2×82.3

2 近代の幕開けを告げる革命の中から

15	アレクサンドル・ロズラン	リエ＝ルイ・ペラン＝サルブルー	1791年	油彩、カンヴァス	58.3×48.4
16	ジャック＝ルイ・ダヴィッド(および工房)	マラーの死	1793年7月13日以降	油彩、カンヴァス	111.3×86.1
17	テオドール・ジェリコー(と思われる)	佐官に命令をするナポレオン	1812年から1816年の間	油彩、カンヴァス	45.9×55.5
18	テオドール・シャセリオー	バンクオーの亡霊	1854年から1855年の間	油彩、板	53.8×65.3
19	ウジェーヌ・ドラクロワ	ポロニウスの亡骸を前にするハムレット	1854年から1856年の間	油彩、カンヴァス	59.6×48.0
20	テオドール・シャセリオー	とらわれの女	1845年から1850年の間	油彩、カンヴァス	46.4×38.3
21	シャルル・ランデル	タンジールのユダヤ人の女	1866年以降	油彩、カンヴァス	61.4×50.6
22	カミーユ・コロー	川辺の木陰で読む女	1865年から1870年の間	油彩、カンヴァス	55.6×46.3
23	ジャン＝フランソワ・ミレー	男の肖像	1845年頃	油彩、カンヴァス	40.8×32.7
24	オノレ・ドーミエ	画家	1867年頃	油彩、板	35.8×32.0
25	ギュスターヴ・クールベ	彫刻家マルチェロ(カステリオリ＝ネ＝コロナ公爵夫人)	1870年	油彩、カンヴァス	60.0×49.3
26	エドゥアール・デュブッフ	ルイ・ボメリー夫人	1875年	油彩、カンヴァス	130.8×90.5
27	フランソワ・ボンヴァン	昼食、一杯のカフェ	1879年	油彩、板	41.0×30.1
28	ナルシス＝ヴィルジール・ディアズ・ドラ・ペーニャ	フォンテーヌブローの森	1874年	油彩、板	39.0×57.2
29	ウジェーヌ・ブーダン	ダンケルク周辺の農家の一角	1889年	油彩、カンヴァス	46.8×65.5



クラシックのタペ



シャンパーニュのタペ



ベビーカーツアー



名画のタペ

3 モデルニテをめぐって

30	スタニスラス・レピーヌ	フルール河岸	1884年から1888年頃	油彩、カンヴァス	32.4×46.3
31	アルフレッド・シスレー	カーディフの停泊地	1897年	油彩、カンヴァス	54.1×65.4
32	カミーユ・ピサロ	オペラ座通り、テアトル・フランセ広場	1898年	油彩、カンヴァス	73.3×92.3
33	ジャン＝フランソワ・ラファエリ	シャンゼリゼ	1902年	油彩、カンヴァス	65.4×81.3
34	アンリ・ファンタン＝ラトゥール	まどろむニンフ	1900年頃	油彩、カンヴァス	38.3×46.3
35	アンリ・ジェルヴェックス	期待はずれ	1890年以前	油彩、カンヴァス	51.3×44.6
36	アレクサンドル＝フィリップ・ロル	アレクサンドル・デュマ・フィス(子) [未完]	1895年11月以前	油彩、カンヴァス	142.0×109.0
37	エドゥアルド・ヴェイヤール	試着	1892年頃	油彩、板	23.8×18.5
38	ポール・ゴーギャン	バラと彫像	1889年	油彩、カンヴァス	73.2×54.5
39	ルイ・パヴィオ	トリニテ広場	1900年	油彩、カンヴァス	81.0×116.0
40	モーリス・ドニ	魅せられた人々	1907年	油彩、カンヴァス	80.2×120.6
41	ポール・ジューヴ	修復中のランス大聖堂	20世紀	油彩、板	58.5×49.7
42	ヨーゼフ・シマ	ロジェ・ジルベール＝ルコント	1929年	油彩、カンヴァス	100.0×81.0

4 フジタ、ランスの特別コレクション

43	レオナルド・フジタ	マンゴー	1932年	油彩、イゾレルに貼ったカンヴァス	101.5×81.3
44	レオナルド・フジタ	若いアフリカの女と子供	1932年	油彩、イゾレルに貼ったカンヴァス	54.0×44.5
45	レオナルド・フジタ	好色	20世紀後半	油彩、カンヴァス	38.1×55.3
46	レオナルド・フジタ	フジタ、7歳	20世紀	油彩、イゾレルに貼ったカンヴァス	110.0×40.0
47	レオナルド・フジタ	少女	1957年11月27日	油彩、ガラス、鉛	67.0×29.6×0.5
48	レオナルド・フジタ	猫	1963年	油彩、カンヴァス	62.7×76.5
49	レオナルド・フジタ	マドンナ	1963年	油彩、カンヴァス	60.9×38.2
50	レオナルド・フジタ	奇跡の聖母	1964年6月6日	油彩、カンヴァス	65.3×54.1
51	レオナルド・フジタ	授乳の聖母	1964年7月11日	油彩、カンヴァス	64.9×54.2
52	レオナルド・フジタ	聖母マリア	1965年7月	テンペラ、油彩、合板	25.6×26.0
53	レオナルド・フジタ	サロメ	1965年7月	テンペラ、油彩、合板	26.4×24.5
54	レオナルド・フジタ	キリスト	1965年7月	テンペラ、油彩、合板	23.3×18.3
55	レオナルド・フジタ	聖ペテロ	1965年頃	テンペラ、合板	26.0×24.4
A1	レオナルド・フジタ	聖マルタ	1965年4月21日	木炭、擦筆、紙	132.4×53.0
A2	レオナルド・フジタ	祈る若い女	1965年4月24日	木炭、擦筆、墨、紙	101.4×61.0
A3	レオナルド・フジタ	信徒たち 巡礼者	1965年5月4日	木炭、擦筆、ボールペン、紙	140.0×112.5
A4	レオナルド・フジタ	信徒たち 女たちの訪問	1965年5月6日	木炭、ペラム紙	135.0×112.2
A5	レオナルド・フジタ	受胎告知	1965年5月15日	木炭、擦筆、ボールペン、紙	120.0×118.9
A6	レオナルド・フジタ	洗礼者ヨハネによるイエスの洗礼	1965年5月24日	木炭、擦筆、ボールペン、紙	128.8×75.7
A7	レオナルド・フジタ	十字架の盗人	1965年5月24日	木炭、擦筆、紙	130.5×104.1
A8	レオナルド・フジタ	父なる神	1965年6月2日	木炭、擦筆、水彩、紙	161.6×109.4
A9	レオナルド・フジタ	聖マルタ	1965年11月	黒鉛、木炭、擦筆、インク、グアッシュ、水彩、紙	133.0×50.2
A10	レオナルド・フジタ	最後の晩餐 三人の使徒とキリスト	1966年1月26日	木炭、擦筆、ボールペン、紙	76.2×101.6

番号	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)	所蔵先
----	-----	-----	-----	-------	---------	-----

国内借用作品

S1	レオナルド・フジタ	十字架降下	1927年	油彩、カンヴァス	150.0×150.0	公益財団法人ひろしま美術館蔵
S2	レオナルド・フジタ	ヴァイオリンを持つこども	1923年	油彩、カンヴァス	116.0×73.0	熊本県立美術館蔵
S3	レオナルド・フジタ	キリストの顔	1966年	フレスコ、カンヴァス	27.2×23.4	熊本県立美術館蔵
S4	レオナルド・フジタ	ノルマンディーの春	1936年	油彩、カンヴァス	200.0×272.0	アンスティチュ・フランセ関西蔵(旧関西日仏学館)

番号	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
----	-----	-----	-----	-------	---------

名古屋市・ランス市 姉妹都市提携記念特別作品

N1	ウジェーヌ・ドラクワ	父の呪詛を受けるデズデモーナ	1850年頃	油彩、カンヴァス	61.4×50.5
N2	ウジェーヌ・ブーダン	ベルク、漁船の帰還	1890年	油彩、カンヴァス	79.3×109.3
N3	ラファエル・コラン	青春	1889年	油彩、カンヴァス	81.9×59.8

シャガール展 三次元の世界

Marc Chagall, The Third Dimension

会期：2017年12月14日(木)～2018年2月18日(日)

主催

名古屋市美術館、中日新聞社

後援

在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本、愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

特別協賛

理研産業補聴器センター

協賛

アイシン・エイ・ダブリュ

特別協力

メレット・メイヤー、国立マルク・シャガール美術館

協力

日本航空、名古屋市交通局、JR東海、近畿日本鉄道

企画協力

キュレレーターズ

観覧料

一般1,400円、高大生1,000円、中学生以下無料

内容

シャガールは、一般的には絵画や版画など平面作品の作家として知られるが、本展は、あまり知られていない彫刻と陶器などの立体作品を、まとめて紹介する日本で初めて試みである。約170点の出品作品のうち、三分の一が彫刻と陶器、それ以外は馴染みの深い絵画や素描、版画などによる構成。シャガールが立体作品に取り組むのは60歳を過ぎてからであるが、三次元への意識はごく初期の作品にも見ることができる。絵画と彫刻、平面と立体が、この作家の中でどのように意識され、作品化されていったのか。その創作の秘密に本展では迫った。立体作品がこれほどまとめて紹介されるのは、日本だけでなく、世界でも初めての試みであり、多くの来館者がその自由奔放な作品を堪能した。

図録

26.8×22.0cm 250ページ

編集：中村水絵

発行：キュレレーターズ

関連催事

①記念講演会

日時：12月23日(土)午後2時～

場所：名古屋市美術館2階講堂

講師：関府寺司(大阪大学教授)

演題：「シャガールとは何者か？」

東欧ユダヤ人としてのモダン・アーティスト

②作品解説会

日時：12月17日(日)、1月27日(土)午後2時～

場所：名古屋市美術館2階講堂

講師：深谷克典(名古屋市美術館副館長)

③特別鑑賞会(有料催事)

日時：A. 12月23日(土)、B. 1月6日(土)、C. 1月20日(土)

いずれも午後5時～

A=解説会+シャンパン+軽食 5,000円

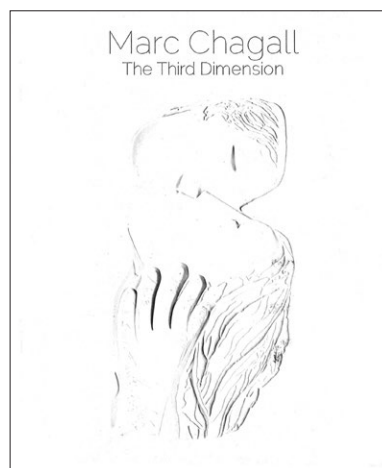
B=解説会+スイーツ 3,500円

C=解説会+コンサート 4,000円

場所：名古屋市美術館2階講堂、およびシャガール展会場



ポスター



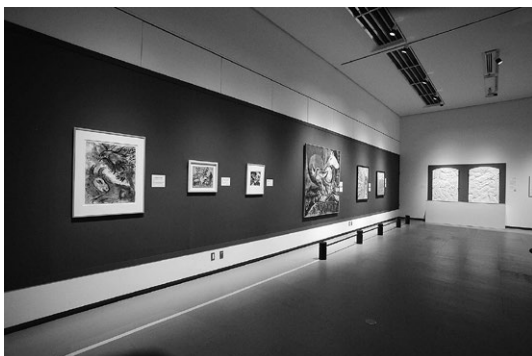
図録

出品作品

番号	作品名	制作年	材質	サイズ (cm)	所蔵先
001	誕生日	1923	油彩、キャンヴァス	81.0×100.3	AOKIホールディングス
002	誕生日	1968頃	大理石	53.3×57.5×8.0	個人蔵
003	ふたつの頭部と手	1964	大理石	40.0×24.5×21.0	個人蔵
004	町の上で、ヴィテブスク	1915	油彩、厚紙(キャンヴァスに貼付)	49.2×70.6	ポーラ美術館
005	二重肖像	1924	油彩、キャンヴァス	130.0×100.0	名古屋市美術館
006	カーネーションを持つベラ	1925	油彩、キャンヴァス	100.4×81.0	個人蔵
007	のげぞる男	1919	油彩、厚紙(合板に貼付)	57.0×47.0	個人蔵
008	ダヴィデの詩篇	1970	グワッシュ・墨、紙	36.2×27.0	個人蔵
009	誕生	1911	油彩、キャンヴァス(合板に貼付)	46.0×36.0	個人蔵
010	座る赤い裸婦	1909	油彩、キャンヴァス	84.0×116.0	個人蔵
011	ランプのある静物	1910	油彩、キャンヴァス	81.0×45.0	宇都宮美術館
012	青いアーチの前の人物	1911	グワッシュ、紙	30.0×49.5	個人蔵
013	カインとアベル	1911	グワッシュ、紙	22.0×28.0	個人蔵
014	軽業師たち	1911-12	油彩、キャンヴァス	38.3×55.0	ポーラ美術館
015	通りの農夫たち	1911	グワッシュ、紙	21.4×27.2	個人蔵
016	家の前の自画像	1914	油彩、厚紙(キャンヴァスに貼付)	50.7×38.0	個人蔵
017	櫛を持つ裸婦	1911-12	インク・グワッシュ、紙	33.4×23.4	個人蔵
018	静物	1911-12	油彩、キャンヴァス	63.0×78.0	宇都宮美術館
019	銃殺	1914	墨・鉛筆、紙	23.3×18.5	個人蔵
020	マンドリンを弾くダヴィッド	1914	インク、紙	31.8×21.9	個人蔵
021	構成主義的肖像	1918	鉛筆、紙	23.0×14.3	個人蔵
022	《青いロバ》のための下絵	1954	鉛筆、紙	17.4×13.1	個人蔵
023-1	《青いロバ》のための下絵(表)	1954	木炭・パステル、紙	29.3×23.0	個人蔵
023-2	《青いロバ》のための下絵(裏)	1954	木炭・パステル、紙	29.3×23.0	個人蔵
024	《青いロバ》のための下絵	1954	木炭・パステル、紙	48.5×61.4	個人蔵
025	青いロバ	1954	テラコッタ	33.0×22.0×22.0	個人蔵
026	青いロバ	1954	彩色陶器	31.5×19.8×24.0	個人蔵
027	二羽の鳥	1961	彩色陶器	26.7×44.0×6.5	個人蔵
028	逃避／村の上の雄鶏と雄山羊	1962	グワッシュ・インク、紙	73.7×56.2	個人蔵
029	把手のついた壺	1953	彩色陶器	16.0×26.0×23.0	個人蔵
030	《彫刻された壺》のための下絵	1952	木炭・パステル、紙	63.5×47.8	個人蔵
031	彫刻された壺	1952	彩色陶器	36.0×29.0×27.5	個人蔵
032	《散歩》のための下絵	1961	鉛筆、紙	21.2×27.5	個人蔵
033	散歩	1961	彩色陶器	26.0×22.0×18.0	個人蔵
034	《井戸端の女》のための下絵	1953	木炭・パステル、紙	61.5×48.3	個人蔵
035	井戸端の女	1953	テラコッタ	24.0×17.8×40.0	個人蔵
036	《銅葉桶の傍の女》のための下絵	1953	木炭・パステル、紙	61.5×48.5	個人蔵
037	預言者エリヤの馬車	1951	テラコッタ	32.0×24.0×26.0	個人蔵
038	水浴する女	1953	テラコッタ	36.0×24.0×23.0	個人蔵
039	水浴する女	1957-59	ブロンズ	36.5×23.0×23.0	個人蔵
040	横たわる女	1953	テラコッタ	27.0×40.0×29.9	個人蔵
041	青い婚約者たち	1962	彩色陶器	33.5×15.0×17.0	個人蔵
042	キメイラ	1954	彩色陶器	31.0×19.0×19.0	個人蔵
043	彫刻のための下絵	1953	木炭・パステル、紙	21.0×13.4	個人蔵
044	聖書の女 ラケルとレア	1969-70	大理石	133.0×87.0×5.0	国立マルク・シャガール美術館
045	聖書の女 サラとリベカ	1969-70	大理石	133.0×87.0×5.0	国立マルク・シャガール美術館
046	エルサレム	1932-37	油彩・木炭、キャンヴァス	82.0×78.0	個人蔵
047	エルサレム(嘆きの壁)	1931	油彩、キャンヴァス	100.0×81.2	個人蔵
048	ハダサ病院附属ユダヤ教会堂(エルサレム)のステンドグラス 《アシェル一族》のためのヴァリエーション	1960-62	墨・鉛筆・パステル、紙	101.6×72.5	個人蔵
049	ハダサ病院附属ユダヤ教会堂(エルサレム)のステンドグラス 《レビ一族》のためのヴァリエーション	1960-62	墨・グワッシュ、和紙	101.5×73.3	個人蔵
050	ハダサ病院附属ユダヤ教会堂(エルサレム)のステンドグラス 《ナフタリ一族》のための習作	1961-62	墨・グワッシュ、紙	66.0×51.5	個人蔵
051	《過越祭》のための下絵	1968	墨・水彩・木炭・コラージュ、紙	24.5×25.0	個人蔵
052	過越祭	1968	油彩、キャンヴァス	160.3×159.5	ジョルジュ・ボンビドゥール・センター ／パリ国立近代美術館
053	《ヤコブの夢》のための下絵	1966	墨・パステル・鉛筆・コラージュ、紙	30.0×34.8	個人蔵
054	アブラハムの犠牲	1968-71	大理石	40.0×69.0×46.0	個人蔵
055	モーセと十戒	1952	グワッシュ・パステル、紙	76.5×58.0	個人蔵

056	モーセ	1952-54	ロニユの石	53.0×22.0×9.0	国立マルク・シャガール美術館
057	《竖琴を弾くダヴィデ》のための下絵	1968	グワッシュ・パステル・墨・鉛筆・コラージュ、紙	29.5×25.0	個人蔵
058	《ダヴィデとバテシバ》のための下絵	1974	水彩・墨・コラージュ、紙	20.7×17.6	個人蔵
059	ダヴィデ王	1972-73	大理石	43.0×32.5×9.0	個人蔵
060	ダヴィデとバテシバ	1982-83	大理石	90.0×50.0×5.0	個人蔵
061	《聖母の前のキリスト》のための下絵	1965	水彩・墨・色鉛筆・コラージュ、紙	28.0×17.6	個人蔵
062	十字架降下	1952	大理石	27.5×15.0×41.0	個人蔵
063	キリスト	1951-52	ロニユの石	52.0×23.0×14.5	個人蔵
064	裸婦	1949	水彩・インク、紙	62.4×47.9	個人蔵
065	バテシバ I	1973	ロニユの石	61.0×66.5×16.5	個人蔵
066	バテシバ II	1973	ロニユの石	62.5×67.0×18.0	個人蔵
067	『聖書』のための挿絵:《カルメル山上のエリヤ》のためのグワッシュによる準備習作(テリアード版『聖書』第2巻、版画86)	1931	グワッシュ・パステル・鉛筆、紙	35.4×26.5	個人蔵
068	『聖書』のための挿絵:《カルメル山上のエリヤ》(テリアード版『聖書』第2巻、版画86) 第1ステート	1931-39	エッチング・ドライポイント、紙	45.2×33.2 passepartou	個人蔵
069	『聖書』のための挿絵:《カルメル山上のエリヤ》(テリアード版『聖書』第2巻、版画86) 第2ステート	1931-39	エッチング・ドライポイント、紙	45.0×33.2	個人蔵
070	『聖書』のための挿絵:《カルメル山上のエリヤ》(テリアード版『聖書』第2巻、版画86) 第4ステート	1931-39	エッチング・ドライポイント、紙	45.6×33.2	個人蔵
071	『聖書』のための挿絵:《カルメル山上のエリヤ》(テリアード版『聖書』第2巻、版画86) 第5ステート	1931-39	エッチング・ドライポイント、紙	46.3×33.2	個人蔵
072	『聖書』のための挿絵:《カルメル山上のエリヤ》(テリアード版『聖書』第2巻、版画86) 最終ステート	1931-39、1956(刷版)	エッチング・ドライポイント、紙	53.5×39.0	個人蔵
073	『聖書』のための挿絵:《カルメル山上のエリヤ》(テリアード版『聖書』第2巻、版画86) 最終ステートにグワッシュで着彩	1931-39、1956-58(着色)	エッチング・ドライポイント、水彩・グワッシュ、紙	53.8×39.3	個人蔵
074	『聖書』のための挿絵:《カルメル山上のエリヤ》(テリアード版『聖書』第2巻、版画86) 銅版	1931-34	銅版	29.1×25.0	国立マルク・シャガール美術館
075	『聖書』のための挿絵:《夢に現れた神に智慧を与えてくれるよう願うソロモン》(テリアード版『聖書』第2巻、版画77) 下絵	1931-39	鉛筆、紙	45.0×28.4	個人蔵
076	『聖書』のための挿絵:《夢に現れた神に智慧を与えてくれるよう願うソロモン》(テリアード版『聖書』第2巻、版画77) 下絵	1931-39	インク・グワッシュ・鉛筆、紙	44.7×29.0	個人蔵
077	『聖書』のための挿絵:《夢に現れた神に智慧を与えてくれるよう願うソロモン》(テリアード版『聖書』第2巻、版画77) 下絵	1931-39	インク・グワッシュ・パステル・鉛筆、紙	44.7×28.8	個人蔵
078	『聖書』のための挿絵:《夢に現れた神に智慧を与えてくれるよう願うソロモン》(テリアード版『聖書』第2巻、版画77) 最終ステート	1931-39、1956	エッチング・ドライポイント、紙	53.5×39.0	個人蔵
079	『聖書』のための挿絵:《夢に現れた神に智慧を与えてくれるよう願うソロモン》(テリアード版『聖書』第2巻、版画77) 最終ステートに着彩	1931-39、1956-58	エッチング・ドライポイント・グワッシュ、紙	32.2×21.0	個人蔵
080	『聖書』のための挿絵:《夢に現れた神に智慧を与えてくれるよう願うソロモン》(テリアード版『聖書』第2巻、版画77) 銅版	1931-39	銅版	32.7×21.4	国立マルク・シャガール美術館
081	燭台	1956	墨・水彩・グワッシュ、色紙	61.0×52.3	個人蔵
082	詩篇142	1956	インク・墨・水彩・グワッシュ、紙	55.7×44.7	個人蔵
083	青い花瓶の花束	1930頃	油彩、キャンヴァス	28.0×23.0	AOKIホールディングス
084	花束の中のカップル	1930-35頃	油彩、キャンヴァス	23.5×16.5	AOKIホールディングス
085	逆さ世界のヴァイオリン弾き	1929	油彩、キャンヴァス	92.7×73.0	吉野石膏株式会社(山形美術館に寄託)
086	アラムの花	1950-52	水彩・インク・鉛筆、紙	64.7×49.7	個人蔵
087	アルルカンの家族(タピスリーのための下絵)	1961	墨・水彩・グワッシュ・パステル、紙	66.0×50.3	個人蔵
088	風景(表)／鳥と恋人たち(裏)	1952	ロニユの石	46.0×38.0×21.0	個人蔵
089	夜の裸婦	1961	インク・グワッシュ・水彩、紙	83.5×59.4	個人蔵
090	燭台と白いバラ	1929	油彩、キャンヴァス	100.0×81.0	個人蔵
091	地上の楽園	1969	大理石	23.1×35.2×10.0	個人蔵
092	村の恋人たち	1968-69頃	大理石	27.8×40.4×8.8	個人蔵
093	アトリエの窓	1976	油彩、キャンヴァス	92.0×73.0	AOKIホールディングス
094	雄鶏と恋人たち	1968-69	大理石	27.5×40.0×4.0	個人蔵
095	黄色い家と屋根の上の口バ	1938	油彩、キャンヴァス	31.0×27.1	ポーラ美術館
096	ラ・コリヌ(口バ、魚、月、二羽の鳥)	1966	エルサレムの石	45.0×51.0×8.0	個人蔵
097	ラ・コリヌ(二羽の鳥とウサギ)	1966	エルサレムの石	46.0×51.5×8.0	個人蔵
098	女=雄鶏	1952	大理石	29.8×26.2×6.5(台座とも)	個人蔵
099	女=雄鶏	1956-57	ブロンズ	29.8×26.0×6.6(台座とも)	個人蔵
100	《大地…》『詩集』のための版画XI	1968	木版画	32.0×24.5	個人蔵
101	《大地…》のための原版A『詩集』のための版画XI	1968	木版	32.5×25.0×2.0	個人蔵
102	《大地…》のための原版B『詩集』のための版画XI	1968	木版	33.0×25.0×2.0	個人蔵
103	《野蛮人のように》『詩集』のための版画II	1968	木版・エッチング、紙	32.0×24.5	個人蔵
104	《野蛮人のように》のための原版A『詩集』のための版画II p. 11	1968	木版	32.6×25.2×1.5	個人蔵

105 《野蛮人のように》のための原版B『詩集』のための版画Ⅱ p. 11	1968	木版	32.5×25.0×2.5	個人蔵
106 《野蛮人のように》のための原版C『詩集』のための版画Ⅱ p. 11	1968	木版	32.5×25.0×2.0	個人蔵
107 時の流れに(逆さブーツのマントを着た男)	1970	水彩・墨・コラージュ、版画の試し刷りをした紙	33.7×26.4	個人蔵
108 ギターを持つ女	1970	色鉛筆・コラージュ、紙	38.2×52.0	個人蔵
109 赤い背景の花	1970	油彩、キャンヴァス	124.5×113.0	AOKIホールディングス
110 回想	1979	油彩、キャンヴァス	100.0×73.0	AOKIホールディングス
111 画家と妻	1969	油彩、キャンヴァス	92.0×65.0	AOKIホールディングス
112 サン＝ジャン＝カップ＝フェラ	1949	グワッシュ・墨・パステル、紙	78.0×56.6	個人蔵
113 《黒い月》のための下絵	1968-71	水彩・パステル・チョーク・墨・コラージュ、紙	29.0×22.7	個人蔵
114 《紫色の裸婦》のための下絵	1967	グワッシュ・墨・パステル・コラージュ、紙	24.3×20.6	個人蔵
115 《紫色の裸婦》のための下絵	1967	グワッシュ・墨・コラージュ、紙	37.7×27.7	個人蔵
116 紫色の裸婦	1967	油彩・砂、キャンヴァス	140.0×148.0	個人蔵
117 《アルルカン》のための下絵	1968-71	グワッシュ・色鉛筆・インク・コラージュ・リトグラフ、紙	28.7×22.8	個人蔵
118 アルルカン	1968-71	油彩、キャンヴァス	136.0×98.0	大成建設株式会社
119 《騎手》のための下絵	1966	グワッシュ・墨・コラージュ、紙	38.0×27.7	個人蔵
120 《シバの女王の到着》のための下絵	1971-72	墨・チョーク・コラージュ、紙	28.5×20.5	個人蔵
121 空想の動物	1952	石膏	53.0×80.0×29.0	個人蔵
122 空想の動物	1959-60	ブロンズ	52.0×80.0×20.0	個人蔵
123 緑の夜	1952	油彩、キャンヴァス	72.0×60.0	個人蔵
124 ラ・バステューユ	1953	油彩・色インク、キャンヴァス	81.0×100.0	個人蔵
125 山羊に乗る子供	1981-82	ブロンズ	17.5×26.0×10.5	個人蔵
126 雄鶏	1952	石膏	57.7×43.0×20.5	個人蔵
127 画家と雄鶏	1953	墨・水彩、和紙	66.2×52.0	個人蔵
128 雄鶏	1962	テラコッタ	29.5×24.5	個人蔵
129 鳥	1964-66(オリジナル)	塗装されたブロンズ	37.0×24.0×19.0	個人蔵
130 鳥＝魚	1964-66(オリジナル)	塗装されたブロンズ	37.0×25.5×27.0	個人蔵
131 二つの顔のある頭部	1975	水彩・墨・グワッシュ・木炭、紙	42.5×32.0	個人蔵
132 大きな人物	1962	彩色陶器	47.5×39.0×23.0	個人蔵
133 二つの顔を持つ紫色の裸婦	1950	水彩・グワッシュ・インク、紙	56.0×46.0	個人蔵
134 たそがれ	1938-43	油彩、キャンヴァス	100.0×73.0	個人蔵
135 黒い手袋	1923-48	油彩、キャンヴァス	111.0×81.5	個人蔵
136 月明かりに照らされる二重の顔	1950	グワッシュ・色鉛筆、紙	65.0×50.0	個人蔵
137 恋人たち	1973	ヴァンスの石	36.0×12.5×26.0	個人蔵
138 自画像	1968-69	大理石	61.0×38.5×22.4(台座とも)	個人蔵
139 黄色い顔の自画像	1969	グワッシュ・パステル、紙	63.0×54.5	個人蔵
140 二重の横顔	1957	墨・グワッシュ、羊の骨	22.0×10.5×17.0	個人蔵
141 振り子時計のある自画像	1947	油彩、キャンヴァス	86.0×70.5	個人蔵
142 自画像	1952頃	大理石	39.5×40.5×7.0	個人蔵
143 女と動物	1953	大理石	38.2×20.0×22.0	個人蔵
144 緑の目	1944	油彩、キャンヴァス	58.0×51.0	個人蔵
145 ヴィテブスクの上に横たわる裸婦	1933	油彩、キャンヴァス	87.0×113.0	個人蔵
146 恋人たちと山羊	1952	大理石	21.7×38.0×12.0	個人蔵
147 雲の中の恋人たち	1945-46	油彩、キャンヴァス	66.0×87.0	個人蔵
148 波の上のロバと鳥	1952	大理石	24.5×17.0×44.5(台座とも)	個人蔵



1 階会場風景



2 階会場風景

149 恋人たちと木	1969	大理石	54.0×42.0×28.0	個人蔵
150 赤い雄鶏	1975-78	油彩、キャンヴァス	46.0×55.0	AOKIホールディングス
151 雄鶏と女	1952	多色の石	26.4×21.0×8.0	個人蔵
152 鳥と恋人たち	1952	大理石	33.0×32.0×8.0(台座とも)	個人蔵
153 《雄鶏と恋人たち》のための下絵	1950	油彩、キャンヴァス	26.0×37.0	AOKIホールディングス
154 《雄鶏と恋人たち》のための下絵	1950	油彩、キャンヴァス	22.0×26.5	AOKIホールディングス
155 女と魚	1952	大理石	26.5×33.0×15.5	個人蔵
156 通りの魚	1950	インク・水彩、紙	55.0×76.0	個人蔵
157 魚のある静物	1969	グワッシュ・墨・鉛筆、紙	40.0×49.5	個人蔵
158 アダムとイヴ	1953	大理石	53.5×23.0×24.0	個人蔵
159 天蓋の花嫁	1949	油彩、キャンヴァス	115.0×94.0	AOKIホールディングス
160 キリストと雪の村	1969	グワッシュ・パステル・鉛筆、紙	56.6×75.7	個人蔵
161 ヤコブの梯子	1973	大理石	85.0×27.0×23.0	個人蔵
162 キリストの磔刑	1952-54	石灰岩	78.0×37.5×19.0	国立マルク・シャガール美術館
163 ダヴィデ王	1953	石灰岩	77.5×42.0×19.5	国立マルク・シャガール美術館
164 橋の上のキリスト	1951	グワッシュ、紙	79.0×53.0	個人蔵
165 二人の裸婦と山羊	1951	石灰岩	40.5×16.0×10.0	個人蔵
166 花束を持つ恋人たち	1951-52	ロニユの石	56.9×29.5×16.0	個人蔵
167 聖母子	1952	石膏	69.0×37.0×27.0	個人蔵
168 鳥の上の女	1951	彩色陶器	30.8×23.3×2.0	個人蔵
169 腕をあげる女	1953	彩色陶器	41.0×40.4×5.0	個人蔵
170 聖母とロバ	1968-71	大理石	62.0×32.6×16.4	個人蔵
171 青い羽根の振り子時計	1949	油彩、キャンヴァス	92.0×79.0	個人蔵
172 小舟と魚	1952	水彩・インク・パステル・鉛筆、紙	62.3×47.9	個人蔵
173 ヴァヴァ	1968-71	大理石	70.0×24.0×17.5	個人蔵
174 ヴァヴァの肖像	1966	油彩、キャンヴァス	92.7×64.8	個人蔵
175 《ヴァヴァの肖像》のための下絵	1953-56	油彩、キャンヴァス	28.0×23.0	AOKIホールディングス



クラシックのタベ



名画のタベ



記念講演会



シャンパーニュのタベ

真島直子 地ごく楽

MAJIMA Naoko Jigokuraku

会期：2018年3月3日(土)～4月15日(日)

主催

名古屋市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、中京テレビ放送

後援

愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

協力

名古屋市交通局

協賛

ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、増田コレクション

入場料

一般1,200円 高大生800円 中学生以下無料

内容

真島直子(1944-)は、活動の初期から絵画作品とオブジェやインスタレーションによる立体作品の制作を行っており、1990年から始められた〈地ごく楽〉シリーズによって今日の日本を代表する作家のひとりとして認められるようになった。2000年頃から始められた「鉛筆画」は、紙やキャンバスに鉛筆による細密描写を行うもので、デッサンや下絵としてではなく、自立した作品として制作されている。

真島の表現は、発生し死滅する人間を存在の根源的な様態において捉えようとするもので、白黒の鉛筆画と多色の立体はともにひとつの世界を表している。「地ごく楽」は、「地獄」と「極楽」を一語にした作家の造語で、作家の創作における境涯を表すとともに私たちの「生」の状況を表している。

作家は近年、久しく制作を止めていた油彩画に取り組み、新たな展開を示し始めており、〈地ごく楽〉シリーズなどの代表作品に初期作品と油彩画の近作を加えて作家の創作の歩みを紹介した。名古屋市出身の作家にとって郷里で開催されるはじめての大規模個展となった。

図録

28.0×22.5cm 96頁

(27.0×21.0cm 蛇腹折6頁の別刷りを含む)

編集：名古屋市美術館、足利市立美術館

発行：名古屋市美術館、足利市立美術館

関連催事

①講演会「地ごく楽に生きる」

日時：2018年3月3日(土)午後2時～

講師：真島直子

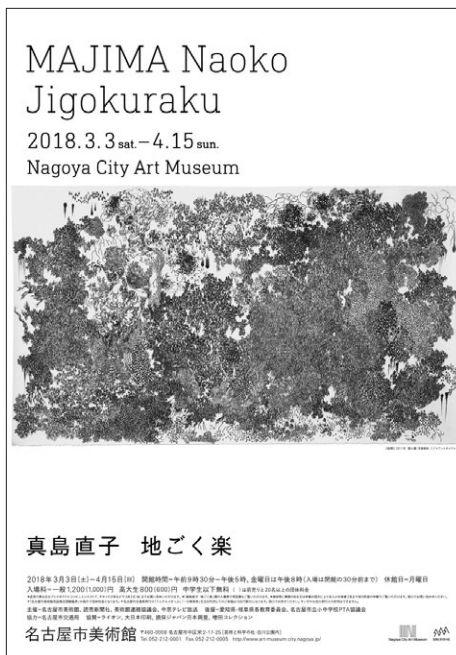
会場：名古屋市美術館講堂

②解説会

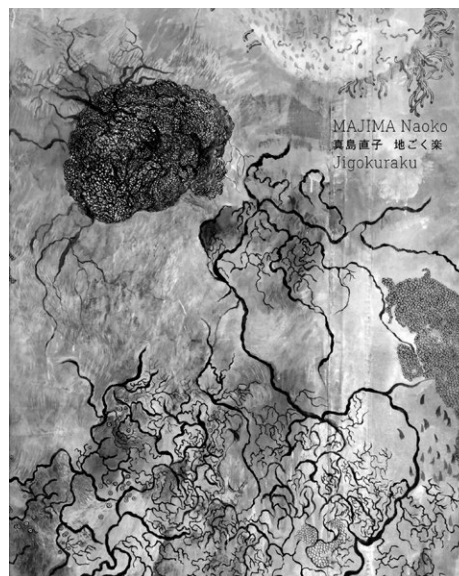
日時：2018年3月24日(土)午後2時～

講師：角田美奈子(名古屋市美術館学芸員)

会場：名古屋市美術館講堂



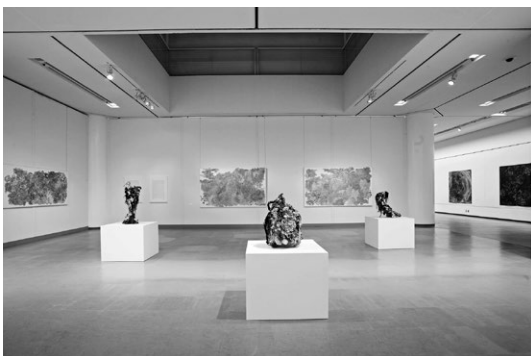
ポスター



図録

出品作品

番号	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(cm)	所蔵先
1	[無題]	c.1978	油彩、鉛筆・キャンヴァス	91.1×73.2	個人
2	[無題]	c.1978	油彩、鉛筆・キャンヴァス	91.1×73.5	個人
3	[無題]	c.1978	油彩、鉛筆・キャンヴァス	91.1×73.2	個人
4	[無題]	c.1978	油彩、鉛筆・キャンヴァス	91.0×65.7	個人
5	[無題]	1984	ミクストメディア	37.9×25.7	個人
6	[花のエロチカ]	c.1990	ミクストメディア	54.5×38.3×18.5	個人
7	[花のエロチカ]	c.1990	ミクストメディア	16.0×18.0×18.0	個人
8	JIGOKURAKU 1990-91-I	1990-91	ミクストメディア	134.0×150.0×36.0	増田コレクション(大分県立美術館寄託)
9	JIGOKURAKU 1990-91-II	1991	ミクストメディア	300.0×120.0	個人
10	JIGOKURAKU 1990-91-III	1991	ミクストメディア	185.0×125.0	個人
11	JIGOKURAKU 1990-91-IV	1991	ミクストメディア	240.0×80.0	個人
12	JIGOKURAKU 1992	1992	ミクストメディア	116.5×91.0	個人
13	JIGOKURAKU 1995-1	1995	ミクストメディア	210.0×100.0	個人
14	[地ごく楽 1995-97]	1995-97	ミクストメディア	可変(全5点の立体による仮設展示)	個人
15	[無題]	c.1995	油彩・布	99.0×171.0	個人
16	[無題]	c.1996	油彩・板	182.0×182.0	個人
17	[無題]	c.1996	油彩・板	182.0×182.1	個人
18	[無題]	c.1997	ミクストメディア	103.2×145.5	個人
19	JIGOKURAKU-15	1998	ペン、水彩・紙	46.2×37.8	増田コレクション
20	地ごく楽	1999	鉛筆・紙	114.5×260.0	個人
21	地ごく楽2003	1999	ミクストメディア	85.0×45.0×47.0	増田コレクション(大分県立美術館寄託)
22	密林にて	1999	ペン、水彩・紙	18.4×14.1	増田コレクション
23	密林にて	1999	ペン、水彩・紙	18.7×14.2	増田コレクション
24	JIGOKURAKU 2000 DL-1	2000	鉛筆・紙	113.8×270.0	個人(練馬区立美術館寄託)
25	JIGOKURAKU 2000 DL-2	2000	鉛筆・紙	113.8×260.0	個人(練馬区立美術館寄託)
26	JIGOKURAKU 2000-1	2000	ミクストメディア	36.0×36.0×14.0	スパンアートギャラリー
27	[無題]	c.2000	ミクストメディア	80.0×46.0×22.0	個人
28	JIGOKURAKU 2001-1	2001	鉛筆・紙	157.2×265.0	個人(練馬区立美術館寄託)
29	JIGOKURAKU 2001-2	2001	鉛筆・紙	157.2×278.0	個人(練馬区立美術館寄託)
30	地ごく楽	2002	鉛筆・紙	137.4×329.5	増田コレクション(大分県立美術館寄託)
31	地ごく楽 2002	2002	鉛筆・紙	113.0×185.3	増田コレクション(大分県立美術館寄託)
32	地ごく楽 2003-2	2003	鉛筆・紙	400.0×153.0	愛知県美術館
33	JIGOKURAKU 2003-4	2003	鉛筆・紙	137.3×354.2	増田コレクション(大分県立美術館寄託)
34	地ごく楽 2003-I	2003	ミクストメディア	69.0×46.5×43.0	増田コレクション(大分県立美術館寄託)
35	地ごく楽	2003	ミクストメディア	66.0×50.5×75.0	増田コレクション(大分県立美術館寄託)
36	JIGOKURAKU 2004-2	2004	鉛筆・紙	114.5×529.5	増田コレクション(大分県立美術館寄託)
37	地ごく楽 2005-1	2005	鉛筆・紙	135.0×55.0	個人
38	地ごく楽 2005-6	2005	鉛筆・紙	115.0×42.0	個人
39	地ごく楽 2005-7	2005	鉛筆・紙	106.0×42.0	個人
40	地ごく楽 2005-8	2005	鉛筆・紙	106.0×42.0	個人
41	地ごく楽 2005-II	2005	ミクストメディア	75.0×100.0×65.0	増田コレクション(大分県立美術館寄託)
42	地ごく楽2007-2	2007	鉛筆・キャンヴァス	106.0×140.0	個人

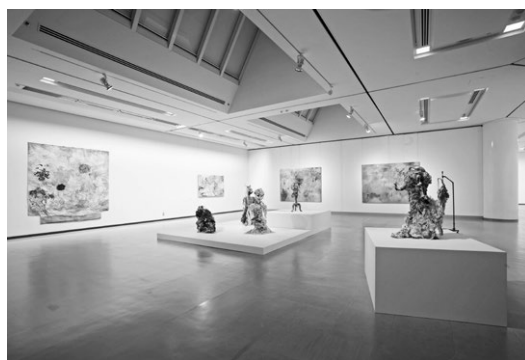


1 階会場風景



1 階会場風景

43	密林にて 1	2007	鉛筆・キャンヴァス	206.4×141.0	個人
44	精霊	2007	ミクストメディア	125.0×96.0×80.0	個人
45	密林の女	2007	ミクストメディア	139.7×42.0×45.0	個人
46	呪術師	2007	ミクストメディア	92.0×40.0×65.0	個人
47	密林の女神	2008	鉛筆・紙	91.0×64.0	個人
48	密林の女神 II	2008	鉛筆・キャンヴァス	170.5×65.0	碧南市藤井達吉現代美術館
49	密林にて	2009	鉛筆・紙	114.0×300.0	名古屋市美術館
50	密林の女神	2010	ミクストメディア	130.0×42.0×50.0	個人
51	妖精	2010	ミクストメディア	221.0×55.0×50.0	個人
52	密林にて II	2010	ミクストメディア	23.0×48.0×25.0	個人
53	妖精	2012	ミクストメディア	185.0×32.0×45.0	個人
54	妖精	2012	ミクストメディア	165.0×46.0×66.0	個人
55	妖精	2011	鉛筆・紙	114.0×200.0	個人
56	妖精	2012	鉛筆・紙	114.0×300.0	個人
57	脳内麻薬1	2013	油彩・綿布	251.0×242.0	ヒノギャラリー
58	脳内麻薬2	2015	油彩・キャンヴァス	115.0×201.0	増田コレクション
59	脳内麻薬4	2015	油彩・キャンヴァス	148.0×371.0	増田コレクション
60	脳内麻薬 2018	2018	油彩・キャンヴァス	194.0×260.0	個人
61	脳内麻薬 2018	2018	油彩・キャンヴァス	194.0×260.0	個人
62	地ごく楽 2018	2018	ミクストメディア	可変(1990-2007年頃制作の最大 数51点の立体による仮設展示)	個人



2階会場風景

名古屋市美術館では、美術鑑賞の楽しさや面白さを体験できる美術館を目指して、今年度も来館者の皆様からの多様な要望に応えられるように多彩な教育プログラムを実施しました。本年度は、改修工事のため6月末から10月初まで全館休館となり、「夏休みこどもの美術館」が開催できないなど影響がありました。この期間にボランティアの活動として高齢者施設を訪問したり、「名古屋市美術館 周辺の彫刻」「名古屋市美術館 建築の見どころ」の2種のガイドを作成するなどの活動を行いました。また、「ランス美術館展」の出張講演会を名古屋市科学館、名古屋市博物館にて実施し、展覧会の見どころや10月に姉妹都市となったランスを紹介しました。

一般向けのプログラムとしては、「異郷のモダニズム－満洲写真全史」開催にあわせ、担当学芸員が4回にわたり展示構成に沿って作品と時代背景を説明する解説会を開催しました。また「李香蘭と満鉄記録映画集」をテーマに上映会を9回開催しました。「ランス美術館」展では、当館初の試みである会場内演劇を実施し、また閉館後に有料催事を行い、ご好評いただきました。続く「シャガール展 三次元の世界」では、大阪大学の岡府寺司氏に「シャガールとは何者か？ 東欧ユダヤ人としてモダン・アーティスト」と題して、シャガールの作品と人生についてお話いただき、多くの方にご来場いただきました。またランス展に引き続き閉館後に有料催事を実施しました。「真島直子 地ごく楽」では、開幕日に真島直子氏の講演会を開催し、作家自身に作品について語っていただきました。

毎年恒例となった名古屋市美術館の学芸員による研究発表の場としての「コレクション解析学」は4回（森眞吾、アレクサンダー・コルダ、椎原治、マリア・イスキエルド）実施しました。

子ども向けの教育普及事業では、学校休業日の体験活動の推進のための美術鑑賞プログラム「びじゅつびっくり たまてばこ」を今年度も実施しました。小中学生の作品鑑賞の一助として「ワークシート」を配布するとともに、収蔵品の一作品をじっくり鑑賞する「イチおし!」、白川公園を巡りながら野外彫刻の楽しみ方を発見する「まるごと玉手箱」、質問を投げかけ話し合いながら美術館を体験してもらう「びじゅつかん検定」を実施しました。また、1月には2日間にもわたり、簡易授乳スペースやおもちゃを用意した「ちびっこオアシス」を開設しました。11月には科学館、地元商店街、周辺施設と連携して「サイエンス&アートフェスティバル」を開催し、美術館では「アート大

会」を実施しました。なお、例年開催している「夏休みこどもの美術館」は改修工事に伴う全館休館のため実施しませんでした。

学校との連携による教育普及事業としては、平成15年度から継続している「出前アート体験」があり、今年度は「名画の秘密をさぐる」あるいは「美術から異文化を知ろう」のプログラムを5校、「アートカードで学ぼう」をガイドボランティアの支援を得て2校で実施しました。また、就業・職業・職場体験及び職場訪問では、全18校、総計101名を受け入れました。今年度のトワイライトスクール/ルームは、改修工事による全館休館期間に実施し、全8校総計275名が参加しました。学校の団体見学においては、ガイドボランティアによる常設展のガイドトークを受けた児童・生徒たち（名古屋市内の小中学校及び高等学校12団体1010名）が充実した美術鑑賞の体験をしています。名古屋市美術館が開発した美術鑑賞補助教材「アートカード」の貸出は、今年度は、美術館と保管校から総計20件、39セットでした。なお、教師のための研修会は、開催時期の7月から8月に改修工事が行われたため実施しませんでした。

このように名古屋市美術館が積極的な教育普及事業を展開できるのは、ガイドボランティアの活動に支えられているからです。名品コレクション展でのギャラリートークを基本として、「出前アート体験」の支援、常設展の学校団体向けガイドトークの実施、ボランティア養成講座のサポートなど、幅広い分野で活動を行っています。また平成29年度は、6月末から10月初の改修工事による全館休館期間に、ボランティアからの提案により高齢者施設を訪問し、アートカードとぬり絵によるプログラムを実施しました。今年度は、新たなボランティアを募集し、養成講座受講後、18名が第10期生として加わりました。

美術館の活動を支援することを目的とした美術愛好家の会である名古屋市美術館協力会では、春・秋の「美術館見学ツアー」や近郊の美術館への「美術鑑賞ミニツアー」を積極的に実施しました。オリジナル・カレンダーは、山田純嗣氏に作成を委嘱しました。

この他に、美術書や画集・展覧会カタログが充実した図書室の利用者も年間6632名になっています。出版関係では、多彩で豊富な記事が好評の美術館ニュース「アートペーパー」（第105～107号）発行しました。この他に『年報』『年間案内』『名古屋市美術館 周辺の彫刻』『名古屋市美術館 建築の見どころ』を刊行しました。

1. 一般成人対象の事業

(1)講演会・解説会

年月日	時刻	内容	講師等	場所	参加者
29年5月6日(土)	午後2時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」展解説会	竹葉丈(学芸員)	講堂	100
29年5月27日(土)	午後2時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」展解説会	竹葉丈(学芸員)	講堂	95
29年6月3日(土)	午後2時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」展解説会	竹葉丈(学芸員)	講堂	145
29年6月17日(土)	午後2時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」展解説会	竹葉丈(学芸員)	講堂	150
29年8月22日(火)	午後2時～	「ランス美術館展」出張講演会	深谷克典(副館長)	科学館	150
29年8月30日(水)	午後2時～	「ランス美術館展」出張講演会	保崎裕徳(学芸係長)	博物館	150
29年10月14日(土)	午後2時～	「ランス美術館展」作品解説会	深谷克典(副館長)	講堂	120
29年10月28日(土)	午後5時～	「ランス美術館展」特別鑑賞会	深谷克典(副館長)	展示室	33
29年10月29日(日)	午後2時～	「中村正義をめぐる画家たち」展作品解説会	深谷克典(副館長)	講堂	10
29年11月11日(土)	午後5時～	「ランス美術館展」特別鑑賞会	深谷克典(副館長)	講堂他	16
29年11月13日(月)	午前10時30分～ 午後1時30分～	「ランス美術館展」ベビーカートゥアー	保崎裕徳(学芸係長)	展示室	60
29年11月18日(土)	午後5時～	「ランス美術館展」特別鑑賞会	深谷克典(副館長)	講堂他	46
29年11月20日(月)	午後2時～	「ランス美術館展」作品解説会	深谷克典(副館長)	講堂	150
29年11月30日(木)	午後5時～	講演会「シャンパンの街ランス 異文化との出会い」	田崎真也・深谷克典(副館長)	講堂他	600
29年12月17日(日)	午後2時～	「シャガール展 三次元の世界」作品解説会	深谷克典(副館長)	講堂	170
29年12月23日(土)	午後2時～	「シャガール展 三次元の世界」記念講演会	園府寺司(大阪大学教授)	講堂	182
29年12月23日(土)	午後5時～	「シャガール展 三次元の世界」特別鑑賞会	深谷克典(副館長)	講堂他	39
30年1月6日(土)	午後5時～	「シャガール展 三次元の世界」特別鑑賞会	深谷克典(副館長)	講堂他	24
30年1月20日(土)	午後5時～	「シャガール展 三次元の世界」特別鑑賞会	深谷克典(副館長)	展示室	42
30年1月27日(土)	午後2時～	「シャガール展 三次元の世界」作品解説会	深谷克典(副館長)	講堂	175
30年3月3日(土)	午後2時～	「真島直子 地ごく楽」展講演会「地ごく楽に生きる」	真島直子(作家)	講堂	180
30年3月24日(土)	午後2時～	「真島直子 地ごく楽」展解説会	角田美奈子(学芸員)	講堂	70

(2)コレクション解析学

年月日	時刻	内容	講師等	場所	参加者
29年5月28日(日)	午後2時～	森真吾《M氏のもう一つの日記》	角田美奈子(学芸員)	講堂	132
29年11月26日(日)	午後2時～	アレクサンダー・コールドー《ファブニール・ドラゴンII》	深谷克典(副館長)	講堂	60
30年1月21日(日)	午後2時～	椎原治《流氓ユダヤー仮眠》	笠木日南子(学芸員)	講堂	60
30年3月25日(日)	午後2時～	マリア・イスキエルド《生きている静物》	中村暁子(学芸員)	講堂	70

コレクション解析学第1回

日時：5月28日(日)午後2時～

作品：森真吾《M氏のもう一つの日記》

演題：汽水域に生きる

講師：角田美奈子(名古屋市美術館学芸員)

内容：森真吾(1937-)は愛知県半田市に居住し、この地域を拠点としながら今日まで制作と発表を続けている郷土の美術を代表する作家のひとりである。作家の代表作品のひとつである《M氏のもう一つの日記》の制作背景を紹介するとともに、初期から今日に至る制作の展開をたどりながらこの作品が作家にとって持つ意味やその後の展開にどのように結び付いて行ったかを「汽水域に生きる」という作家自身の言葉を手掛かりとして考察し紹介した。

作品：アレクサンダー・コールドー《ファブニール・ドラゴンII》1969年

演題：「新たな彫刻の可能性」

講師：深谷克典(名古屋市美術館副館長)

内容：彫刻に「動き」という新しい要素をもたらした「モビール」という作品ジャンルを生み出したアメリカの彫刻家、アレクサンダー・コールドー。名古屋市美術館の正面には、彼の代表作の一つ《ファブニール・ドラゴンII》があるが、この作品に込められた意味、コールドーの創作におけるその位置づけなどについて、近代彫刻の歴史も踏まえながら、その斬新なコンセプトについて概説した。また、名古屋市美術館に収蔵される以前にこの作品を所有していた建築家、バリー・アラン・パークスについても紹介し、カリフォルニアのパークスの自宅に設置されていた時の状況などについても説明した。

コレクション解析学第2回

日時：11月26日(日)午後2時～

コレクション解析学第3回

日時:2018年1月21日(日)午後2時～

作品:椎原治《流氓ユダヤー仮睡》1941年

演題:写真が教えてくれる歴史

講師:笠木日南子(名古屋市美術館学芸員)

内容:杉原千畝のビザを持った逃避行の途上のユダヤ人を取材した椎原治の流氓ユダヤシリーズの作品について、ユダヤ人が神戸にたどり着いた歴史的背景とそのユダヤ人たちを取材した椎原治ら丹平写真倶楽部の写真家たちの動向について解説した。この一級の歴史的資料でありながら、芸術的価値の高い流氓ユダヤシリーズの写真について、現在の社会につながるような視点から考察した。また、椎原治の創作活動の変遷の中でどのような位置を占めているのかということも紹介した。

演題:新鮮! 静物

講師:中村暁子(学芸員)

内容:メキシコの女性画家マリア・イスキエルド(1902-1955)は、メキシコの民衆美術や宗教美術を受け継ぐ素朴な画風で、不思議な雰囲気を持つ作品を描いた。当時メキシコを訪れた劇作家・詩人のアントナン・アルトーはイスキエルドの絵画が真のインディオ的インスピレーションを示しているとして、彼女を絶賛している。《生きている静物》では画面手前に瑞々しい果物を配し、背景には人気のない風景を描いているが、前景と後景の対比によって果物の生命感を際立たせるとともに、どこか奇妙な光景を演出している。この作品はモチーフの果物の新鮮さと静物画としての伝統に捉われない新鮮さを併せ持ち、観る人に不思議な体験をもたらすものといえるだろう。この講座では作品を観察しながらイスキエルドの絵画において背景が果たす役割を考え、また、西洋近代の静物画の流れを簡単に辿り、イスキエルドの静物画と比較することにより、彼女の独自の視点を浮かび上がらせることを試みた。

コレクション解析学第4回

日時:2018年3月25日(日)午後2時～

作品:マリア・イスキエルド《生きている静物》1947年

(3)上映会

年月日	時刻	内容	場 所	参加者
29年6月9日(金)	午後6時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」特別上映会 「迎春花」満洲映画協会作品 1942(昭和17)年 主演:李香蘭 共演:木暮実千代	講堂	25
29年6月11日(日)	午前10時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」特別上映会 満鉄記録映画集【3】57分 「建国の春」[1932(昭和7)年、17分] 「満洲国曠古大典篇」[1934(昭和9)年、18分] 「躍進国都」[1937(昭和12)年、22分] 満鉄記録映画集【7】49分 「草原バルガ」[1937(昭和12)年、21分] 「氷の表情」[1941(昭和16)年、28分]	講堂	35
29年6月16日(金)	午後6時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」特別上映会 「迎春花」満洲映画協会作品 1942(昭和17)年 主演:李香蘭 共演:木暮実千代	講堂	45
29年6月17日(土)	午前10時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」特別上映会 満鉄記録映画集【8】42分 「満洲大豆」[1938(昭和13)年、22分] 「娘々廟會」[1940(昭和15)年、20分] 満鉄記録映画集【9】48分 「秘境熱河」[1936(昭和11)年、15分] 「留守宅便り」[1939(昭和14)年、10分] 「日満綴方使節」[1940(昭和15)年、23分]	講堂	56
29年6月18日(日)	午前10時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」特別上映会 「白蘭の歌」東宝映画・満洲映画協会合作 1939(昭和14)年 103分 主演:李香蘭・長谷川一夫	講堂	44
29年6月18日(日)	午後2時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」特別上映会 「熱砂の誓ひ」東宝映画・華北電影公司合作 1940(昭和15)年 123分 主演:李香蘭・長谷川一夫	講堂	58

29年6月23日(金)	午後6時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」特別上映会 「迎春花」満洲映画協会作品 1942(昭和17)年 主演:李香蘭 共演:木暮実千代	特集:李香蘭と満鉄記録映画集 74分	講堂	37
29年6月24日(土)	午前10時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」特別上映会 「白蘭の歌」東宝映画・満洲映画協会合作 1939(昭和14)年 主演:李香蘭・長谷川一夫	特集:李香蘭と満鉄記録映画集 103分	講堂	43
29年6月24日(土)	午後2時～	「異郷のモダニズムー満洲写真全史ー」特別上映会 「熱砂の誓ひ」東宝映画・華北電影公司合作 1940(昭和15)年 主演:李香蘭・長谷川一夫	特集:李香蘭と満鉄記録映画集 123分	講堂	85

(4)コンサート

年月日	時刻	内容	演奏者等	場 所	参加者
29年5月21日(日)	午後3時～	春のロビーコンサート	セントラル愛知交響楽団【磯貝俊幸(フルート)、神谷知佐子(ハープ)】	地階ロビー	62
29年10月28日(土)	午後5時～	ランス美術館展クラシックの夕べ	セントラル愛知交響楽団	展示室	33
30年1月20日(日)	午後5時～	シャガール展クラシックの夕べ	セントラル愛知交響楽団	展示室	42

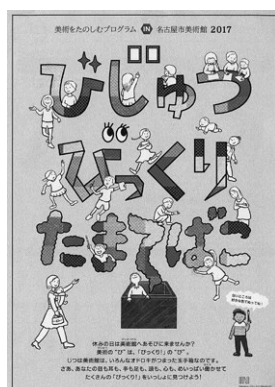
(5)パフォーマンス・ワークショップ

年月日	時刻	内容	講 師 等	場 所	参加者
29年10月20日(金)	午後5時～	ランス美術館展 会場内演劇	演出:エヴァ・クラスカ、出演:日本大学芸術学部演劇学科学生 2名他	会場内	60
29年10月21日(土)	午前10時30分～	ランス美術館展 会場内演劇	演出:エヴァ・クラスカ、出演:日本大学芸術学部演劇学科学生 2名他	会場内	100

2. 子ども対象の事業

(1)学校休業日の体験活動の推進

平成15年度から、長期休業期間を除く学校休業日(土日祝)を対象に、美術や美術館に親しむプログラムを継続して実施している。これは名古屋市教育委員会が平成22年度まで推進してきた「なごやっ子教育推進計画」の後継として策定した「名古屋市教育振興基本計画」の一環で行うものである。平成29年度は前年度の内容改訂を引き継ぎつつ、来館者の利用状況や興味関心、そして運営を支援しているボランティアの意見を取り入れながら、年間4回のプログラムを企画・開催した。



①事前申し込みが必要なプログラム

1) イチおし!

日 時 6月24日(土)午前10時～正午
 対 象 小学生
 参加者数 30名
 スタッフ (学芸員)清家三智
 ボランティア13名

内 容 収蔵作品から特定の1点を取り上げ、作品の良さ、面白さに気づくために丁寧な鑑賞や創作体験に取り組むプログラム。

今回は、普段は屋外に恒久設置されているゴームリー《接近》が改修工事の都合で館内にあり、じっくり鑑賞できる状況を生かして、人体をモチーフにした彫刻作品を取り上げた。グループに分かれて複数の作品を鑑賞した後、全員で《接近》を鑑賞し、先に見た彫刻作品とどんな違い(特徴)があるか、この人物像はなぜ大の字になって地面に寝そべっているのか、などについて参加者と意見交換した。作家の作品づくりに対する考えに想像を膨らませ、もし自分だったら「地球に接近しようとするとき」どんな

姿勢を取るか、実際に各自が身体で表現したポーズを模造紙に写し取り、さらに画材で描き加えるなどして作品に仕立てた。

一つの作品とじっくり向き合うことで、「地球に接近する」という作家の視点のユニークさやスケールの大きさ、自分の身体を使って作品をつくるという発想に気づくことができた。



2) まるごと玉手箱

日 時 11月26日(日)午前10時～正午

対 象 小中学生とその保護者

参加者数 12家族31名

スタッフ (学芸員)清家三智
ボランティア14名

内 容 鑑賞する対象を展示室内の作品から、白川公園内の立体作品へと広げ、以前からあるのに目を向けていないものに意識を向けること、新たに発見したり、不思議に思ったり、「なぜ～なんだろう？」と疑問を持ったりしながら自発的に五感を働かせ鑑賞することをねらいとしたプログラム。

参加家族は4つのグループに分かれ、ボランティアが出すヒントをもとに白川公園に潜んでいる作品を探す。該当する作品を見つけたら、今度は作品の形や色、大きさなど造形的な特徴に関する問いかけに対して考えたり、作品を作った人の意図を想像したりしながら意見交換する時間を設けた。

グループによって鑑賞する作品が異なったため、最後に参加者全員で集まり、印象に残った作品を発表し合うなどして、互いの体験を共有した。



3) びじゅつかん検定

日 時 2018年3月4日(日)午前10時～正午

対 象 小学生

参加者数 13名

スタッフ (学芸員)清家三智
ボランティア9名

内 容 展覧会や美術作品を見た経験はあっても、美術館が何のための施設かを知る機会が少ないことに着目し、参加者に質問を投げかけ、意見を出し合っながら美術館の役割を正しく理解してもらうことをねらいとした。一問一答形式ではなく、複数の答えが考えられるよう設問を工夫し、子どもたちが自分で考えること、想像することに重きを置いたところ、学校で学んだことや普段の生活、ニュースから知っていることなどを結び付けた発言が多く聞かれた。

質問の内容は宝物(=美術作品)を守る工夫に関する事柄と、美術館を楽しむ事柄の2つを用意し、美術館の役割に関することと来館者として楽しむこと両方を知ることが出来るようにした。プログラムの最後は、参加者一人一人に検定合格証を手渡した。

②自由参加プログラム

1) ちびっこオアシス

日 時 2018年1月7日(日)・8日(月祝)
開館時間中随時

対 象 どなたでも(混雑時は乳幼児とその家族を優先)

参加者数 54名 *2日間のべ

スタッフ (学芸員)清家三智
ボランティア6名

内 容 前年度、あいちトリエンナーレ会期中に乳幼児とその家族向けの居場所として開設し好評を得たことを受け、本年度は多くの来場者が見込まれる特別展「シャガール 三次元の世界」会期中の3連休中に実施した。

会場の床に高反発のマットを敷き詰め、靴を脱いで過ごせるスペースを作り、乳児向けの簡単な遊具を用意し「つまむ、はさむ、ひっぱる、つむ」など、将来造形活動に取り組むときに必要となる、手の運動を楽しんで体験できる場を設定した。前回に引き続き、簡易授乳スペースも設置した。

幼児～小学生のこどもに対しては「絵の中にあるもの、どれだ?」と称した鑑賞補助ツールを手作りで用意した。展覧会図録を見ながらシャガール作品に頻繁に登場する題材のイラスト(花嫁姿の女性、教会、ヤギ、ロバ、鶏、魚など)を探してもらう活動を通して、保護者とともに展覧会で印象に残った作品を振り返ってもらうことをねらいとした。

③こどものためのワークシート

日 時 開館中の土曜・日曜・祝日および学校長期休暇期間(89日間)
対 象 小中学生
延べ実績 419枚
参加方法 当日常設展入口で随時受付
内 容 名品コレクション展Ⅰ～Ⅲの各展示内容にあわせて展示作品をじっくり鑑賞するためのヒントやクイズを載せた「こどものためのワークシート」を配布し、取り組んでもらうことで作家や作品への理解を深めた。

(2)夏休みこどもの美術館

改修工事にかかる休館に伴い、休止とした。

(3)その他

①「名古屋市美術館 周辺の彫刻」改訂

「名古屋市美術館 周辺の彫刻」は、美術館周辺および白川公園内に点在する屋外彫刻作品を紹介するリーフレットである。開館した1988年から2005年までの間に4回ほど改訂・増刷が行われたが、近年は予算縮減の影響でそれが叶わず、残部僅少となった後は館内での配布を控えていた。

しかし、こども向け教育普及プログラムや名古屋まつりにおけるボランティアイベント等で来館者へ紹介する機会が定期的であり、展示室内の所蔵作品と同様に、屋外設置の彫刻作品も積極的に紹介すべきとの考えが学芸員、ボランティアの両者に高まりつつあった。そこで平成29年度、改修工事にかかる休館に伴い休止した「夏休みこどもの美術館」の予算を用いて、改訂・増刷に取り組むことになった。

改訂にあたっては、名古屋市美術館ボランティアから有志を募り、意見交換をしながら現状の把握と問題点の整理を行った。国内外の美術館における屋外彫刻マップの作成例などを持ち寄り参照しながら今回の方針をまとめ、改訂を行った。

[B 4 変型判、観音折(8面)、両面カラー印刷、10,000枚作成/館内で無償配布]

②「名古屋市美術館 建築の見どころ」作成

名古屋市美術館は、その建築自体が建築家・黒川紀章による一つの作品である。これまでも建築を学ぶ学生や、海外からの視察を受け入れる機会があり、名古屋まつりにおけるボランティアイベントでも建物ツアーは好評を得ていた。しかし、美術館の公式な案内刊行物は開館時に作成された一枚物(三つ折り)の印刷物のみで、改訂・増刷された形跡はなかったことから、美術館の建築の見どころを紹介する冊子を今回新たに作成した。

作成にあたっては、名古屋まつりにおけるボランティアイベントで実際に建物ツアーの運営に関わっていたメンバーに協力を仰ぎ、黒川紀章の建築思想や名古屋市美術館の特徴を整理し、分かりやすく紹介する工夫について話し合った。

[A 5 判16ページ、中綴じ、カラー印刷、2,000部作成/館内で無償配布]

(4)芸術と科学の杜

「芸術と科学の杜」とは、名古屋市美術館と科学館が連携して、市民の豊かな感性と創造力を育む魅力ある事業を継続して実施するとともに、白川公園周辺の文化施設や地域とも協力して連携の輪を広げることで「芸術と科学を中心にさまざまな文化が融合し、新しい文化を生み出すまち」の形成を目指すものである。

この事業の目的を実現するため、地元商店街や周辺の施設、関係機関で構成する「芸術と科学の杜連携推進会議」を設立し、今年度は以下の事業を実施した。

サイエンス&アートフェスティバル 「アート大会」

日時 11月3日(金・祝)・4日(土)午前10時～午後4時

場所 白川公園

参加者数 3,210名

内容 ①魔法ペンとミラーカードで、キラキラ・サンクンガーデン!

ミラーカードに蓄光ペンで字や絵を描き、暗室で見てもらうとともに、キラキラ光るサンクンガーデンを作り上げるもの。

②ラインをたどって、なぞをとこう!

美術館の周りにある黒のラインをたどり出題されたクイズを解きながら行うスタンプラリー。

③はじけるパウダーで大きな地上絵をかこう!

5色のカラーパウダーが付いたスポンジを、参加者に舞台の上から空気入れを使って発射もらい、地上絵を描くもの。



地元連携事業

町内会イベントへの参加:「買いにおいでー」「広小路夏祭り」

地元交流事業

特別展会期中、地元の方を招待し、担当学芸員の作品解説の後、会場内の観覧を楽しんでいただいた。

(1)ランス美術館展

ア 開催日 平成29年11月17日(金)午後6時20分～午後8時

イ 参加者 51名

(2)シャガール展

ア 開催日 平成30年1月19日(金)午後6時20分～午後8時

イ 参加者 60名



3. 学校対象事業

(1) ボランティアによる学校団体向けガイドトークの実績

平成30年度学校団体受入

No.	日時	曜日	団体名	見学者数(生徒数)	引率者数	対応ボランティア数
1	5月10日	水	美濃加茂中学校2年生	52	3	6
2	5月12日	金	岐阜県立岐阜各務野高等学校情報科1、2年生	75	6	10
3	10月17日	水	豊岡小学校6年生	63	3	8
4	10月25日	水	極楽小学校6年生	73	2	8
5	11月8日	水	愛知教育大学附属名古屋小学校2年生	102	4	6
6	11月10日	金	一宮市立今伊勢小学校5年生	144	5	8
7	11月15日	水	戸田小学校6年生	118	4	8
8	11月22日	水	南押切小学校、栄生小学校、榎小学校3年生	93	7	8
9	1月12日	金	山吹小学校5年生	83	3	8
10	1月26日	金	供米田中学校1年生	36	0	6
11	1月31日	水	三重県立飯野高等学校応用デザイン科2年生	75	4	8
12	2月2日	金	豊田市立中山小学校5年生	96	3	8
計				1010	44	92

(2) アートカード貸出実績

平成29年度 アートカード保管校一覧

区	学校名	担当の先生	ケース数	保管ケース番号
千種区	城山中	森田 進午	3	2、3、4
東区	山吹小	林 まゆ	3	1、5、6
北区	名北小	鈴木さやか	4	7、8、9、10
西区	なごや小	樋田 裕二	4	11、12、13、61
中村区	笹島中	川松 仁子	3	14、15、16
中区	新栄小	滝 純	3	17、18、19
昭和区	駒方中	松岡 健児	3	20、21、22
瑞穂区	萩山中	水谷 恵美	3	23、24、25
熱田区	日比野中	長崎由利子	3	26、27、28
中川区	はとり中	校條 敬子	4	29、30、
	山王中	大鹿公仁子		31、33
港区	東築地小	加藤久仁夫	3	34、35、36
南区	豊田小	佐々木めぐみ	2	62、63
守山区	志段味西小	檜山 雄大	4	42、43、44、45
緑区	東丘小	原 敏史	5	46、47、48、49、50
名東区	猪高小	栗原 好江	4	51、52、53、54
天白区	表山小	宮地 千加	4	55、56、57、58

平成29年度 アートカード直接貸出実績一覧

No.	学校・団体名	期間	ケース数
1	(株)デンソー	4月22日～5月12日	1
2	松原小トワイライトスクール	4月22日～4月28日	1
3	刈谷市立住吉小学校	10月29日～11月24日	2
4	個人(愛知教育大学学生)	1月17日～1月24日	1

計4件、5セット貸出

平成29年度 アートカード保管校別貸出実績一覧

区	貸出先	ケース数	貸出期間
千種	見付小学校	1	3月末(予定)
東	愛知教育大学付属名古屋小学校	3	8月～11月
北	味鏡小学校	2	2月15日～3月返却予定
西	なごや小学校(4年生)	4	6月26日～7月3日
	なごや小学校(3年生)	4	7月10日～7月17日
中村	(なし)	0	
中	(なし)	0	
昭和	(なし)	0	
瑞穂	豊岡小学校	1	9月2日～3月22日
	穂波小学校	2	12月8日～2月16日
熱田	白鳥小学校	2	3カ月(時期不明)
中川①	西前田小学校	1	通年
中川②	(なし)	0	
港	東築地小学校	2	6月1日～6月8日
南	(なし)	0	
守山	苗代小学校	2	8月22日～10月3日
緑	大高北小学校	2	8月24日～9月29日
	相原小学校	2	9月19日～10月20日
	戸笠小学校	2	11月30日～12月15日
	相原小学校	2	1月18日～2月28日
名東	(なし)	0	
天白	平針小学校	2	6月14日～6月21日

計16件、34セット貸出

(3)出前アート体験

①緑区・太子小学校

プログラム名 名画の秘密をさぐる
日 時 6月6日(火)午前10時40分～11時40分
場 所 多目的室
学 年 4学年3クラス(87名)
講 師 中村暁子(名古屋市美術館学芸員)
授業内容 メキシコの女性画家フリーダ・カーロの《死の仮面を被った少女》(1938年、名古屋市美術館蔵)を採り上げた。まず、世界地図を投影し、メキシコがどこにあるかを確認。その後、メキシコという国について話をした。次に、《死の仮面を被った少女》を見せ、何が描かれているかをじっくり観察し、この少女はなぜここに一人でののか、どんな気持ちかなどを考えてもらった。続いて、フリーダ・カーロの写真と作品を見せて、彼女の人生となぜこの絵を描いたのかについて話をした。また、メキシコのお祭りである「死者の日」の話も交えながら、メキシコの死生観にも触れた。最後に再び《死の仮面を被った少女》を見てもらい、この絵を見てどう思ったかを何人かに発表してもらった。子供の意見を引き出しながら、美術作品というものに触れ、それがどのような背景のもとに描かれたかを知り、絵画に親しみつつ自分なりに考える授業とした。

②天白区・植田小学校

プログラム名 アートカードで学ぼう
日 時 6月20日(火)午前9時45分～10時30分、
午前10時50分～11時35分
場 所 図工室
学 年 5年生3クラス(90名)
講 師 保崎裕徳(名古屋市美術館学芸係長)
スタッフ ボランティア6名
授業内容 90名と参加児童が多かったため、半分に分けて2回同じ内容でアートカードを使った授業を行った。各回とも児童を6グループに分け、各グループに当館ボランティアが1名ついて以下の活動を支援した。

(1)3つのヒントゲーム

ボランティアが事前に用意した読み札「3つのヒント」を順番に読む。児童はそのヒントにふさわしい作品がどれか、場に広げた50枚のアートカードの

中から探して当てる。活動の導入として、主体的に参加しやすい雰囲気をつくり、細部の観察を意識させることを目的として実施した。

(2)作品をプレゼントしよう

50枚のアートカードの中から、担任の先生にプレゼントするとしたらどれがいいか、グループで相談して選ぶ。作品を選んだ理由と、作品の良いところ(その作品にしかない特徴)を考える。作品に対して自分なりのイメージをもち、その理由を造形的な特徴と結び付けて説明できることを目的として実施した。

(3)自分がほしい作品はどれ?

50枚のアートカードの中から、個人でほしいものはどれかを選び、その理由と作品の特徴を、美術館が設問を用意したワークシートに記入する。(2)と同じ目的だが、(2)では他者の意見も聞いて見方を広げる、または自分の見方と違う意見があると気付くことに重点があったのに対して、この(3)では、文章にすることで自分の見方をまとめ、自信を持つことに重点を置いた。

*60枚1セットのアートカードを50枚に減らして授業を行った。

③港区・野跡小学校

プログラム名 アートカードで学ぼう
日 時 6月23日(金)午前9時45分～10時45分
場 所 多目的室
学 年 3年生2クラス(38名、うち1クラス特別支援学級1名)
講 師 角田美奈子(名古屋市美術館学芸員)
スタッフ ボランティア5名
授業内容 名古屋市美術館を例にして美術作品と美術館について紹介したあと、5つのグループに分かれて、「図画工作」の指導要領に記された目標(主に、[共通事項]、ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じをとらえること。イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。)に配慮した課題(寒暖計ゲーム)に取り組んだ。担任教諭から鑑賞のポイントを理解させる授業内容であって欲しいという依頼が更に付け加えられていたため、ある観点から作品を良く見ることを通して作品への理解を深めていく内容とした。親しみ易さやイメージの膨らませ易さを考慮して、寒暖計ゲームの「寒い」「暖かい」を「冬」と「夏」に置き換

え、「夏の日・冬の日」と題して授業を行った。

グループごとに導入として60枚の全カードを良く見させたあと、各自がそれぞれ夏と冬を感じるカードを1枚ずつ選び、選択の理由を述べ合う。その後、寒暖計ゲームの要領でそれぞれが選んだカードを最も暑いと感じるものから最も寒いと感じるものに話し合いながら順に並べるところまでを行った。活動を通して各自の見方や感覚に違いのあることへの気づきを促し、着眼点によって同一の作品が夏にも冬にも成り得ることを体験させた。

これらの活動を通して児童ひとりひとりの想像力を刺激するとともに、グループ活動のなかで互いの発想を共有し、異なる感覚や意見への理解と共感を育む機会とし、あわせて自分なりに作品を楽しみ味わう観点への気づきを促す機会とした。

④緑区・大高北小学校

プログラム名 名画の秘密をさぐる

日時 9月21日(木)午前10時50分～11時35分

場所 教室

対象学年 3年生2クラス(53名)

講師 笠木日南子(名古屋市美術館学芸員)

授業内容 人物を描くときにその人のどんなところをどんな風に表現しているかを考えることをねらいとした。サルバドール・ダリのだまし絵①《イメージが消える》習作 1938年と、②《海辺に出現した顔と果物鉢の幻影》1938年を紹介。絵の中に隠れているダブル・イメージを見つけてもらい、絵に描かれているものをよく見る練習をした。次に③サルバドール・ダリ《焼いたベーコンのあるやわらかい自画像》1941年と④藤田嗣治《自画像》1929年を紹介し、それぞれ自分を描く時にどのような自分を演出して表現しているかを考えてもらい、リアルに描くということが重要ではなく、どのような自分を見せるかということが表現のポイントになっていることを紹介した。⑤ピカソの泣く女シリーズから4点を見比べて、泣くという感情にも強弱があったり、雰囲気が変わったりしていることを読み取り、さらにピカソの表現の違いをよく理解するために、それぞれ、子どもたちが絵をよく観察して実際に絵の

中の人物になって泣き方の違いを実演してもらった。

⑤千種区・千代田橋小学校

プログラム名 名画の秘密をさぐる

日時 10月13日午前11時～12時

場所 多目的室

学年 3年生3クラス(81名)

講師 深谷克典(名古屋市美術館副館長)

授業内容 この授業では、ピカソ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、モディリアーニの三人の画家の作品を紹介しながら、それぞれの画家がどのような狙いで作品を描いているのかを説明した。時代も表現方法もそれぞれ異なる三人の作品だが、魅力はどこにあり、なぜそのような描き方をしたのか子供たちに考えさせた。また最後にモディリアーニの真作と贋作の図版を紹介し、どちらが真作であるかを考えさせた上で、どのようにすれば真作と贋作の区別がつくのか、その方法について具体例を挙げて説明した。

⑥千種区・見附小学校

プログラム名 美術から異文化を知ろう

日時 10月25日(水)午前9時40分～10時25分

場所 多目的室

対象学年 4年生3クラス(82名)

講師 竹葉丈(名古屋市美術館学芸員)

授業内容 名古屋市美術館所蔵作品フリーダ・カーロ(1907-1954)の《死の仮面を被った少女》の図版を見せて授業を進める。何が描いてあるか、画面全体から細部に到るまでを辿り、その後に少女が被る骸骨(=死)の仮面の意味を、メキシコの死生観に照らし合わせて解説。さらに少女が手にしている花(マリーゴールド)が、現世とあの世をつなぐ象徴として、メキシコの民族行事「死者の日」に於いて重要な意味を持つことを解説し、その行事を日本の「お盆」と比較する。次に少女の足元に置かれたジャガーの仮面に込められた意味について紹介し、「骸骨」のイメージとともに、メキシコに於ける仮面の意味と特性について検証した。最後に、作者であるフリーダ・カーロの境遇と制作活動を紹介、この絵の成り立ちについて解説することによって、当作品を初めて見た時に感じ

た怖さを払拭し、その奥深さと悲しさを確認した。

⑦緑区・黒石小学校

プログラム名 名画の秘密をさぐる
日 時 2018年1月11日(木)午前10時50分～11時35分
場 所 視聴覚教室
対象学年 4年生2クラス(45名)
講 師 井口智子(名古屋市美術館学芸課長)
授業内容 最初に、モディリアアーニの《おさげ髪の少女》など名古屋市美術館の所蔵作品を示しながら名古屋市美術館を紹介した。また「美術館」がどんなところであるかを簡単に説明した。続いて、1876年にクロード・モネが描いた《ラ・ジャポネーズ》を取り上げ、児童に描かれているもの(着物やうちわなど)を見つけてもらいながら、一緒に作品をよく観察した。そしてモネ以外の画家も日本に関心を寄せたことを、関連した作品を紹介しながら解説した。事前打合せで、児童がファン・ゴッホになじみがあると伺っていたので、ファン・ゴッホが歌川広重の浮世絵をもとに描いた作品も取り上げた。モネやファン・ゴッホのように世界的に知られる画家も、様々なことに興味を持ち、それらを取り入れて自分の絵を作り上げていったことを話し、いろいろなことに関心を持ち、参考にしながら工夫することで、自分らしい作品を作ることができることを伝えた。スクリーンへの投影のため絵がややぼやけてしまい観察しづらいところがあったが、児童からの積極的な発言を受けながら、授業を進めることができた。

(4)就業・職業・職場体験及び職場訪問受け入れ

対 象 中学校・高等学校 生徒
内 容 【体 験】総務課、学芸課の業務内容を知るとともに、清掃、警備、案内監視、施設管理等の業務内容を知り体験する。
 【訪 問】館内施設の見学をするとともに、疑問点についてインタビューを行い美術館に関する理解を深める。

実 績

実施日	内容	学校名	学年	人数
29年6月13・14日	体験	豊田市立竜神中学校	2年	1
29年11月14・15日	体験	名古屋市立若宮商業高校	2年	4
30年1月16・17日	体験	名古屋市立汐路中学校	2年	5
30年1月18・19日	体験	名古屋市立高針台中学校	2年	4
30年1月23・24日	体験	名古屋市立猪高中学校	2年	4
30年1月25・26日	体験	名古屋市立東陵中学校	2年	3
30年1月30・31日	体験	名古屋市立大森中学校	2年	5
29年5月16日	訪問	桑名市立陽和中学校	2年	5
29年5月17日	訪問	岐阜市立中央中学校	2年	5
29年6月15日	訪問	桑名市立光陵中学校	2年	7
29年6月21日	訪問	垂井町立不破中学校	2年	6
29年10月20日	訪問	名古屋市立左京山中学校	1年	10
29年11月30日	訪問	愛西市立佐屋中学校	1年	2
29年12月19日	訪問	名古屋市立北陵中学校	1年	6
30年1月24日	訪問	名古屋市立千種台中学校	1年	7
30年2月6日	訪問	第一学院高等学校	1・2年	6
30年2月8日	訪問	名古屋市立天白中学校	1年	14
30年2月9日	訪問	名古屋市立平田中学校	1年	7

(5)その他

トワイライトスクール／ルームでの出前事業

「トワイライトスクール／ルーム」は名古屋市内各小学校の空き教室等を利用し、放課後から保護者の帰宅時間まで、低学年を中心に児童を預かる事業のことで、市が公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会に運営を委託している。

以前から美術館では教育委員会が行う全市的事业「その道の達人派遣事業(美術館：出前アート体験)」に従事し、希望する市内の小中学校で授業を行ってきた。本事業は内容を従来のものより簡易化し、トワイライトスクール／ルームとの連携事業として実施することで、児童やその保護者に館の活動に対する認知度を高め、美術への関心を持ってもらおうという趣旨である。

平成29年度は、改修工事にかかる休館で団体鑑賞の受け入れやボランティアのガイド活動がない期間(6月26日(月)～10月6日(金))中に、下記の8校で実施した。

①熱田区・野立小学校トワイライトスクール

日 時 7月3日(月)午後3時30分～4時30分
参加者数 1～4年生31名
スタッフ 当館ボランティア6名
企画運営 清家三智(当館学芸員)

内 容 ①たんていゲーム

アートカード60枚を図柄が見えるように広げる。作品画像の一部を切り取って拡大したものを提示し、児童はそれがどの作品のどの部分かを探し当てる。お手付きしたときは、どこで間違えたのかをグループで一緒に考える。

②わたしはだれでしょう？

アートカード60枚を図柄が見えるようにして場に広げる。学芸員が、ある作品の登場人物または生き物になりきり、見つけてもらうためのヒントを提示する（全部で3つ）。児童はそれぞれのヒントをよく聞き、すべてに当てはまる作品カード（と「私」は誰／何か）を探し出す。まぎらわしいカードも含まれるが、お手付きの場合は「どこで間違えたのか」を正解と見比べて確認し合う。

③仲間を集めよう！

カードは図柄が見えるよう場に広げる。学芸員から出されるテーマに該当するものを、内容をよく観察して選び出す。カードの取り合いにならぬよう、順番を決め、1人ずつ発表する。判断に迷ったときは、グループ内で話し合っ決めて。テーマの例としては、「作品に登場する人物の数」「人物の持ち物(帽子、花など)や服装」「風景の種類」など。

②名東区・藤が丘小トワイライトルーム

日 時 7月6日(木)午後3時～4時

参加者数 1～4年生31名

スタッフ 当館ボランティア8名

企画運営 清家三智(当館学芸員)

内 容 ①たんていゲーム

②わたしはだれでしょう？

③仲間を集めよう！

*野立小学校での実施内容と同様。

③千種区・星ヶ丘小トワイライトスクール

日 時 7月10日(月)午後3時10分～4時10分

参加者数 1～3年生19名

スタッフ 当館ボランティア4名

企画運営 清家三智(当館学芸員)

内 容 ①たんていゲーム

②わたしはだれでしょう？

③仲間を集めよう！

*野立小学校での実施内容と同様。

④守山区・小幡小トワイライトルーム

日 時 7月13日(木)午後3時～4時

参加者数 2～4年生47名

スタッフ 当館ボランティア8名

企画運営 清家三智(当館学芸員)

内 容 ①たんていゲーム

②3つのヒント「私は誰でしょう？」

③仲間を集めよう！

*野立小学校での実施内容と同様。

⑤瑞穂区・豊岡小トワイライトスクール

日 時 7月18日(火)午後3時～4時

参加者数 1～3年生38名

スタッフ 当館ボランティア6名

企画運営 清家三智(当館学芸員)

内 容 ①たんていゲーム

②わたしはだれでしょう？

③仲間を集めよう！

*野立小学校での実施内容と同様。

⑥中村区・米野小トワイライトスクール

日 時 7月19日(水)午後3時～4時

参加者数 1～3年生40名

スタッフ 当館ボランティア6名

企画運営 清家三智(当館学芸員)

内 容 ①たんていゲーム

②わたしはだれでしょう？

③仲間を集めよう！

*野立小学校での実施内容と同様。

⑦南区・笠寺小トワイライトルーム

日 時 9月4日(月)午後3時～4時

参加者数 1～4年生38名

スタッフ 当館ボランティア8名

企画運営 清家三智(当館学芸員)

内 容 ①たんていゲーム

②わたしはだれでしょう？

③仲間を集めよう！

*野立小学校での実施内容と同様。

⑧中川区・西前田小トワイライトスクール

日 時 9月7日(木)午後3時30分～4時30分

参加者数 1～3年生31名

スタッフ 当館ボランティア6名

企画運営 清家三智(当館学芸員)

内 容 ①たんていゲーム

②わたしはだれでしょう？

③仲間を集めよう！

*野立小学校での実施内容と同様。

2 ボランティア

今年度は10期のボランティアを募集し、42名の応募の中から選考や養成講座を経て18名が新たに美術館ボランティアとして登録することとなった。

主な活動は、常設展示室でのギャラリートークや、学校休業日の教育プログラムにおける美術鑑賞体験の支援など通常の出前授業の他に、トワイライトスクールでもアートカードを使った鑑賞学習体験を実施した。

また、名古屋まつり開催日の日曜日には、常設展を無料開放するほか、ボランティアによる「ボランティアまつり」を開催した。ボランティア有志による企画であり、彫刻や建物ガイド、アートカードを使ったゲームなどを実施し、来館いただいたお客様に美術鑑賞を楽しんでいただくとともに、ボランティア活動についても周知することができた。

多くのメンバーで安定した活動運営ができる一方で、一人当たりの活動の機会を確保することや、ガイドの質やレベルを平準化することが今後の課題となるが、美術館としては、ボランティアが安心して活動に積極的に取り組めるよう支援していくことが責務である。

(1)ボランティア登録者(2018年3月31日現在)

第5期:佐藤紀子、鈴木律子、瀧川友子、野口健弘、引地順子、藤井万巳、村松敦子、森和美、山田優子 ほか、計14名

第6期:伊藤えつ子、荻野知恵子、梶田清美、加藤枝里香、坂井千恵 ほか、計9名

第7期:池本せい子、今井康夫、遠藤明子、太田美奈、加藤久子、末原みとせ、蔦森敦子、中川和彦、平尾真実、三浦有美、三島悠、安原栄里、横井文代、吉川優実 ほか、計19名

第8期:伊藤蘭子、内海典子、川合幸代、神田初美、柴田順三、杉原和夫、杉山要、谷村満智子、都築祥子、道家千津子、中山越子、廣瀬千明、福田慶恵 ほか、計23名

第9期:伊藤和子、魚住千加子、可児理佳、北村滋規、近藤理恵、下田薫子、鈴木浩司、田島民子、恒川明美、廣瀬典子、前澤真奈美、目加田頼子、安江秀明、吉村由紀江、米本有里、渡辺順子、渡會真奈美 ほか、計21名

(2)定例会

定例会は原則として毎月第2土曜日の午前中に開催した。ボランティア間の連絡・調整の他に以下のような研修を行った。

日 時	時 間	内 容	講 師
4月8日	午前10時～12時	係活動の話し合い	ボランティア
5月13日	午前10時～12時	ディスクリプションの復習	保崎学芸係長
6月10日	午前10時～12時	博物館学への誘い～美術館再発見?!	井口学芸課長
7月8日	午前10時～12時	郷土の現代美術(ハプニング除く)について	清家学芸員
8月5日	午前10時～12時	作家の話を聞くー森眞吾のつぶやき	森眞吾氏
9月9日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅱについて	竹葉学芸員/中村学芸員
10月14日	午前10時～12時	中村正義について	深谷副館長
11月11日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅲ(前期)について	保崎学芸係長/笠木学芸員
12月9日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅲ(前期)会場説明会	保崎学芸係長/笠木学芸員
1月13日	午前10時～12時	名古屋のシュルレアリスムについて	保崎学芸係長
2月10日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅲ(後期)について	保崎学芸係長
3月10日	午前10時～12時	来年度の名品コレクション展Ⅰについて	笠木学芸員

(3)ガイド活動

①常設展ギャラリートーク

休館日を除く毎日(午前11時～・午後2時～)、一般を対象とした約1時間のガイドツアーを各日ボランティア2名が担当した。

活動日数 192日間

参加数 延べ1,148名

②特別展ギャラリートーク

特別展ギャラリートークは、ボランティアに参加の希望を募り、展覧会ごとに担当を分けて行う。ギャラリートークの開催日、開始時間、方法などは、担当ごとに選出するまとめ役を中心にした話し合いによって決定する。登録後2年を経過したボランティアのメンバーが活動している。一般を対象とした約1時間のガイドツアーであり、ボランティア2名が組となり、会

場入口で参加者を募りグループを編成して1日につき2回実施する。

a) アドルフ・ヴェルフリ 二萬五千頁の王国

開催日 4月2日、9日、12日、15日(計4日)
時間 午前10時30分～/午後1時30分～
担当 5期:1名、6期:1名、7期:2名、8期:2名 計6名
参加数 延べ156名

b) 異郷のモダニズム—満洲写真全史—

開催日 5月20日、21日、25日、30日、31日、6月2日、4日、8日、9日、11日、13日、14日、15日、18日(計14日)
時間 午前10時30分～/午後1時30分～
担当 5期:1名、6期:1名、7期:4名 計6名
参加数 延べ328名

c) ランス美術館展

開催日 10月15日、18日、24日、28日、29日、11月2日、5日、7日、9日、12日、15日、18日、23日、25日、30日(計15日)
時間 午前10時00分～/午後1時00分～
担当 5期:4名、6期:2名、7期:1名、8期:3名 計10名
参加数 延べ801名

d) シャガール展:三次元の世界

開催日 12月23日、28日、1月7日、10日、11日、14日、18日、20日、23日、25日、31日、2月8日(計12日)
時間 午前10時30分～/午後1時30分～
担当 5期:3名、7期:2名、8期:3名 計8名
参加数 延べ857名

e) 真島直子 地ごく楽

開催日 3月11日、15日、17日、18日、21日、23日、27日、31日(計8日)
時間 午前10時30分～/午後1時30分～
担当 5期:2名、6期:1名、7期:2名、8期:3名 計8名
参加数 延べ225名

(4) サポート活動 系の活動

・研修係

館内研修として1月21日に勉強会「中村正義《男女》

をめぐって」を実施した。館外研修は、11月9日に養老天命反転地を見学、12月1日に稲沢市荻須記念美術館にて「荻須高德展 全コレクションによる」を担当の大原万季同館学芸員のギャラリートークとともに鑑賞した。また、定例会におけるレクチャーのうち研修係企画として8月定例会において作家の森真吾氏を講師とする「作家の話を聞く—森真吾のつぶやき」を実施した。

・資料係

常設展の展示替えごとにギャラリートークの参考となる資料を選別してボランティアに配布したり、特別展ギャラリートーク等で使用した図書資料やコレクション解析学等の展示会の記録を収集し、後に参照しやすいよう整理して保存するなど、資料の管理全般に携わった。

・体験活動係

年4回開催される「キッズの日」各プログラムの実施に際し、スタッフの募集や実施までの連絡調整、教材の下準備、参加者との対話を中心とした当日の運営サポート、実施後のボランティア定例会での活動報告を主に担当した。当日の円滑な事業運営や鑑賞対象となる作品への理解を深めるため、事前打ち合わせやギャラリートークの自主練習を行うとともに、実施後の記録や意見交換を通じてプログラムの改訂にも取り組んだ。

・団体対応係

学校団体等による常設展の鑑賞を円滑に進めるため、参加するボランティアの調整などの取りまとめを行った。また、4回の自主勉強会や一年間の活動の振り返りを行い、各ボランティアの経験を共有するとともに、現在の団体対応の課題やギャラリートークの改善点などについて話し合った。

(5) 第10期ボランティア養成講座内容

ボランティア活動を維持し、新たに多くの方々にボランティア活動を体験していただくため、第10期ボランティアの募集を行った。選考の結果21名をボランティア養成講座受講者として、下記のようにボランティア養成講座を行った。ギャラリートークの体験と実践練習では活動中のボランティアにも協力を得ている。ボランティア養成講座は3月に終了し、18名が正式に名古屋市美術館ボランティアに登録した。(活動開始は、平成30年4月1日からである。)

〈養成講座スケジュールと内容〉

【第1回】10月21日(土)午後1時～4時

- 美術館代表者の挨拶（深谷副館長）
- 職員紹介（深谷副館長）
- 名古屋市美術館の概要、美術館の4つの機能、コレクションと常設展について（井口学芸課長）
- 館内見学①（長谷川主事、角田学芸員）
- 受講者自己紹介（長谷川主事）
- 今後の講座内容について、基本資料の配付と説明（長谷川主事、角田学芸員）

【第2回】10月28日(土)午後1時～4時

- 所蔵作品について①：〈エコール・ド・パリ〉（深谷副館長）
- 教育普及活動について（清家学芸員）
常設展・特別展ギャラリートーク／子ども向け教育普及事業、団体鑑賞、出前アート体験／その他（解析学、アートカードなど）
- ディスクリプション（観察と言語描写）について（保崎学芸係長）
課題 ディスクリプション実践

【第3回】11月18日(土)午後1時～4時

- 所蔵作品について②：〈メキシコ・ルネサンス〉（竹葉学芸員）
- ギャラリートークの作り方①（角田学芸員）
課題 ギャラリートークプラン作成：〈エコール・ド・パリ〉

【第4回】12月2日(土)午後1時～4時

- 常設展ギャラリートーク体験（保崎学芸係長、当館ボランティア）
- ギャラリートークの作り方②（清家学芸員）
課題 ギャラリートークプラン作成：〈エコール・ド・パリ〉

【第5回】12月16日(土)午後1時～4時

- 所蔵作品について③：〈現代の美術〉（笠木学芸員）
- 模擬ギャラリートーク① [説明型／エコパリ、メキシコ]（学芸担当職員）
課題 ギャラリートークプラン作成：〈現代の美術〉

【第6回】2018年1月6日(土)午後1時～4時30分

- 所蔵作品について④：〈郷土の日本画〉（保崎学芸係長）
- 模擬ギャラリートーク② [対話型1回目／現代の美術]（学芸担当職員）

- 4月からのボランティア活動の意志確認について（長谷川主事）
課題 ギャラリートークプラン作成：〈郷土の日本画〉

【第7回】2018年1月20日(土)午後1時～4時30分

- 所蔵作品について⑤：〈郷土の洋画〉（中村学芸員）
- 模擬ギャラリートーク③ [対話型2回目／郷土の日本画]（学芸担当職員）
- 活動意志確認書の提出、活動希望表記入のしかた（長谷川主事）
課題 ギャラリートークプラン作成：〈郷土の洋画〉

【第8回】2018年2月3日(土)午後1時～4時

- アートカードを使った出前授業の指導法（清家学芸員）
- コレクション理解度チェックテスト（角田学芸員）
- 世話人の選出（長谷川主事）
- 口座振替用紙の配布、説明（長谷川主事）

【第9回】2018年2月17日(土)午後1時～4時

- 常設展示室でのギャラリートーク実践 [対話型3回目／エコパリ、メキシコ、現代、郷土]（学芸担当職員、当館ボランティア）
- 常設展示室での諸注意（学芸担当職員）
- 口座振替用紙の回収

【第10回】2018年3月10日(土)午後1時～4時

- 活動に際して
 - ・名簿の押印等の事務手続きなど（長谷川主事）
 - ・活動マニュアル類の説明（清家学芸員）
- 館内見学②（長谷川主事、角田学芸員）
- 修了式（深谷副館長）
 - ・挨拶および研修修了証、登録証授与（早瀬館長）
- * 4月以降の活動に備えて、午前10時からのボランティア定例会（次年度常設展レクチャー）にも出席を求める

(6)その他

ボランティアによる名古屋まつり特別企画

- | | |
|------|---|
| 日 時 | 10月22日(日) |
| 場 所 | 常設展示室1・2、屋外美術館敷地内など |
| スタッフ | ボランティア23名 |
| 補 佐 | 角田美奈子・保崎裕徳・清家三智(当館学芸員) |
| 内 容 | 常設展が無料開放となる「名古屋まつり」の日程にあわせて、特別なイベントで来館者に美術と親しんでいただくと同時に、ボランティアによるギャラリートークをより多 |

くの人に知っていただくという趣旨の企画。今年度は以下の2種類のイベントを実施した。各イベントとも前日までの申込は不要の自由参加とした。なお、常設展のギャラリートークも午前11時～12時と午後2時～3時に通常通り実施した。

①**建物・彫刻ガイド**…黒川紀章設計の建築の特徴ある箇所をめぐるガイドトークと地階ロビーを中心とする彫刻をめぐるガイドトークを行った。当日は台風による悪天候のため屋外でトークをすることができず、屋内で展開できるトーク内容となった。それぞれを午前10時～11時、午後1時～2時、午後3時～4時の3回実施した。参加ボランティアは12名、トーク参加者は彫刻ガイド30名、建物ガイド14名の計44名。

②**英語ギャラリートーク**…名古屋まつり開催時には比較的多くの外国人が来館することから、英語で常設展の作品を紹介するギャラリートークを実施した。ギャラリートークは英語で会話ができるボランティアが担当したが、トークへの参加を英語で促すインフォメーション活動も基礎的な英語のできるボランティアが行った。トークは午前10時～11時、午後1時～2時、午後3時～4時の3回実施した。参加ボランティアは11名（うち4名がトーク担当）、トーク参加者は計9名。

・高齢者施設訪問

平成29年度は改修工事にかかる休館に伴い、6月末から10月初旬までの間、定例会を除き、通常のボランティア活動が休止状態となった。このことは前年度からボランティアにも予告し、当該期間中に組みたい活動があれば提案するよう呼びかけていたが、団体対応係を中心に、高齢者施設での出前プログラム実施を希望する声が多かった。

美術館と同じ教育委員会の管轄である学校とは異なり、普段関わりの少ない施設であることから、受け入れ先の検討には時間を要した。過去に団体見学という形で定期的に美術館を利用していただいていた高齢者施設に連絡を取り、今回の活動に対する関心について尋ねたところ、市内2施設の協力を得られることとなった。

今回の活動は、日頃から家族の介護等で高齢者施設に足を運ぶことのあるボランティアが、そこでの様子

を見聞きし、学校団体対応や子ども向けプログラムでの経験を照らし合わせ、何か自分たちにはできないことはないかと継続的に考えていたことが発端になっている。そのため企画内容についても極力ボランティアの自主性を尊重し、訪問先の施設職員のアドバイス等を参考に、自分たちでよりよい活動を意見交換しながら検討するよう促した。美術館職員にとっても、高齢者ならではの支援が必要なポイントを認識・整理する良い学びの機会となった。当日の司会進行もボランティアが務め、学芸員は先方との連絡調整などの後方支援を担当した。

①日 時 9月19日(火)午後3時～4時

会 場 名東区内デイサービスセンター

対 象 デイサービス利用者35名

スタッフ ボランティア15名

学 芸 員 保崎裕徳(学芸係長)、清家三智

活 動 「所蔵作品カード(名古屋市美術館アートカード)を使った絵探し」と「所蔵作品ぬり絵」2つの活動を用意し、利用者に概要を説明する。活動への参加の意思確認、参加したい活動の選択をさせた後、それぞれの活動場所へ移動して活動を始める。

A「所蔵作品カードを使った絵探し」では、カルタの要領で美術館ボランティアが読み札をゆっくり読み上げ、利用者はそれをよく聞き、内容の一致するカードを探して取る。取ったカードは全員に回して図柄の確認をした。

普段、学校の授業で使用するアートカードは1束60枚だが、視力が衰えた高齢者に視認しづらい(緻密すぎる、輪郭線や色のコントラストが弱い、など)図柄や、抽象絵画など馴染みが薄いであろう図柄は事前準備の段階で省き、会場の広さなどの状況も考慮しつつ、29枚に絞って活動を行った。

参加者は、施設で普段から親しんでいる「いろはカルタ」とは異なる見慣れないカードに戸惑い、最初のうちは読み札の文章に合う図柄を探すのに時間がかかったものの、慣れるに従って視線を動かしながらカードを探すようになり、正解のカードを手にとっては興味深く眺めていた。

B「所蔵作品ぬり絵」は、3種類用意したぬり絵(川合玉堂《秋嶺白雲》、三岸好太郎《海と射光》、渡辺幾春《蓄音機》)の図柄を利用者

に見せ、各自が作品を選んで取り組む個人活動とした。ぬり絵のもととなった作品図版を見せたり、作品タイトルを伝えたりするなど固定概念を与えかねない知識の提供は控え、利用者が作品のイメージを自由にふくらませ楽しんで自主的に取り組める環境づくりを心掛けた。ボランティアは利用者の様子を見守り、適宜発話を促す働きかけを行った。

病気の後遺症等で思うように手を動かすことが難しい利用者がある可能性も考え、時間内に完成させることや見栄えの良さは二の次とし、各自の体調や活動のペースを優先した。この日の参加者には渡辺幾春《蓄音機》が人気で、着物の柄や、帯との色合わせなどを考えながら、色を塗る作業に集中していたが、なかには図柄を愛おしそうに眺めるだけで満足していた利用者もいた。

- ②日 時 9月29日(金)午後2時～3時
会場 西区内高齢者福祉施設
対象 デイサービス利用者32名
スタッフ ボランティア10名
学芸員 清家三智
活動 ①に同じく2つの活動で希望者を募り、実施した。

この日は、ぬり絵を希望する参加者が非常に多く、特に川合玉堂《秋嶺白雲》を選んで緑色の画材を使い、夏山の雰囲気仕上げる人が多かった。ボランティアが作品を選んだ理由を尋ねると、参加者は「今はもうできないが、足腰が丈夫だった頃に夫婦揃ってよく山登りに出かけていた。夏山は緑がきれいでとても気持ちよかった」などの思い出を表情豊かに話してくれた。

「所蔵作品カードを使った絵探し」でも、《蓄音機》のカードを手にした参加者がボランティアに対して「あなた、この機械の使い方知ってる？ここの取っ手を回すとレコードが聴けるのよ」と得意げに説明していた。

ぬり絵や絵探しなど、こちらが用意した活動をきっかけに、認知症の緩和などに一定の効果が認められている回想法に近似したアプローチが成功していることを確認した。

・特別展ガイド

所蔵作家と作品に直接関係しない内容の特別展は定

例会での研修としないため、ギャラリートーク担当者には定例会終了後に別途時間を設けて当該の特別展担当学芸員より概要説明と質疑応答を内容とする研修を行っている。また、必要に応じて自主的な勉強会が行われている。

3 学生向け優待事業

(1)美術館学生メンバーズ

①趣旨

美術館と大学等との教育連携により、学生と美術との出会いを容易にし、学生生活をより豊かにする機会を提供する。

②対象

大学(短大、大学院)、専修学校、各種学校等の学校の生徒。オプションとして教職員の付加も可能。

③事業概要

「ゆめ・プレミアムアートコレクション寄附金」に一定額以上の寄附を行った学校法人や団体に対して、その特典として、在籍する学生等がその年度の特別展や常設展を学生証等の呈示だけで無料で観覧できるようにするもの。

④会員校(平成30年3月31日現在)

- ・名古屋大学
- ・名古屋芸術大学
- ・名古屋学院大学
- ・名古屋市立大学
- ・愛知県立芸術大学

(2)高校生サポーター事業

①趣旨

事業の実施により、高校生の美術に対する理解を深め、学校生活をより豊かにする機会を提供する。

②対象

高等学校、中等教育学校(後期課程に限る。)又は高等専門学校の生徒。

③事業概要

2,000円の会費の納付により、納付から1年間の会員期間の間、サポーター証及び学生証の呈示により特典を受けられる。特別展は会員及び同行する高校生が4回を上限に無料で観覧でき、常設展は会員が何度でも無料で観覧できる。

4 協力会

名古屋市美術館協力は、美術館の活動等に協力するとともに、市民の美術に関する知識と教養の向上を図るために必要な事業を行い、芸術文化の振興発展に寄与することを目的に活動を行っています。

<会員数>		<新規・継続別> (平成30年3月31日現在)			
		新規	継続	計	
特別会員	7名	特別会員 1名	6名	7名	
一般会員	97名	一般会員 29名	68名	97名	
ユース会員	12名	ユース会員 6名	6名	12名	
家族会員	48名	家族会員 8名	40名	48名	
(計)	164名	(計)	44名	120名	164名

平成29年度美術館協力会事業報告

- 展覧会ギャラリー・トークの開催
「異郷のモダニズム—満洲写真全史—」
平成29年5月7日(日) 46名参加
「ランス美術館展」
平成29年10月15日(日) 67名参加
「シャガール展 三次元の世界」
平成29年12月17日(日) 59名参加
「真島直子 地ごく楽」
平成30年3月10日(土) 37名参加
- 美術館見学ツアーの実施
春 平成29年5月21日(日) 27名参加
神戸市立博物館、兵庫県立美術館
秋 平成29年9月23日(土)～9月24日(日) 30名参加
発電所美術館、毛利武士郎記念館、富山県立美術館、石川県立美術館、金沢21世紀美術館
- 作家を囲む会
「山田純嗣さん」作家を囲む会
平成30年3月25日(日) 25名参加
- 美術館鑑賞ミニツアー
「ベスト・オブ・コレクション展」三重県立美術館
平成29年4月23日(日) 13名参加
「パリジェンヌ展」名古屋ボストン美術館
平成29年6月25日(日) 27名参加
「大エルミタージュ美術館展」愛知県美術館
平成29年7月2日(日) 37名参加
「奈良美智展」豊田市美術館
平成29年7月23日(日) 25名参加
「リアルゆくえ展」碧南市藤井達吉現代美術館
平成29年8月27日(日) 15名参加
「長沢芦雪展」愛知県美術館
平成29年11月5日(日) 28名参加
「ジャコメッティ展」豊田市美術館
平成29年11月19日(日) 19名参加
「橋本みお展」ヤマザキマザック美術館
平成30年2月4日(日) 15名参加
「レオナルド・ダ・ヴィンチとアンギアーリの戦い展」
名古屋市博物館

- 平成30年2月18日(日) 19名参加
- 協力会共催事業
映画「ゴッホ 最後の手紙」特別上映会
平成29年10月15日(日) 57名参加
 - ブログの運用
平成29年度ブログ閲覧状況
〔投稿50件、閲覧数14,099回、ユーザー数(延) 5,833名〕
 - オリジナル・カレンダーの作成及び配付
「山田純嗣」のドローイング 250部
 - 催しものの案内
特別展、常設展、講演会など情報提供、年間展覧会案内、アートペーパーの配付
 - 作品の寄贈
オリジナル・カレンダー1件1点
平成30年2月5日の資料収集会議で決定
 - 総会の開催
平成29年6月11日(日) 20名参加(委任状名86名)

5 図書室

図書室の資料の充実を図るとともに、そのときどきの特別展に即した参考資料を揃えるなどして、利用者の多様なニーズに応えるよう努力しています。

図書資料分類別冊数一覧 (平成30年3月31日現在)

分類	和書	洋書
辞書、辞典、年鑑、図書目録	576(1)	225(0)
画集、美術全集、所蔵品目録	7,614(64)	3,571(18)
展覧会図録	13,241(275)	1,521(7)
研究書、技法書	386(11)	15(0)
年報、紀要、報告書	7,885(380)	23(0)
美術雑誌	13,010(121)	2,560(0)
その他(美術教科書、一般図書)	2,569(6)	1,095(1)
小計	45,281(858)	9,010(26)
総計	54,291(884)冊	

()は今年度の受け入れ図書冊数

入室者数 **6,632名**

4月	505名	10月	600名
5月	561名	11月	947名
6月	507名	12月	629名
7月	0名	1月	1,135名
8月	0名	2月	1,245名
9月	0名	3月	503名

出版・制作物一覧

美術館ニュース『アートペーパー』Nos.105、106、107

美術館の活動状況や美術・文化についての様々な情報を広報するものです。

A 2 判、各5000部、PDFデータを当館ウェブサイトに掲載

特集記事

105号:彫刻と建築

～コールダー、黒川紀章、バリー・アラン・パークス～

106号:情報の受け手を想像するということ

—利用者目線に立った取り組み—

107号:メキシコ美術の衝撃

1955年の「メキシコ美術展」と芥川紗織



平成28年度名古屋市美術館年報

平成28年度の当館の活動の記録です。

A 4 判、78頁、PDFデータを当館ウェブサイトに掲載



平成30年度年間案内

平成30年度の展覧会情報と教育普及プログラムについて広報するものです。

A 3 判、20,000部



所蔵作品解説カードの増刷

常設展に展示中の作品について解説したカードです。

B 6 判、増刷4種、計21,000枚、館内無料配布



名古屋市美術館ボランティア(第10期)募集要項

当館ボランティアの活動の紹介、応募方法の告知および応募用紙です。

A 3 判、7000部



『名古屋市美術館 周辺の彫刻』『名古屋市美術館 建築の見どころ』

詳細は本書42ページに記載



平成29年度は、受贈196点、受託4点の合計200点の作品を新たに受け入れました。

先ず受贈作品としては、メキシコ関連の作家4名による15点の作品があげられます。戦前にメキシコで活動した北川民次を中心とするメキシコ・ルネサンスの作品は、当館のコレクションの中でも最も特色のあるものです。北川は自らの創作活動だけでなく、美術教育にも情熱を注ぎましたが、今回ご寄贈いただいた4名の作家は、いずれも北川が教鞭を取ったトラルパムとタスコの野外美術学校に学んだ作家たちです。メキシコ美術の伝統を感じさせる単純で素朴な表現形式は北川の作品との類似性も感じさせ、両者の影響関係やメキシコ・ルネサンスの広がり理解するうえでまたとない収集となりました。

地元出身の日本画家、大島哲以は、その装飾的かつ幻想的な作風で独自の地位を画壇の中に築き上げました。名古屋市美術館ではすでに4点の作品を収蔵していますが、今回ご遺族より晩年の重要な作品のご寄贈をいただきコレクションに一層の厚みを増すことができました。

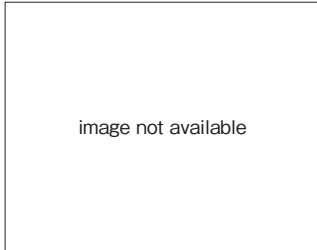
地元作家によるオリジナル・カレンダーの制作は、当館の協力会のユニークな活動の一つですが、今年度は、東西美術史上の名画を題材にした「絵画をめぐる」のシリーズに近年取り組んでいる山田純嗣氏に制

作を依頼しました。山田氏が選んだテーマは、翌年度の特別展に出品されるセザンヌの《赤いチョッキの少年》で、このあまりにも有名な作品を、独自の解釈によって全く別の作品に生まれ変わらせています。

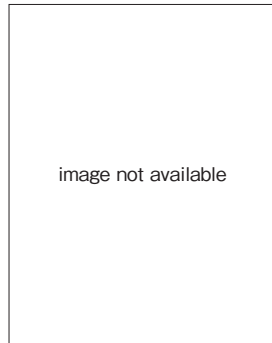
今年度の寄贈作品の大半を占めるのは、年度初めに開催した特別展「異郷のモダニズム－満州写真全史」に出品された写真関係資料です。1994年に開催された「異郷のモダニズム－淵上白陽と満州写真作家協会」の第二弾として開催されたこの展覧会は、これまでほとんど知られることのなかった旧満州における日本の写真活動に焦点を当てた内容が高い評価を受けましたが、出品された膨大な作品の中から178点の複写プリントが資料として寄贈されました。当時の満州の状況を知る上で欠くことのできない貴重な資料です。

受託作品としては、美人画の名手として知られた郷土の日本画家、渡辺幾春の屏風作品、地元の洋画壇の草分け的な存在である野崎華年が描いた、珍しい軸装の山水画、そして地元出身の現代作家として活躍する三輪美津子の写真のイメージを変容させた作品の計4点を新たに受け入れました。これらの寄贈や寄託の作品はコレクションに厚みを増す大変貴重なものです。今後常設展示の中で有効に活用させていただきたいと思っております。

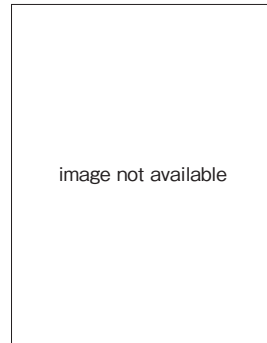
(1)寄贈



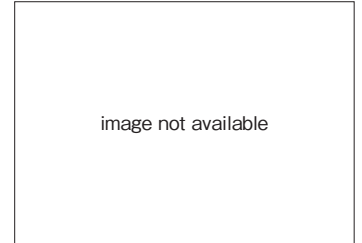
1. アマドール・ルーゴ
(1921-2002)
Amado RUGO
《ウイステコ山と帽子山、タスコ》
Mt. Huizteco and Sombrero, Taxco
1978年
油彩・板
21.8×27.5cm



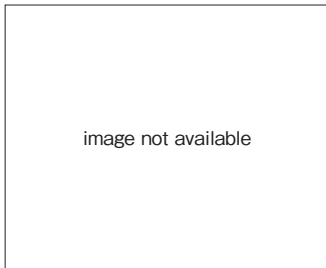
2. アマドール・ルーゴ
(1921-2002)
Amado RUGO
《タスコの路地》
An Alley in Taxco
1934年
グワッシュ・紙
49.7×39.4cm



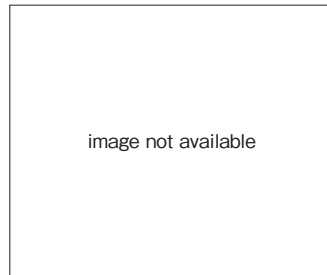
3. アマドール・ルーゴ
(1921-2002)
Amado RUGO
《オトミ族の若い女》
A Young Otomi Woman
1934年
グワッシュ・紙
28.9×22.6cm



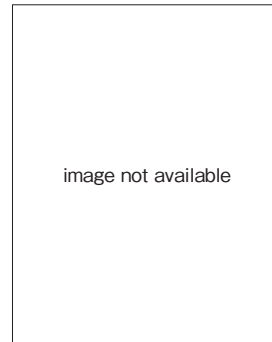
4. アマドール・ルーゴ
(1921-2002)
Amado RUGO
《木々の中の家、タスコ》
A house in Wood, Taxco
1936年
グワッシュ・紙
23.5×32.4cm



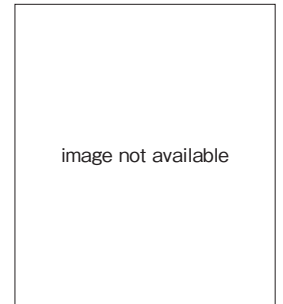
5. アマドール・ルーゴ
(1921-2002)
Amado RUGO
《タスコ風景》
Street Scene of Taxco
c.1934-1936年
リノカット・紙
16.0×20.1cm



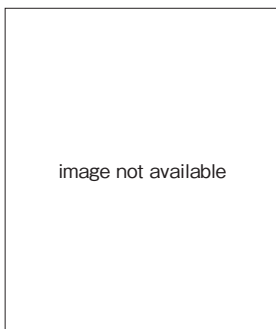
6. デルフィーノ・ガルシア
(1917-没年不詳)
Delfino GARCIA
《タスコのロバ》
Donkeys of Taxco
1935年
油彩・キャンヴァス
51.3×60.9cm



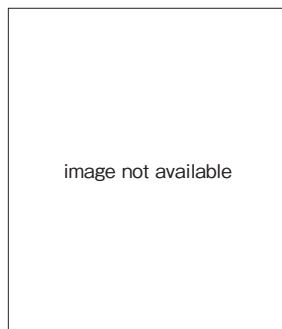
7. デルフィーノ・ガルシア
(1917-没年不詳)
Delfino GARCIA
《機械》
Machine
1933年
リノカット・紙
20.9×16.6cm



8. フェリシアーノ・ペーニャ
(1915-1982)
Feliciano PENA
《ギターを弾く老人》
An Old Man Playing the Guitar
1934年
木版・紙
10.9×9.0cm



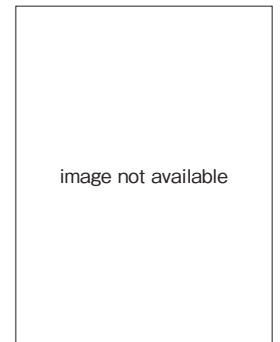
9. フェリシアーノ・ペーニャ
(1915-1982)
Feliciano PENA
《牛と少年》
A Boy with a Cow
c.1934-1936年
木版・紙
9.9×8.7cm



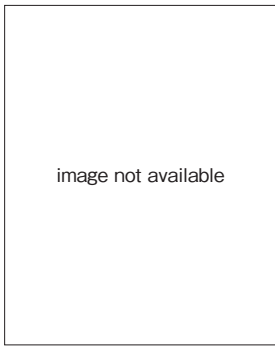
10. フェリシアーノ・ペーニャ
(1915-1982)
Feliciano PENA
《婦人の顔》
Portrait of a Woman
1934年
木版・紙
10.8×9.8cm



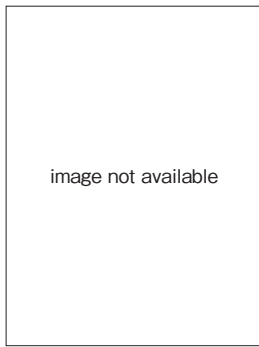
11. フェリシアーノ・ペーニャ
(1915-1982)
Feliciano PENA
《大きな木と婦人》
A Woman under the Big Tree
1934年
木版・紙
11.2×9.2cm



12. フェリシアーノ・ペーニャ
(1915-1982)
Feliciano PENA
《森の中の二人》
Man and Woman in the Wood
1935年
木版・紙
16.9×12.9cm



13. フェリシアーノ・ペーニャ
(1915-1982)
Feliciano PENA
《木馬》
A Wooden Horse
1934年
リノカット・紙
12.5×9.9cm



14. マヌエル・エチャウリ
(1914-2001)
Manuel ECHAURI
《樹の下で》
Under the Tree
n.d. (1950s)
エッチング・紙、手彩色
20.4×16.2cm



15. マヌエル・エチャウリ
(1914-2001)
Manuel ECHAURI
《少女》
A Girl
n.d. (1950s)
銅版・紙
16.9×11.9cm



16. 大島哲以
(1926-1999)
OSHIMA Tetsui
《聖なる母》
The Holy Mother
1983年
顔料・キャンヴァス
153.5×107.8cm



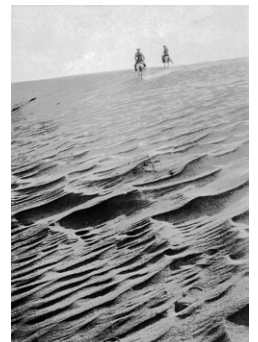
17. 山田純嗣
(1974-)
YAMADA Junji
《(17-16) The Boy in the Red Vest》
(17-16) The Boy in the Red Vest
2017年
オフセット印刷、アクリル絵具(パール顔料)・紙 ed. 250/250
42.0×29.7cm



18. 山田純嗣
(1974-) YAMADA Junji
《(17-16) The Boy in the Red Vest [原画]》
(17-16) The Boy in the Red Vest
2017年
鉛筆、色鉛筆・紙
52.8×38.2cm



19. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《定期船々客上陸(大連)》
Arrived at Port Dalian
1924 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



20. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《蒙古の沙丘(蒙古)》
Dune of the East Mongolian District
1924 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



21. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《道士(風俗)》
A Taoist
1924 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



22. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《農事試験場の放牧(産業)》
A Pasture of the Agricultural Experiment Station
1924 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



23. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《井戸(蒙古)》
A Water Well
1924 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



24. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《駱駝(風俗)》
Camels
1924 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



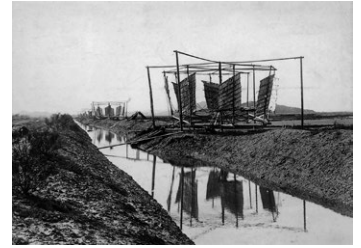
25. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《娘々廟の祭典(大石橋)》
Festival of Nyan-Nyan Shrine
1924 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



26. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《沙漠の日の出(蒙古)》
Sunrise in Dune
1924 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



27. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《満洲の娘(風俗)》
A Girl of Manchuria
1924 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



28. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《塩田潮汲用風車(産業)》
Windmill for Drawing Water
1924 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



29. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《蒙古牛車(蒙古)》
A Mongolian Cow Carriage
1924 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



30. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《興安嶺の落葉松(北満)》
Larch Trees of Xing'anling
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



31. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《興安嶺の樵夫(北満)》
A Woodman of Xing'anling
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



32. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《氷上の荷役(大連)》
Transport on A Glacier
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



33. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《砂丘の髑髏(蒙古)》
Skull in Dune
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



34. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《駱駝隊》
Caravan of Camels
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



35. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《鳥瞰の萬里の長城(山海關)》
Bird View of Wanli Changcheng
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



36. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《蒙古の王さん(風俗)》
A Prince Wang of Tribe in Mongolian
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



37. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《娘々廟の祭典 其一(大石橋)》
Festival of Nyan-Nyan, Dashiqiao
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



38. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《満洲婦人の髪飾(湯尚子)》
A Hair Ornament of A Manchurian Woman
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



39. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《支那戲伎=漁家樂=》
A Chinese Dance
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



40. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《山神廟(海拉爾)》
A Shrine of Mountain God
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



41. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《興安嶺の白樺(北満)》
White Birch Trees of Xing'anling
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



42. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《石門(山東曲阜)》
A Stone Gate
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



43. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《天池湖(白頭山頂)》
Lake Chonji
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×61.0cm



44. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《正陽門の樵樓(北京)》
Gate of Qiamen, Beijing
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



45. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《鳩賣り(北京所見)》
A Dove Seller
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



46. 櫻井一郎(満蒙印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《天壇祈年殿(北京)》
Temple of Heaven; A Imperial
Sacrificial Altar in Beijing
1925 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



47. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《長城附近の潮河(古北口)》
The End of the Great Wall in Kupeik'ou
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



48. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《河水清(灤河)》
The River Flows Clear; The Subject
of The New Year's Imperial Poetry
Competition of 1926
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



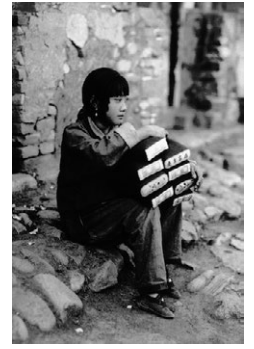
49. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《丸彫の立像(山西省雲岡)》
A Sculpture in the Ronud
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



50. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《六朝佛の典型(山西省雲岡)》
A Typical Figure of Bei Wei Era
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



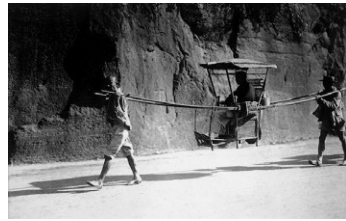
51. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《相抱く双塔山(熱河附近)》
Landscape of the Embraced Twin
Tower Mountain
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



52. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《枕賣る小娘(石匣)》
A Girl Selling Pillows
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



53. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《三潭印月 其一(杭州)》
Three Pools Mirroring the Moon,
West Lake, Hangzhou
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



54. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《轎子(杭州)》
A Kyoshi Palanquin
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



55. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《支那藝者(風俗)》
A Chinese Geisha Girl
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



56. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《蒙母》
A Mongolian Mother
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



57. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《巫山峽中の信號場》
The Crossing of Wushan, Sanhsia
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



58. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《風箱峽(二)》
A Canyon of FuSoKyo
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



59. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《もの凄き崆峒峽(三峡)》
Great View of KouRyoKyo
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



60. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《絶壁を通ずる索道(三峡)》
A Path Excavated through the
Precipitous Cliff, Sanhsia
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



61. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《牌樓(成都街道所見)》
Paifang on the Chengtu Road
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



62. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《明の牌樓(南口明の十三陵)》
Paifang of Ming Era
Imperial Tomb of Ming Era
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



63. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《明陵の石人(文臣)
(南口明の十三陵)》
A Stone Statue of Civilian in
Imperial Tomb of Ming Era
1926 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



64. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《摩利清(持國天)(居庸關)》
Relief of Marici: A God of War
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



65. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《摩利清の足を支ふる青鬼(居庸關)》
Detail of Relief of Vaisravana (Devil)
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



66. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《元宵節の燈籠(北京)》
Lanterns of the Lunar New Year
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



67. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《胡同の静けさ(北京)》
Calm of Hutong District, Beijing
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



68. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《支那の乞丐(北京所見)》
A Beggarman in Beijing
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



69. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《燕塵(北京附近)》
A Cloud of Dust
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



70. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《圓明園の廢墟(北京郊外)》
The Ruin of "Old Summer Palace"
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



71. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《水都蘇州(南支)》
"Water City" Suzhou
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



72. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《麥稈細工をする少女
(蘇州所見)》
A Girl Braid Straw
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



73. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《常盤橋》
Tokiwashi Bridge, Dalian
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



74. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《忠靈塔》
A Memorial Tower to Fallen Heroes
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



75. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《嶗山(山東)》
Mount Lao
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



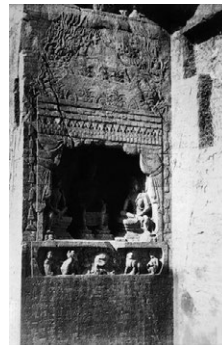
76. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《泰山(山東省)》
Mount Tai Shan
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



77. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《歸り道(山東にて)》
On the Way Back
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



78. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《北響堂山第二窟(2)
(河南省)》
Xiang-tang-shan shi-ku
Temple Cavern No.2
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



79. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《北響堂山第一窟
(河南省)》
Xiang-tang-shan shi-ku
Temple Cavern No.1
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



80. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《北響堂山第三窟
(河南省)》
Xiang-tang-shan shi-ku
Temple Cavern No.3
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



81. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《鹽田(南滿金福線貔子窩)》
A Saltern Field
1927 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



82. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《山路ゆく雲水(山西省五台山)》
Two Itinerant Monks Walking a Mountain
Trail
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



83. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《北台の秋晴れ(山西省五台山)》
A Fine Autumn Day at North of WutaiShan
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



84. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《山色新》
New Colors of Mountain; The Subject of the
New Year's Imperial Poetry Competition of
1928
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



85. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《お囃の世界へ(山西省)》
Towards the Fairyland
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



86. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《秋の共同作業場(山西省)》
Place of Group Work in Autumn
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



87. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《岳中の街楊林街(山西省五台山)》
Yanglin-Guai; A town in Mountains
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



88. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《童子寺の遺跡(山西省)》
The Vestige of Doshi-ji Temple
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



89. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《横町の怪異(香港)》
A Strange Scene of Alley
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



90. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《鳥瞰した香港(二)》
A Bird's-eye View of
HongKong No.2
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



91. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《露天市場(雲南省城)》
The Open Market
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



92. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《雲南商埠地(雲南省城)》
A Business Center of Yunnan
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



93. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《苗子の音楽(雲南省)》
A Music of Miao-zu
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



94. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《滇越鐵道(雲南省)》
The Dian Yue tie-lu Line
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



95. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《纏子を冠れる労働者(雲南省)》
Workers with Turban
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



96. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《既婚女の髪かた(雲南省にて)》
A Coffure of A Married Woman
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



97. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《西藏人(雲南省にて)》
The Tibetan
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



98. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《課々の田植(雲南省)》
Rice-Planting of Miao-zu
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



99. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《五華楼(雲南省大理)》
The Gate of Wu-han-ich
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



100. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《洱海(雲南省)》
Lake of Erhhaich
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



101. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《『明家』の娘(雲南省)》
A Girl of Chinese-Miao-Zu
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



102. 櫻井一郎(亞東印画協会)
(1893-1928)
SAKURAI Ichiro
《雲南女の刺繍(雲南省)》
A Embroider Yunnan Woman
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



103. 淵上白陽
(1889-1960)
FUCHIKAMI Hakuyo
《夕陽》
The Setting Sun
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
35.6×43.2cm



104. 淵上白陽
(1889-1960)
FUCHIKAMI Hakuyo
《人々》
People
1928 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
45.7×56.0cm



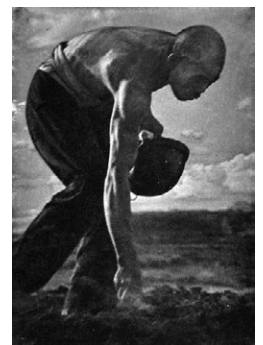
105. 淵上白陽
(1889-1960)
FUCHIKAMI Hakuyo
《列車暴進》
A Train Rush
1930 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



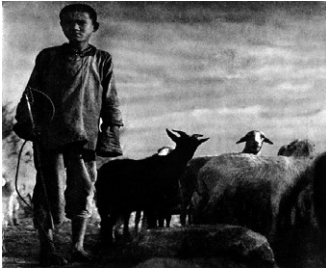
106. 淵上白陽
(1889-1960)
FUCHIKAMI Hakuyo
《落日》
The Setting Sun
1930 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
45.7×56.0cm



107. 淵上白陽
(1889-1960)
FUCHIKAMI Hakuyo
《落日》
The Setting Sun
1930 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
45.7×56.0cm



108. 淵上白陽
(1889-1960)
FUCHIKAMI Hakuyo
《種時》
Seeding
1935 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
91.4×56.0cm



109. 榊原正一
(1897-1980)
SAKAKIBARA Masaichi
《羊飼の少年》
A Shepherd Boy
1935 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



110. 榊原正一
(1897-1980)
SAKAKIBARA Masaichi
《乳を売る漂浪の母子》
The Wandering Mother and
Son Deal in Milk
1935 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



111. 馬場八潮
(1903-1974)
BABA Yashio
《曠野を行く》
A Placation Unit Goes A Wilds
1935 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



112. 中田司陽
(1901-1990)
NAKATA Shiyo
《石炭》
Coals
1937 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



113. 一色辰夫
(1908-1986)
ISSIKI Tatsuo
《大連》
Dalian
1937 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



114. 田中靖望
(生没年不詳)
TANAKA Seibo
《機関車》
A Locomotive
1937 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



115. 山根龍造
(1898-1945)
YAMANE Ryuzo
《ショベル》
An Excavator
1937 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



116. 政徳信義
(1906-1963)
SEITOKU Nobuyoshi
《黒煙本溪湖》
Black Smoku in Pen-His-Fu
1937 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
45.7×56.0cm



117. 菊池 一(淵上白陽)
(1889-1960)
KIKUCHIJI Hajime (FUCHIKAMI Hakuyo)
《鎔鉱炉(昭和製鋼所・鞍山)》
A Blast Furnace (Showa Iron and Steel
Company, Anshan)
1937 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
45.7×56.0cm



118. 淵上白陽
(1889-1960)
FUCHIKAMI Hakuyo
《工場》
A Plant
1939 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



119. 政徳信義
(1906-1963)
SEITOKU Nobuyoshi
《昭和製鋼所》
Showa Iron and Steel Company,
Anshan
1940 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



120. 宇野木敏
(1910-1999)
UNOKI Satoshi
《城壁のもと》
Under the Castle Wall
1933 / 2017年頃
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



121. 宇野木敏
(1910-1999)
UNOKI Satoshi
《城壁》
Castle Wall
1937 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



122. 岡田中治
(1909-1977)
OKADA Chuji
《洗濯》
Washing
1939 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



123. 淵上白陽
(1889-1960)
FUCHIKAMI Hakuyo
《クレーンと苦力》
A Coullier and Crane
1940 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



124. 淵上白陽
(1889-1960)
FUCHIKAMI Hakuyo
《柵に凭れる女》
Women Lean on the Paling
1940 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
56.0×45.7cm



125. 小川 傳
(生没年不詳)
OGAWA Den
《大地》
Earth
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



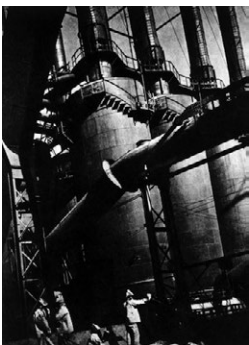
126. 三枝朝四郎
(生没年不詳)
SAEGUSA Asashiro
《華燈初上(新京大同大街)》
Lighting Begins (Hsinking)
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



127. 川瀬尊弘
(生没年不詳)
KAWASE Takahiro
《大地を拓く(綏佳線王揚)》
Colonization of the Land
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



128. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《昭和製鋼所(鞍山)》
Furnace in the Factory
(Anshang)
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



129. 畝川 藻
(生没年不詳)
UNEKAWA Aya
《熔鉱爐》
Giant Blast Furnace (Anshang)
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



130. 望月太郎
(生没年不詳)
MOCHIZUKI Tahachiro
《採氷(松花江)》
Ice-Cutting (Sungari)
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



131. 有村隆志
(生没年不詳)
ARIMURA Takashi
《國務院(新京)》
Building of the General Council
(Hsinking)
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



132. 土浦亀城
(1897-1966)
TSUCHIURA Kameki
《普陀宗乘廟の紅臺(承德)》
Lama Temple (Jehol)
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



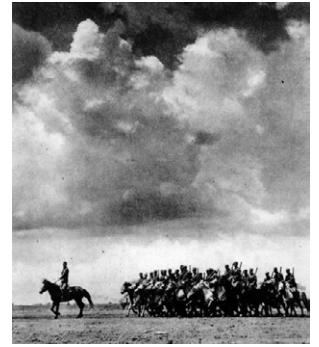
133. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《夢(熱河喇嘛廟)》
Tile of Lama Temple (Jehol)
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



134. 柏崎武雄
(生没年不詳)
KASHIWAZAKI Takeo
《洋車》
Jinrikisha
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



135. 川瀬尊弘
(生没年不詳)
KAWASE Takahiro
《駱駝隊》
Cameleer
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



136. 藤原祐治
(生没年不詳)
FUJIWARA Yuji
《鐵の訓練》
Cavalry
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



137. 村田實一
(生没年不詳)
MURATA Jitsuichi
《鑄工技術工養成所》
The Engineers Training School
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



138. 大石重好
(生没年不詳)
OHISHI Shigeyoshi
《新建設の一翼》
Part of New Construction
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



139. 中野逸馬
(生没年不詳)
NAKANO Itsuma
《大頭會》
Swa Ta To
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



140. 三好留次郎
(生没年不詳)
MIYOSHI Tomejiro
《姑娘と果實》
Maid and Fruits
1941 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



141. 池田保美
(生没年不詳)
IKEDA Yasumi
《國都の冬》
Capital in Winter
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



142. 加持正範
(生没年不詳)
KAJI Masanori
《冬の國務院》
Building of General Council in Snow
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



143. 永井たかし
(生没年不詳)
NAGAI Takashi
《春風の頃》
A Day of Spring Breeze
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



144. 篠原 實
(1914-没年不詳)
SHINOHARA Minoru
《野良のひとつき
(八紘村開拓団)》
A Break in the Field Labor
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



145. 田中靖望
(生没年不詳)
TANAKA Seibo
《除草》
Weeding
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



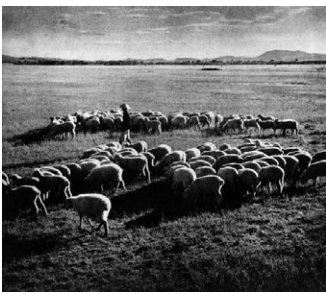
146. 篠原 實
(1914-没年不詳)
SHINOHARA Minoru
《開拓地風景(千振村)》
Scene of A Settlement Area
(Chiburi Village)
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



147. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《交易所情景(北安)》
Scene of A Trading Post (Pehan)
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



148. 相澤敬一
(生没年不詳)
AIZAWA Keiichi
《羊の放牧(王府)》
A Pasturage of Sheep (Wangfu)
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



149. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《落日帰羊(朝陽)》
A Flock Back in the Setting Sun
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



150. 市川保之
(生没年不詳)
ICHIKAWA Yasuyuki
《老婆の笑顔》
An Smiling Old Woman
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



151. 村田實一
(生没年不詳)
MURATA Jitsuichi
《小孩》
A Boy
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



152. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《同窓会の日》
Day of the Alumni Meeting
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



153. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《農家の小供等》
Children of Farmers
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



154. 中村敏夫
(生没年不詳)
NAKAMURA Toshio
《早春》
Early Spring
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



155. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《同窓の宅にて》
At the Room of Classmate
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



156. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《エミグラントの娘》
A Girl of Emigrant
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



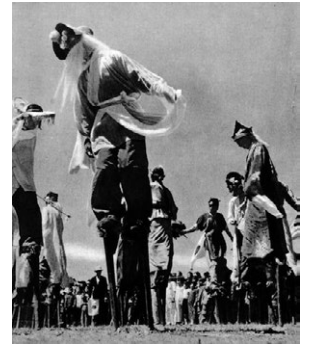
157. 竹村彰介
(生没年不詳)
TAKEMURA Shosuke
《建大の学生》
Students of Kenkoku University
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



158. 篠原 實
(1914-没年不詳)
SHINOHARA Minoru
《満洲旗人の盛装(吉林)》
Full Uniform of Manchurian Unit (Chilin)
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



159. 深瀬豊彦
(生没年不詳)
FUKASE Toyohiko
《楽土の老翁》
An Old Man in A Realm
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
25.4×30.5cm



160. 古瀬佐太郎
(生没年不詳)
FURUSE Sataro
《高脚踊り》
Chinese Peg Stilts Dance
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



161. 加持正範
(生没年不詳)
KAJI Masanori
《バラライカ(三河)》
A Balalaika (Sanho)
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



162. 木村安衛
(生没年不詳)
KIMURA Yasue
《プラスバンド》
A Brass Band
1942 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



163. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《幕進あじあ号(連京線)》
The Asia Express Rushes
(Dalian-Hsinking Line)
1943 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



164. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《熱と汗と焰(鞍山)》
Heat, Sweat and Flame (Anshan)
1943 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



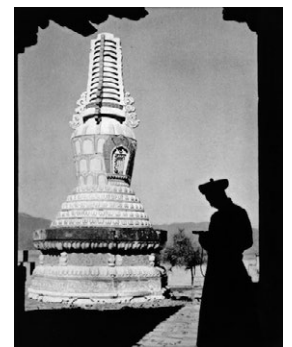
165. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《火焰と闘ふ(鞍山)》
Fight in the Flame (Anshan)
1943 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



166. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《熱風爐(鞍山)》
A Hot Blast (Anshan)
1943 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



167. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《農家の秋(満農の家にて)》
A Farmhouse in Autumn
1943 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



168. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《承德の印象(承德)》
Impression of Jehol
1943 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



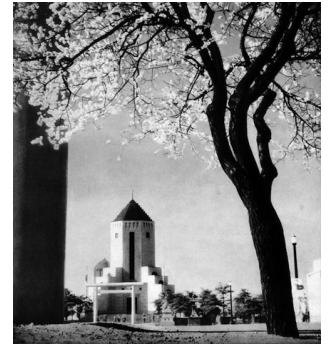
169. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《廟会の賑ひ(鳳凰城)》
A Croud at Festival of
Women Worship (Fengcheng)
1943 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



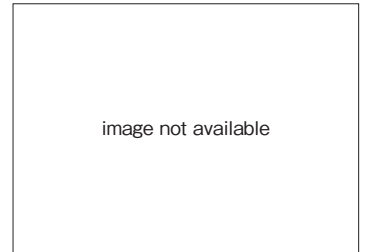
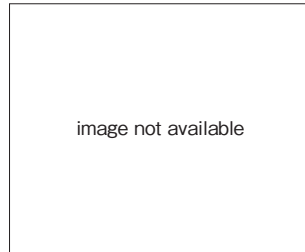
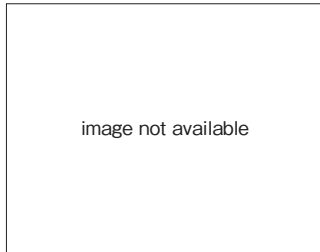
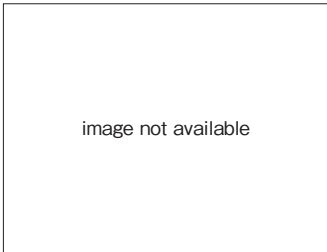
170. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《村の子供》
Children of Village
1943 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



171. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《突撃(奉天)》
Charge (Mukden)
1943 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm



172. 内田稲夫
(生没年不詳)
UCHIDA Inao
《春の忠霊塔(奉天)》
A Memorial Tower to Fallen
Heroes in Spring (Mukden)
1943 / 2017年
複写プリント、g.s.p.
30.5×25.4cm

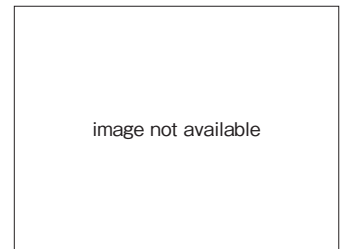
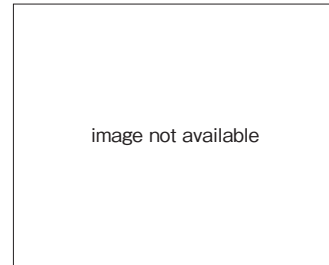
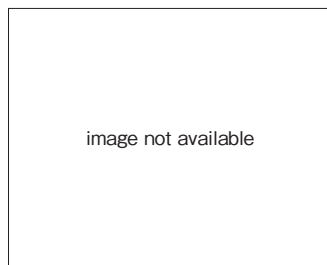
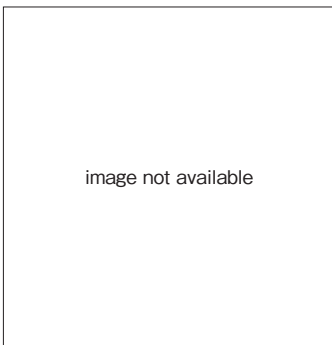


173. ボーレー・ミッション・レポート
《破壊された関東軍軍事部庁舎、
長春》
Damaged Capitol building at Changchun
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1 (728×1,030mm)

174. ボーレー・ミッション・レポート
《ソ連軍によって焼き払われ、
破壊された庁舎内部、長春》
Wreckage of interior at Capitol
Building at Changchun, reported to
have been burned by the Soviets.
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1 (728×1,030mm)

175. ボーレー・ミッション・レポート
《撫順発電所設備》
FUSHUN POWER PLANT
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1 (728×1,030mm)

176. ボーレー・ミッション・レポート
《撫順発電所》
FUSHUN POWER PLANT
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B0 (1,030×1,456mm)

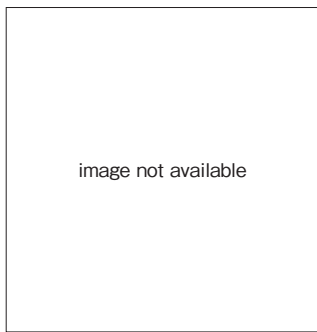


177. ボーレー・ミッション・レポート
《満洲製鉄(旧昭和製鋼所)、鞍山》
MANCHURIA IRON AND STEEL
CO., ANSHAN
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1 (728×1,030mm)

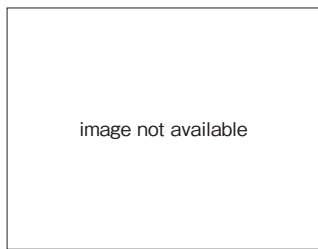
178. ボーレー・ミッション・レポート
《満洲製鉄(旧昭和製鋼所)、鞍山》
MANCHURIA IRON AND STEEL
CO., ANSHAN
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B0 (1,030×1,456mm)

179. ボーレー・ミッション・レポート
《満洲製鉄(旧昭和製鋼所)、鞍山》
MANCHURIA IRON AND STEEL
CO., ANSHAN
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B0 (1,030×1,456mm)

180. ボーレー・ミッション・レポート
《満洲製鉄(旧昭和製鋼所)、鞍山》
MANCHURIA IRON AND STEEL
COMPANY, ANSHAN
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B0 (1,030×1,456mm)



181. ポーレー・ミッション・レポート
《満洲製鉄(旧昭和製鋼所)、鞍山》
MANCHURIA IRON AND STEEL
COMPANY, ANSHAN
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B0(1,030×1,456mm)



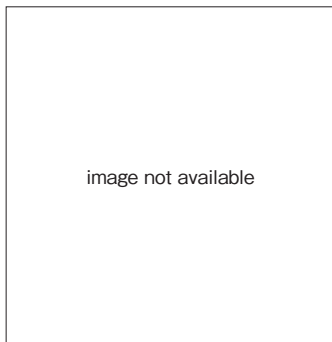
182. ポーレー・ミッション・レポート
《満洲住友金属工業、鞍山》
MANCHURIA SUMITOMO METAL
INDUSTRY, ANSHAN
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B0(1,030×1,456mm)



183. ポーレー・ミッション・レポート
《長春機関区》
RAILWAY SHOPS AT CHANGCHUN
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B0(1,030×1,456mm)



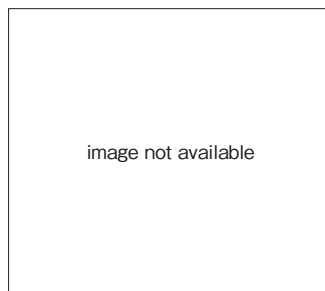
184. ポーレー・ミッション・レポート
《牡丹江機関区-ハルビンの
南東200マイル》
RAILWAY SHOPS AT MUTANCHIANG
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B0(1,030×1,456mm)



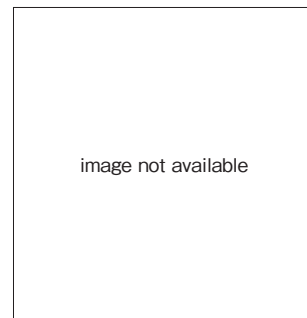
185. ポーレー・ミッション・レポート
《牡丹江の重機工場》
MUTANCHIANG HEAVY
MACHINE SHOP
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1(728×1,030mm)



186. ポーレー・ミッション・レポート
《満洲曹達製造株式会社、開原》
MANCHU SODA MANUFACTURING
COMPANY, KAIYUAN
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B0(1,030×1,456mm)



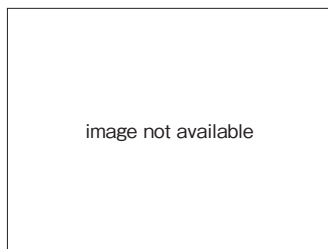
187. ポーレー・ミッション・レポート
《満洲ゴム工業、遼陽》
MANCHU RUBBER COMPANY,
LIAOYANG
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B0(1,030×1,456mm)



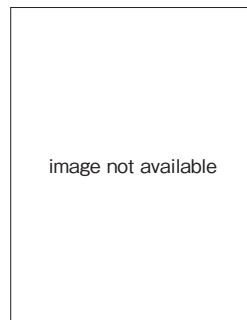
188. ポーレー・ミッション・レポート
《開原セメント製造工場》
KUNGYUAN CEMENT PLANT
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1(728×1,030mm)



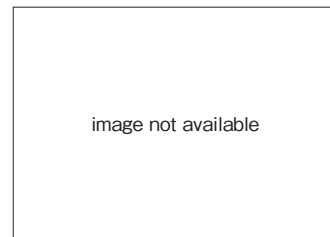
189. ポーレー・ミッション・レポート
《長春セメント工場》
CHANGCHUN CEMENT PLANT
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1(728×1,030mm)



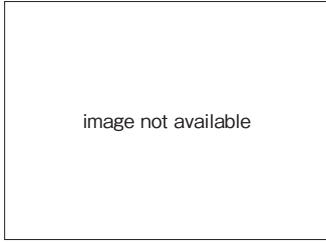
190. ポーレー・ミッション・レポート
《大陸科学院》
INSTITUTE OF SCIENCE
RESEARCH, HSINKING
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1(728×1,030mm)



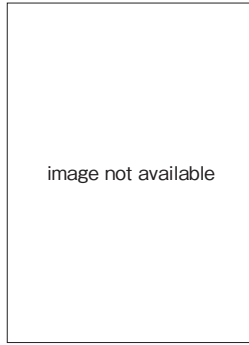
191. ポーレー・ミッション・レポート
《兵器庫#383、遼陽》
ARSENAL ##383, LIAOYANG
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1(728×1,030mm)



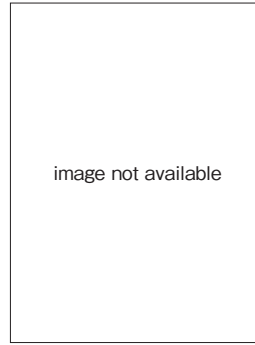
192. ポーレー・ミッション・レポート
《満洲(撮影地不詳)》
Manchuria
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1(728×1,030mm)



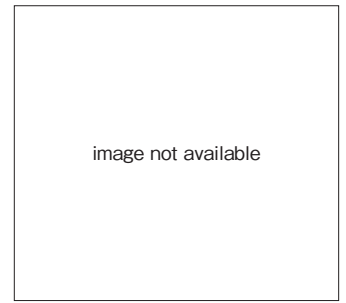
193. ボーレー・ミッション・レポート
《満洲(撮影地不詳)》
Manchuria
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1(728×1,030mm)



194. ボーレー・ミッション・レポート
《満洲(撮影地不詳)》
Manchuria
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1(728×1,030mm)



195. ボーレー・ミッション・レポート
《満洲(撮影地不詳)》
Manchuria
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B1(728×1,030mm)



196. ボーレー・ミッション・レポート
《亜細亜護謨、遼陽》
ASIA RUBBER COMPANY, LIAOYANG
1946年6月1日-7月3日
複写データからのインクジェット・プリント
2017年
B0(1,030×1,456mm)

(2)廃棄

1. デイヴィッド・ナッシュ(1945-)
NASH, David
《降りてくる舟》
"Descending Vessel"
1994年
10001.0×80.0cm
1995年購入
2016年9月に倒壊。作家と協議の上、2018
年3月廃棄

(3)資料収集状況一覧

年度別

年度	分類	日本画など	洋画など	水彩素描など	版画など	写真	彫刻など	特別資料	総計
58年度		0	26	2	0		1		29
59年度		3	32	50	1		0		86
60年度		4	25	67	20		2		118
61年度		5	23	33	6		1		68
62年度		12	38	0	360		15		425
63年度		0	15	8	13		6		42
元年度		3	7	2	275		1		288
2年度		7	4	2	17		1		31
3年度		1	3	2	122		0		128
4年度		2	10	15	126		3		156
5年度		0	13	4	0		3		20
6年度		0	7	0	1		2		10
7年度		1	27	2	195		0		225
8年度		0	7	0	2		3		12
9年度		0	2	0	17		2		21
10年度		2	8	0	21		0		31
11年度		2	10	0	0		1		13
12年度		0	9	0	0		0		9
13年度		0	8	0	※ -83	※ 83	1	0	9
14年度		1	0	0	167	0	0	0	168
15年度		0	1	0	0	8	2	0	11
16年度		0	0	8	0	0	2	0	10
17年度		0	2	10	0	4	0	0	16
18年度		0	9	0	0	0	0	0	9
19年度		0	2	0	0	0	1	0	3
20年度		0	1	0	0	0	1	0	2
21年度		0	1	7	3	0	0	0	11
22年度		0	1	0	0	0	0	0	1
23年度		0	1	0	0	0	0	0	1
24年度		0	0	0	0	0	2	0	2
25年度		0	0	0	0	2	0	0	2
26年度		0	0	0	0	0	0	0	0
27年度		2	1	0	0	3	0	0	6
28年度		0	1	0	0	3	0	0	4
29年度		0	0	0	0	0	△1	0	△1
購入総計		45	294	212	1,263	103	(△1) 49	0	(△1) 1,966
保管転換		16	41	31	35	3	3	1	(0) 130
寄贈	(1)	83	(2) 341	(4) 932	(10) 530	446	(0) 28	(179) 1,820	(196) 4,180
受入変更		0	0	0	0	2	0	0	(0) 2
総計	(1)	144	(2) 676	(4) 1,175	(10) 1,828	(0) 554	(△1) 80	1,821	(195) 6,278

収集方針別

分類	日本画など	洋画など	水彩素描など	版画など	写真	彫刻など	特別資料	総計
エコール・ド・パリ		29	3	478	0	2	3	(0) 515
メキシコ・ルネサンス		(2) 36	(3) 41	(10) 391	60	4	0	(15) 532
現代の美術	5	137	82	282	12	(△1) 62	10	(△1) 590
郷土の美術	(1) 139	474	(1) 1,049	677	482	12	(179) 1,808	(181) 4,641
総計	(1) 144	(2) 676	(4) 1,175	(10) 1,828	(0) 554	(△1) 80	(179) 1,821	(195) 6,278

()内の数字は平成29年度収集分△1は倒壊による廃棄
※分類変更による増減

アントニー・ゴームリー 《接近V》

1999年 鉄 201.0×174.0×27.0cm

長期間屋外に展示されていたため、作品の底面部の鉄の表面が広範囲に渡り酸化（赤錆）してしまっていた。作品の底辺部の酸化箇所（赤錆）を削り取り、赤錆を除去した部分および作品全体に錆防止剤（「ユウレカ防錆防蝕剤」）を塗布。赤錆を除去した箇所および昨年度に酸化部分を修復した箇所に絶縁ワックスを塗布。

鬼頭鍋三郎 《勤労働員の女》

1943年頃 油彩・キャンバス 91.0×73.0cm

【損傷状態】

画面全体、主に背景全体に地塗り層からの細かい亀裂、浮き上がり、剥落が多数認められた。また、人物左手の軍手部分や人物の影部分にも、同様の損傷が多数生じていた。右辺下は画布が足りないため釘の打ち込みが弱く、張りが緩くなっていた。

【修復処置】

絵具層の浮き上がり部分、および剥落部分を接着し、画面を洗浄し、剥落部分の充填と補彩を行った。また、木枠に作品を張り込み直し、作品側面に亜麻布の補強布を接着した。

【額装】

木製の額を制作し、額装を行った。

鬼頭鍋三郎 《裁縫》

1939年 油彩・キャンバス 116.5×90.8cm

【損傷状態】

上辺左の絵具層に地塗層を伴う剥落が認められた。また、画面右下に白色カビが生成していた。

【修復処置】

絵具層の剥落部分を接着し、画面と側面を洗浄した。

【額装】

木製の額を制作し、額装を行った。

作品を収集にあたっては、サイズ・材質・形状、作品の状態などの作品に即したデータの採取のほか、作者・作品名・制作年・出品歴・所蔵歴などの作品に係わる歴史・文献的な情報の調査も行っている。これらの情報は、作品研究の基礎となるものであるが、収蔵時にすべてが明らかにできない作品もある。このような作品は、収蔵後も機会あるごとに追跡調査や情報収集を行って、不明な事項や新しい事実を明らかにするように努めている。

(1)作家の生没年の変更

作家の逝去により改定：

近藤 文雄 (1938-2017)

アバカノヴィッチ、マグダレーナ (1930-2017)

岩田 信市 (1935-2017)

アーリントン、エドワード (1951-2017)

収蔵資料貸出（平成29年度）

作家名	作品名	貸出期間・貸出先	展覧会名・展示期間
東郷青児	帽子をかむった男(歩く女)	H29.6.24～11.26 ふくやま美術館 東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館	「生誕120周年 東郷青児展」 H29.7.8～9.3 H29.9.16～11.12
三岸好太郎	海と射光	H29.6.24～9.10 横須賀美術館	「開館10周年記念 美術でめぐる日本の海」 H29.7.8～8.27
シャガール	二重肖像	H29.9.2～H30.5.20 東京ステーションギャラリー 名古屋市美術館 青森県立美術館	「シャガールー三次元の世界」 H29.9.16～12.3 H29.12.14～H30.2.18 H30.3.10～5.6
下郷羊雄 北脇昇	ブーメラング [写真による作品] 浄火習作	H29.9.2～11.19 神奈川県立近代美術館 葉山	「コレクション：1937ーモダニズムの分岐点」 H29.9.16～11.5
イスキエルド他(別添リスト参照)	巡礼者たち はじめ74点(別添リスト参照)	H29.10.7～12.24 埼玉県立近代美術館	「デイエゴ・リベラとその時代」 H29.10.21～12.10
福岡道雄	琵琶湖の凧	H29.10.14～H30.1.7 国立国際美術館	「福岡道雄 つくらない彫刻家」 H29.10.28～12.24
熊谷守一	秋 山椿	H29.11.17～H30.7.1 東京国立近代美術館 愛媛県美術館	「没後40年 熊谷守一 生きるよろこび」 H29.12.1～H30.3.21 H30.4.14～6.17
宮島達男	Opposite Circle	H29.12.3～H30.2.4 桜ヶ丘ミュージアム	「Counter Skin ワークショップ」 H29.12.17～H30.1.21
三岸好太郎	蝶と貝殻	H29.12.21～H30.3.18 三重県立美術館	「モダニストの日本美 石元康博「桂」の系譜」 H29.1.4～3.4
真島直子	密林にて	H30.2.17～7.15 名古屋市美術館 足利市美術館	「真島直子 地ごく楽」 H30.3.3～4.15 H30.4.24～7.1
長谷川利行	大根の花	H30.3.10～H31.1.7 福島県立美術館 府中市美術館 碧南市藤井達吉現代美術館 久留米市美術館 足利市美術館	「長谷川利行展」 H30.3.24～4.22 H30.5.19～7.8 H30.7.21～9.9 H30.9.22～11.4 H30.11.13～H31.12.24

埼玉県立近代美術館「ディエゴリベラとその時代」貸出リスト

作家名	作品名
マリア・イスキエルド	巡礼者たち 旅人の肖像(アンリ・ド・シャティヨンの肖像)
ホセ・クレメンテ・オロスコ	示威行動 レクイエム 家族 ブルケリア 修道士とインディオ 群衆
ダビッド・アルファロ・シケイロス	婦人像 奴隷
ルフィーノ・タマヨ	黒人の仮面(カーニバル) 乗り遅れた乗客
ディエゴ・リベラ	ヘンリー・ノーウェップの肖像 アマリア・カスティリョ・レドンの肖像 夢 タコスを持つ子供 エミリアーノ・サバタ 自画像 大地の果実 野外学校
アマドール・ルーゴ	龍舌蘭とサボテンと樹
北川民次	メキシコ水浴の図
マニュエル・アルバレス・ブラボー	アイスクリーム屋の小馬 小便をする子供 かぼちゃとかたつむり 踊り子の娘 死後の肖像 紙の戯れ 木馬 夢想 無口な洗濯女たち アンドレ・ブルトン ルフィーノ・タマヨ 眼の寓話 ストライキで殺された労働者 眠れる美女 ホセ・クレメンテ・オロスコ ディエゴ・リベラ ダビッド・アルファロ・シケイロス フリーダ・カーロ 世界は何て狭いのだろう 敷居

作家名	作品名
ホセ・ガダルーベ・ボサダ	[版画] (39枚)1 骸骨のドンキホーテ [版画] (39枚)2 骸骨自転車乗り [版画] (144枚)1-1 芸術の煉獄 [版画] (144枚)5-1 山形帽子をかぶった骸骨 [版画] (144枚)12-1 骸骨新聞人 [版画] (144枚)13-1 骸骨フランシスコ・マデロ [版画] (144枚)14-1 骸骨エミリアーノ・サバタ [版画] (144枚)15-1 もはや世界の終りだ [版画] (144枚)26-1 フランシスコ・マデロの 全国遊説 [版画] (144枚)31-1 サン・ファン・デ・ロス・ ラゴスの聖母 [版画] (144枚)34-1 終末は近い [版画] (144枚)45-1 エミリアーノ・サバタの死 [版画] (144枚)80-1 独立100周年の彗星 1910年1月18日 [版画] (144枚)80-2 ハレー彗星と母なる地球 の会話 [版画] (144枚)81-1 グァナファトの大洪水とそ の真相
ティナ・モドッティ	[メキシコ文部省壁画:ABCの学習/脱穀] [メキシコ文部省壁画:労働組合] [メキシコ文部省壁画:眠り-貧者の夜] [メキシコ文部省壁画:トラクター] [メキシコ文部省壁画:「世界のすべての富は 大地からもたらされる」] [メキシコ文部省壁画:抗議] [メキシコ文部省壁画:統一戦線] [メキシコ文部省壁画:雨(部分)] [メキシコ文部省壁画:大地の果実(部分)] [メキシコ文部省壁画:乱痴気騒ぎ-金持ちの夜 (部分)] [メキシコ文部省壁画:エミリアーノ・サバタ (部分)] アステカの赤子 [メキシコ文部省壁画:脱穀] [メキシコ文部省壁画:労働へ] [メキシコ文部省壁画:保証-資本主義の残骸] カレンダー「Calendario Cívico Mexicano 1930」 「30-30」復刻資料一式

(1)名称

ゆめ・プレミアムアートコレクション寄附金事業

(2)趣旨

開館30周年の節目となる平成30年に、記念となる優れた美術品を収集するため、寄附金を集めるもの。

(3)寄附金の概要

1口1,000円以上。特典として、3,000円以上の個人の寄附者には、常設展1年間定期観覧券（大人1,200円）を進呈。

(4)目標額

平成30年度に30,000千円。（学生向け優待制度の一部金額も含む）

(5)寄附金受入状況

165件、13,078,222円（平成30年3月31日現在）

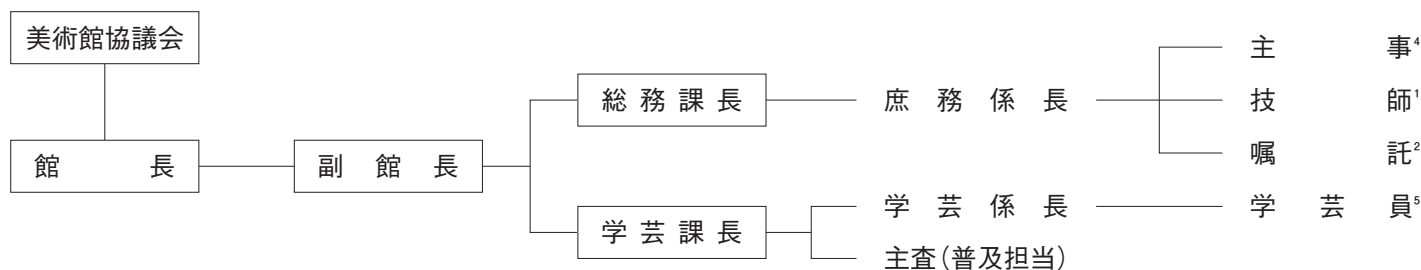
入館者一覽 VISITOR

展 覧 会 名	開催期間	開催 日数	有 料			無 料			入場者 総 数	
			一般	高大生	有料小計	招待券等	中学生小以下	無料計		
常 設 展	平成29年 4月1日(土)～ 平成30年 3月31日(土)	192	3,063	788	3,851	72,664	1,335	73,999	77,850	
特 別 展	アドルフ・ヴェルフリ 二萬五千頁の王国 ※統計数字は4/1からのもの	14	2,613	167	2,780	1,925	249	2,174	4,954	
	異郷のモダニズム —満洲写真全史—	50	7,473	588	8,061	3,998	624	4,622	12,683	
	ランス美術館展	50	22,325	1,123	23,448	9,752	2,191	11,943	35,391	
	シャガール展：三次元の世界	53	44,990	2,905	47,895	12,999	4,507	17,506	65,401	
	真島直子 地ごく楽 ※統計数字は年度末までのもの	25	1,579	286	1,865	1,321	355	1,676	3,541	
	特別展小計	192	78,980	5,069	84,049	29,995	7,926	37,921	121,970	
合 計			82,043	5,857	87,900	102,659	9,261	111,920	199,820	
									教育普及事業参加者 (展示室内参加者を除く)	17,471
									総 計	217,291

〈年度別入館者数等〉

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	累 計	
展 覧 会	常 設 展	開催日数	251日	248日	251日	192日	8,392日
		入場者数	86,558名	65,984名	111,444名	77,850名	3,966,180名
	特 別 展	開催日数	239日	218日	241日	192日	6,412日
		入場者数	172,776名	70,673名	182,863名	121,970名	7,861,894名
入 場 者 小 計		259,334名	136,657名	294,307名	199,820名	11,828,074名	
教育普及事業参加者		14,094名	14,856名	20,044名	17,471名	690,548名	
入 館 者 合 計		273,428名	151,513名	314,351名	217,291名	12,518,622名	

1 組織図



2 美術館協議会

(1)名古屋市美術館協議会委員

名古屋市立笹島中学校長	伊藤 久仁	愛知県私学協会副会長	大谷 恩
愛知県立旭丘高等学校長	笹尾 幸夫	公益財団法人名古屋市文化振興事業団副理事長	山田 哲郎
金城学院大学人間科学部教授	大山 小夜	名古屋市地域女性団体連絡協議会書記	橋本りゑ子
名古屋市立小中学校PTA協議会母親理事	野田 貞代	公募委員	國井 猛
愛知県立芸術大学美術学部教授	小西 信之	名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	滝 茂夫
愛知県美術館長	南 雄介	名古屋造形大学造形学部／大学院特任教授	江本菜穂子
名古屋芸術大学芸術学部美術領域教授	高橋 綾子	株式会社JTB中部代表取締役社長	松本 博

(2)名古屋市美術館協議会開催状況

日 時	場 所	協 議 題
第1回定例会 平成29年10月19日(木) 14:00~16:00	美術館講堂	○平成28年度事業実施結果について ○平成29年度事業実施状況について
第2回定例会 平成30年2月14日(水) 10:00~12:00	美術館講堂	○平成29年度事業実施状況について ○平成30年度事業計画案について ○平成31年度特別展企画案について

3 職 員

館 長	早瀬 弘親	学芸課長	井口 智子
副館長	深谷 克典	学芸係長	保崎 裕徳
総務課長	橋 弘子	主査(普及)	森 幸江
庶務係長	梶田 富子	学 芸 員	角田美奈子
主 事	高木 忠明		竹葉 丈
	布施 英彦		中村 暁子
	塚本 精蔵		笠木日南子
	長谷川千加		清家 三智
技 師	小川 和秀		
	赤尾 重雄		
嘱 託	千田 智治		

4 運営予算

総予算費	内 訳	
250,005千円	特別展関係費	107,339千円
	常設展運営費	18,907千円
	資料関係費	2,705千円
	教育普及事業費	8,566千円
	調査研究費	1,512千円
	管 理 費	110,976千円

平成29年度名古屋市美術館年報

発行日

平成30年12月

編集・発行

名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号
(芸術と科学の杜・白川公園内)

TEL 052-212-0001

FAX 052-212-0005

名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号

Tel.052-212-0001 Fax.052-212-0005